

【件名】中野区子ども・子育て支援事業計画（第 3 期）の検討について

【要旨】（目的・内容・対象・時期・今後の方向等）

「中野区子ども・子育て支援事業計画（第 3 期）」（以下「計画」という。）の策定に向けて、幼児期の教育・保育及び地域子ども子育て支援事業の利用状況や今後の利用希望等を把握するために、「中野区子ども・子育てアンケート調査」を実施したところである。

当該調査の実施結果を踏まえ、以下のとおり計画策定に向けて検討を進めていく。

1 計画の概要

幼児期の教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業について、現在の利用状況や今後の利用希望などを踏まえた「量の見込み」、「提供体制の確保の内容」及び「実施時期」等を定める計画である。

子ども・子育て支援法において、5 年を 1 期とした計画を策定することが義務付けられており、現行の「子ども・子育て支援事業計画（第 2 期）」が令和 6 年度で計画期間を終えるため、新たな計画を策定する必要がある。

2 計画期間

令和 7 年度から令和 11 年度までの 5 年間

3 「中野区子ども・子育てアンケート調査」の実施結果について

（1）調査対象

- ① 就学前児童（0 歳から 5 歳）がいる保護者
- ② 就学児童（6 歳から 11 歳）がいる保護者

（2）調査期間

令和 5 年 9 月 20 日～10 月 20 日

（3）調査方法

WEB による無記名アンケート

（4）回収結果

調査名	就学前児童（0 歳から 5 歳）	就学児童（6 歳から 11 歳）
調査対象者数	6, 026 票	6, 050 票
有効回収数	2, 168 票	1, 997 票
有効回収率	36.0%	33.0%

（5）調査結果報告書

別紙のとおり

4 今後のスケジュール（予定）

令和6年12月	計画（素案）の決定 意見交換会の実施
令和7年 1月	計画（案）の決定 パブリック・コメント手続の実施
3月	計画策定

中野区
子ども・子育てアンケート調査
結 果 報 告 書

令和 6（2024）年 3 月

中 野 区

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査の設計	3
3. 回収結果	3
4. 報告書を読むにあたって	3
第2章 調査結果の要旨	5
1. 共通項目	7
2. 乳幼児調査のみの項目	10
3. 就学児童調査（小学校1～6年生）のみの項目	14
第3章 乳幼児調査の結果	17
1. 基本属性	19
(1) 調査票の回答者	19
(2) 居住地区	20
(3) 子どもの年齢	21
(4) 子どもの主たる養育者	22
2. 保護者の就労状況	23
(1) 父親の就労状況	23
(2) 父親の就労日数・就労時間・前年度の年収	24
(3) パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望	26
(4) 未就労者の就労希望	27
(5) 1年以内に就労意向のある未就労者の希望就労形態・就労日数・就労時間	28
(6) 母親の就労状況	29
(7) 母親の就労日数・就労時間・前年度の年収	30
(8) パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望	32
(9) 未就労者の就労希望	33
(10) 1年以内に就労意向のある未就労者の希望就労形態・就労日数・就労時間	34
(11) 両親の就労形態からみた家庭類型	35
3. 平日の定期的な保育サービスの利用状況	36
(1) 定期的に利用している教育・保育事業の利用の有無	36
(2) 定期的に利用している教育・保育事業	38
(3) 教育・保育事業の利用頻度と利用希望頻度	40
(4) 病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験	46
(5) 利用できなかった場合の対処と日数	48
(6) 病児・病後児保育施設の利用意向、利用希望日数	49

(7) 病児・病後児保育施設の利用を希望しない理由	50
4. 定期的な保育サービスの利用希望	51
(1) 定期的に利用したいと考える教育・保育事業	51
(2) 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向、利用希望時間帯	53
(3) 幼稚園の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向、利用希望時間帯	54
(4) 未就園児の定期預かり事業の利用希望	55
5. 不定期な保育サービス	57
(1) 不定期に利用している事業（一時預かり等）の利用状況と利用日数	57
(2) 一時預かり事業等の利用希望事由	60
(3) 利用していない理由	61
(4) 一時預かり事業等の利用希望日数	62
(5) ベビーシッターの利用希望	64
(6) ショートステイの利用希望	66
(7) ショートステイの利用希望事由と必要泊数	68
6. 子育てひろば	69
(1) 子育てひろばの利用状況	69
(2) 子育てひろばの1月あたりの利用回数	71
(3) 子育てひろばを利用していない理由	72
(4) 子育てひろばの利用意向、1月あたりの利用希望回数	73
7. 学童クラブ（5歳のみ）	75
(1) 小学校の子ども放課後の過ごし方の希望、1週あたりの希望日数	75
(2) 希望する子どもの放課後の過ごし方	79
8. 育児休業等、職場の両立支援の状況	81
(1) 育児休業の取得の有無	81
(2) 必ず希望の施設に入れる場合の3歳までの育児休業取得意向	83
9. 子育て全般	84
(1) 平日に子どもと接する現状・理想の時間	84
(2) 子育てについて気軽に相談できる人の有無、子育てに関する相談先	85
(3) 相談窓口・サービス等の情報入手先	86
(4) 子育て支援策として望むこと	87
(5) 子育て支援施策に関するご意見・ご要望について	88
第4章 就学児童調査の結果	93
1. 基本属性	95
(1) 調査票の回答者	95
(2) 居住地区	96
(3) 子どもの学年	97
(4) 子どもの主たる養育者	98
2. 保護者の就労状況	99

(1) 父親の就労状況	99
(2) 父親の就労日数・就労時間・前年度の年収	100
(3) パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望	102
(4) 未就労者の就労希望	103
(5) 1年以内に就労意向のある未就労者の希望就労形態・就労日数・就労時間	104
(6) 母親の就労状況	105
(7) 母親の就労日数・就労時間・前年度の年収	106
(8) パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望	108
(9) 未就労者の就労希望	109
(10) 1年以内に就労意向のある未就労者の希望就労形態・就労日数・就労時間	110
(11) 両親の就労形態からみた家庭類型	111
3. 放課後の過ごし方	112
(1) 子どもの放課後の過ごし方	112
(2) 学童クラブの利用状況	114
(3) 学童クラブの利用希望	116
(4) キッズ・プラザを利用していない理由	122
(5) キッズ・プラザの利用意向、利用希望日数	123
(6) 希望する子どもの放課後の過ごし方	125
(7) 児童館を利用していない理由	127
(8) 児童館の利用意向、利用希望日数	128
4. 子育て支援事業の利用状況	130
(1) 子どもが病気の場合に預かる事業の利用意向	130
(2) 不定期的に利用している事業（一時預かり等）の利用状況と利用日数	132
(3) 利用していない理由	134
(4) 一時預かり事業等の利用意向、利用希望日数	135
(5) ショートステイの利用希望	136
(6) ショートステイの利用希望事由と必要泊数	138
5. 子育て支援事業全般	139
(1) 子育てについて気軽に相談できる人、相談先の有無	139
(2) 相談窓口・サービス等の情報入手先	140
(3) 子育て支援策として望むこと	141
(4) 子育て支援施策に関するご意見・ご要望について	142
第5章 資料（調査票）	145
1. 乳幼児調査	147
2. 就学児童調査	152

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、子ども・子育て支援法に基づく「中野区子ども・子育て支援事業計画」の改定にあたり基礎資料を得ることを目的として実施した。

2. 調査の設計

調査名	乳幼児調査	就学児童調査 (小学校1～6年生)
調査対象者と 抽出方法	就学前児童のいる世帯から 無作為抽出	小学生（1～6年生）のいる 世帯から無作為抽出
調査方法	・ 郵送配布・インターネット回収 ・ ハガキによる督促1回	
調査期間	・ 令和5年9月20日～10月20日	

3. 回収結果

調査名	乳幼児調査	就学児童調査 (小学校1～6年生)
調査対象者数	6,026票	6,050票
有効回収数	2,168票	1,997票
有効回収率	36.0%	33.0%

4. 報告書を読むにあたって

(1) 図表等の見方

①「n」について

・ 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。

②図表の「%」（回答比率）について

- ・ 百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。従って、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。

③単純集計について

- ・ 回答結果の全体の傾向を捉えるため、単純集計を行い、その特徴を記述している。

④クロス集計について

- ・特徴的な質問項目については、子どもの年齢・学年などを分析の軸とするクロス集計表を掲載し、分析を行っている。
- ・クロス集計表の記載にあたり、分析の軸となる項目の「無回答」は掲載を省略している。したがって、分析の軸となる項目の回答者数の合計は、全体と一致しない場合がある。

⑤その他

- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

(2) 年齢・学年の定義

子どもの年齢は調査実施時の年齢ではなく学齢で換算し、対象児童の生年月から以下のように区分している。

年齢（学齢）・ 学年表記	調査時 実年齢	生年月
0歳	0－1歳	令和4年（2022年）4月～令和5年（2023年）3月
1歳	1－2歳	令和3年（2021年）4月～令和4年（2022年）3月
2歳	2－3歳	令和2年（2020年）4月～令和3年（2021年）3月
3歳	3－4歳	令和1年／平成31年（2019年）4月～令和2年（2020年）3月
4歳	4－5歳	平成30年（2018年）4月～令和1年／平成31年（2019年）3月
5歳	5－6歳	平成29（2017年）4月～平成30年（2018年）3月
小学1年生	6－7歳	平成28年（2016年）4月～平成29（2017年）3月
小学2年生	7－8歳	平成27年（2015年）4月～平成28（2016年）3月
小学3年生	8－9歳	平成26年（2014年）4月～平成27（2015年）3月
小学4年生	9－10歳	平成25年（2013年）4月～平成26（2014年）3月
小学5年生	10－11歳	平成24年（2012年）4月～平成25（2013年）3月
小学6年生	11－12歳	平成23年（2011年）4月～平成24（2012年）3月

第2章 調査結果の要旨

1. 共通項目

<基本属性>

1) 調査票の回答者（乳幼児調査：問1、就学児童調査：問1）

「母親」が乳幼児調査では84.8%、就学児童調査では82.3%となっている。

2) 居住地区（乳幼児調査：問2、就学児童調査：問2）

乳幼児調査、就学児童調査ともに『中部すこやか福祉センター』が最も多く約3割となっている。

3) 子どもの年齢・学年（乳幼児調査：問3、就学児童調査：問3）

乳幼児調査では「0歳」が19.3%、就学児童調査では「小学1年生」が19.1%とそれぞれ最も多くなっている。

4) 子どもの主たる養育者（乳幼児調査：問4、就学児童調査：問4）

乳幼児調査、就学児童調査ともに「父母ともに」が最も多く6割台、次いで「主に母親」が3割台となっている。

<保護者の就労状況>

5) 父親の就労状況（乳幼児調査：問5～問5-4、就学児童調査：問5～問5-4）

①就労形態

「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」は、乳幼児調査で95.3%、就学児童調査で93.4%となっている。

②就労日数・就労時間

フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の1週あたりの就労日数は、乳幼児調査では平均5.2日、就労時間は平均9.3時間となっている。就学児童調査では平均5.2日、就労時間は9.4時間となっている。

③前年度の年収

乳幼児調査では「600万円以上800万円未満」が25.7%、就学児童調査では「1,000万円以上」が25.9%とそれぞれ最も多くなっている。

④パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

乳幼児調査では「パート・アルバイト等で働きたい」が52.2%、就学児童調査では「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が53.3%とそれぞれ最も多くなっている。

⑤未就労者の就労希望

乳幼児調査では「1年より先に就労したい」が50.0%、就学児童調査では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が56.3%とそれぞれ最も多くなっている。

⑥就労意向のある未就労者の希望就労形態・就労日数・就労時間

「1年より先に就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」人のうち「フルタイム」を希望する人は、乳幼児調査で66.7%、就学児童調査で72.7%となっている。

6) 母親の就労状況（乳幼児調査：問6～問6-4、就学児童調査：問6～問6-4）

①就労形態

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」は、乳幼児調査で46.8%、就学児童調査で46.9%とそれぞれ最も多くなっている。次いで乳幼児調査では、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が20.6%、就学児童調査では、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が28.8%となっている。

②就労日数・就労時間

フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の1週あたりの就労日数は、乳幼児調査では平均4.8日、就労時間は平均7.3時間となっている。就学児童調査では平均4.5日、就労時間は平均7.0時間となっている。

③前年度の年収

乳幼児調査では「200万円以上400万円未満」が30.2%、就学児童調査では「200万円未満」が36.2%とそれぞれ最も多くなっている。

④パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

乳幼児調査、就学児童調査ともに「パート・アルバイト等で働きたい」が最も多く、乳幼児調査では50.6%、就学児童調査では52.9%となっている。

⑤未就労者の就労希望

乳幼児調査では「1年より先に就労したい」が51.7%、就学児童調査では「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が36.0%とそれぞれ最も多くなっている。「1年より先に就労したい」と回答した人のうち、就労を希望する時の末子の年齢をみると、乳幼児調査では「6～11歳」が46.9%、就学児童調査では「12歳以上」が38.8%とそれぞれ最も多くなっている。

⑥就労意向のある未就労者の希望就労形態・就労日数・就労時間

「1年より先に就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」人のうち「パート・アルバイト等」を希望する人は、乳幼児調査で85.9%、就学児童調査で91.5%となっている。

7) 両親の就労形態からみた家庭類型

乳幼児調査では、「フルタイム共働き」が61.8%と最も多く、次いで「専業主婦（夫）」が21.5%、「フルタイム・パート共働き」が14.3%となっている。就学児童調査では、「フルタイム共働き」が44.9%と最も多く、次いで「フルタイム・パート共働き」が27.7%、「専業主婦（夫）」が22.0%となっている。

<不定期的な保育サービス>

8) ショートステイの利用希望

（乳幼児調査：問19、問19-1、就学児童調査：問17、問17-1）

「利用したい」と回答した人の割合は、乳幼児調査が37.0%、就学児童調査が21.4%となっている。利用希望事由は、乳幼児調査、就学児童調査ともに「保護者や家族の病気」が最も多く8割台となっており、必要泊数（年間）の平均をみると、乳幼児調査では5.4日、就学児童調査では4.6日となっている。

<子育て全般>

9) 子育てについて気軽に相談できる人の有無、子育てに関する相談先

（乳幼児調査：問28、就学児童調査：問18）

乳幼児調査、就学児童調査ともに「あなたの配偶者、パートナー」が最も多く8割台、「その他の親族」が6割台、「友人・知人」が5割台から6割台となっている。

10) 相談窓口・サービス等の情報入手先（乳幼児調査：問29、就学児童調査：問19）

乳幼児調査では、「中野区ホームページ」が54.7%と最も多く、次いで「中野区報」が45.8%、「通っている幼稚園・保育施設等」が31.1%となっている。就学児童調査では、「中野区報」が53.0%と最も多く、次いで「中野区ホームページ」が52.3%、「通っている小学校等」が42.5%となっている。

11) 子育て支援策として望むこと（乳幼児調査：問30、就学児童調査：問20）

乳幼児調査では「児童手当・子どもの医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」が73.5%、「子どもが外で思いっきり体を動かして遊ぶことができる場の提供」が70.0%、「子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり」が64.3%となっている。就学児童調査では「子どもが外で思いっきり体を動かして遊ぶことができる場の提供」が71.6%、「児童手当・子どもの医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」が59.0%、「犯罪から子どもを守る体制の整備」が58.9%、「子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり」が58.1%となっている。

2. 乳幼児調査のみの項目

<平日の定期的な保育サービスの利用状況>

1) 定期的に利用している教育・保育事業の利用の有無（問7）

「利用している」が78.2%、「利用していない」が21.8%となっている。

2) 定期的に利用している教育・保育事業（問8）

「認可保育所（区立・私立保育園）」が67.5%、「幼稚園（通常の時間のみ）」が12.4%、「幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）」が8.6%となっている。

3) 教育・保育事業の利用頻度と利用希望頻度（問9）

現在の1週あたりの利用日数は、「5日」が94.1%であり、利用開始時間は「9時台から」が48.6%、利用終了時間は「18時まで」が44.9%とそれぞれ最も多くなっている。1週あたりの利用希望日数は、「5日」が89.2%であり、希望開始時間は「8時台から」が44.5%、希望終了時間は「18時まで」が42.5%とそれぞれ最も多くなっている。

4) 病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験（問10、問10-1）

病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験は、「あった」が67.4%であり、その際の対処方法は「母親が仕事を休んだ」が79.8%と最も多い。利用日数（年間）の平均は、「母親が仕事を休んだ」が10.9日となっている。

5) 病児・病後児保育施設の利用意向、利用希望日数（問10-2）

利用意向をみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が49.9%であり、利用希望日数（年間）は平均10.9日となっている。

6) 病児・病後児保育施設の利用を希望しない理由（問10-3）

病児・病後児保育施設について「利用したいと思わない」が50.1%であり、その理由をみると「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が57.5%と最も多く、次いで「利用手続きが煩雑である」が42.4%、「親が仕事を休んで対応したい」が41.7%となっている。

<定期的な保育サービスの利用希望>

7) 定期的に利用したいと考える教育・保育事業（問11）

「認可保育所（区立・私立保育園）」が64.4%、「幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）」が37.5%、「幼稚園（通常の時間のみ）」が20.6%、「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」が19.9%、「認証保育所」が9.3%、「認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）」が7.0%となっている。

8) 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向、利用希望時間帯（問12）

『利用したい』は30.6%となっている。『利用したい』と回答した人の希望開始時間は「9時から」が50.5%、希望終了時間は「18時まで」が33.7%とそれぞれ最も多くなっている。

9) 幼稚園の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向、利用希望時間帯（問13）

『利用したい』は64.8%となっている。『利用したい』と回答した人の希望開始時間は「9時から」が69.9%、希望終了時間は「17時まで」が24.6%と最も多くなっている。

10) 未就園児の定期預かり事業の利用希望（問14）

「利用したい」が85.6%、「利用したいと思わない」が14.2%となっている。

<不定期な保育サービス>

11) 不定期に利用している事業（一時預かり等）の利用状況と利用日数（問15）

『利用している』が20.9%であり、具体的な事業をみると「保育園の一時保育（月曜日から土曜日の利用）」が9.3%、「幼稚園の預かり保育（定期利用を除いたスポット利用のみ）」が5.1%、「ベビーシッター」が5.0%となっている。利用日数（年間）の平均は、「幼稚園の預かり保育（定期利用を除いたスポット利用のみ）」が29.9日、「保育園の一時保育（月曜日から土曜日の利用）」が25.9日、「ベビーシッター」が21.8日となっている。

12) 一時預かり事業等の利用希望事由（問16）

利用意向をみると、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が60.8%、「保護者の入院や病気」が49.7%、「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等」が47.4%となっている。

13) 利用していない理由（問17）

一時預かり等について「利用していない」が79.1%であり、その理由をみると「特に利用する必要がない」が60.7%と最も多く、次いで「利用料が高い」が18.6%、「利用手続きが煩雑である」が17.1%となっている。

14) 一時預かり事業等の利用希望日数（問17-1）

利用希望事業は、「保育園の一時保育」が81.6%、「幼稚園の預かり保育」が48.1%、「児童館における一時預かり」が45.8%となっている。利用希望日数（年間）の平均は、「幼稚園の預かり保育」が27.5日、「保育園の一時保育」が17.8日、「ベビーシッター」が16.6日となっている。

15) ベビーシッターの利用希望（問18）

「利用したい」が56.6%、「利用したいと思わない」が43.4%となっている。

<子育てひろば>

16) 子育てひろばの利用状況（問20、問20－1）

「利用している」は18.2%であり、月あたりの利用回数は平均4.2回となっている。

17) 子育てひろばを利用していない理由（問21）

子育てひろばについて「利用していない」が81.8%であり、その理由をみると「幼稚園や保育施設等に通っており、時間がない」が65.5%、「子育てひろばについて知らなかった」が30.5%、「通しやすい場所がない」が14.7%となっている。

18) 子育てひろばの利用意向、1月あたりの利用希望回数（問22）

利用意向をみると、「現在は利用していないが、今後利用したい」が33.1%で月あたりの利用希望回数は平均3.1回、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が5.4%で月あたりの利用希望回数は平均8.0回となっている。

<学童クラブ（5歳のみ）>

19) 小学校の子ども放課後の過ごし方の希望、1週あたりの希望日数（問23）

低学年は「学童クラブ」が67.5%と最も多くなっている。学童クラブを希望した人の1週あたりの利用希望日数は、平均4.4日となっており、利用希望時間は「18時まで」が55.3%で最も多くなっている。高学年は「学童クラブ」が24.2%となっており、学童クラブを希望した人の1週あたりの利用希望日数は、平均3.5日であり、利用希望時間は「18時まで」が50.6%と最も多い。

20) 希望する子どもの放課後の過ごし方（問24）

放課後の過ごし方で「学童クラブ」と「キッズ・プラザ」の両方を選んだ方が希望する居場所は、「区立学童クラブ（学校内で実施）」が97.3%、「キッズ・プラザ」が73.8%、「区立学童クラブ（児童館内で実施）」が63.8%、「民設民営学童クラブ」が57.7%となっている。

<育児休業等、職場の両立支援の状況>

21) 育児休業の取得の有無（父親・母親）（問25）

育児休業を取得した割合は、父親が25.9%、母親が61.4%となっている。

一方で、「取得しなかった」は父親で72.4%、母親で7.5%であり、その理由をみると、父親は「配偶者が育児休業制度を利用した」が44.9%、「仕事が忙しかった」が43.8%となっている。母親は、「職場に育児休業制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が24.5%、「子育てや家事に専念するため退職した」が15.3%、「仕事が忙しかった」が14.1%となっている。

22) 必ず希望の施設に入れる場合の3歳までの育児休業取得意向（問26）

父親、母親ともに「子どもが1歳になるまで取得したい」が4割台で最も多くなっている。

<子育て全般>

23) 平日に子どもと接する現状・理想の時間（問27）

子どもと接する時間の父親の現状は、「1時間くらい」が22.3%、「2時間くらい」が20.3%、「3時間くらい」が17.4%となっている。母親の現状は、「4時間以上」が70.4%、「3時間くらい」が19.2%、「2時間くらい」が7.2%となっている。一方で、子どもと接する時間の理想は、父親は「4時間以上」が44.9%、「3時間くらい」が23.4%、「2時間くらい」が21.3%となっている。母親は、「4時間以上」が79.0%、「3時間くらい」が16.1%、「2時間くらい」が4.0%となっている。

3. 就学児童調査（小学校1～6年生）のみの項目

<放課後の過ごし方>

1) 子どもの放課後の過ごし方（問7）

放課後の過ごし方は、「自宅」が70.3%、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が54.2%、「その他（公園、図書館など）」が22.3%となっている。

また、学童クラブを利用している人の1週あたりの利用日数は、平均4.5日となっている。

2) 学童クラブの利用状況（問7-1）

①放課後（平日の小学校終了後）

放課後の利用終了時間は、「18時まで」が47.0%、「17時まで」が32.1%、「19時まで」が13.0%となっている。

②土曜日

「利用している」が9.5%、「利用していない」が90.5%となっている。利用開始時間は、「8時台から」および「9時台から」が46.3%、「10時台以降」が7.3%となっている。利用終了時間は、「18時まで」が41.5%、「17時前まで」が24.4%、「17時まで」および「19時まで」が17.1%となっている。

3) 学童クラブの利用希望（問8）

①放課後（平日の小学校終了後）

「利用したい」と回答した人の割合は、低学年（1～3年生）が56.1%、高学年（4～6年生）が27.9%となっている。利用希望日数は、低学年（1～3年生）が平均4.4日、高学年（4～6年生）が平均3.9日となっている。希望終了時間は、低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）ともに「18時まで」が最も多く、それぞれ45.6%、46.2%となっている。

②土曜日

「利用したい」と回答した人の割合は、低学年（1～3年生）が12.3%、高学年（4～6年生）が7.1%となっている。利用を希望する人の希望開始時間は、低学年（1～3年生）では、「8時台から」および「9時台から」が36.1%、高学年（4～6年生）では、「8時台から」が34.8%と最も多くなっている。希望終了時間は、低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）ともに「18時まで」がそれぞれ38.3%と最も多くなっている。

4) キッズ・プラザを利用していない理由（問9）

キッズ・プラザを利用していない理由は、「学童クラブを利用している」が23.3%、「友達が行かない」が22.3%、「通っている学校にない」が21.6%となっている。

5) キッズ・プラザの利用意向、利用希望日数（問10）

「自校であれば利用したい」が39.9%、「利用したい」が31.5%となっており、「自校であれば利用したい」では月あたりの利用希望日数が平均10.8回、「利用したい」では平均10.7回となっている。

6) 希望する子どもの放課後の過ごし方（問11）

放課後の過ごし方で「学童クラブ」と「キッズ・プラザ」の両方を利用したいと選んだ方が希望する居場所は、「区立学童クラブ（学校内で実施）」が91.2%、「キッズ・プラザ」が81.3%、「区立学童クラブ（児童館内で実施）」が59.3%となっている。

7) 児童館を利用していない理由（問12）

「利用する時間がない」が35.7%、「友達が行かない」が35.4%、「行ってもおもしろくない」が16.6%となっている。

8) 児童館の利用意向、利用希望日数（問13）

「利用したい」が49.7%であり、月あたりの利用希望日数は平均8.2回となっている。

<子育て支援事業の利用状況>

9) 子どもが病気の場合に預かる事業の利用意向（問14）

「利用したい」が59.2%、「利用したいと思わない」が40.8%となっている。

10) 不定期的に利用している事業（一時預かり等）の利用状況と利用日数（問15）

『利用している』が6.3%であり、具体的な事業をみると「ファミリー・サポート事業」が5.2%と最も多く、次いで「トワイライトステイ」が0.8%となっている。利用日数（年間）の平均をみると、「ファミリー・サポート事業」が8.7日、「トワイライトステイ」が5.1日となっている。

11) 利用していない理由（問15-1）

一時預かり事業等について「利用していない」は93.7%であり、その理由をみると「特に利用する必要がない」が49.6%、「利用手続きが煩雑である」が25.3%、「利用料がかかる」が12.7%となっている。

12) 一時預かり事業等の利用意向、利用希望日数（問16）

利用意向は「特にない」が76.8%であり、利用意向のある事業は「ファミリー・サポート事業」が19.7%、「トワイライトステイ」が6.5%となっている。利用希望日数（年間）は「ファミリー・サポート事業」が平均12.7日、「トワイライトステイ」が平均8.3日となっている。

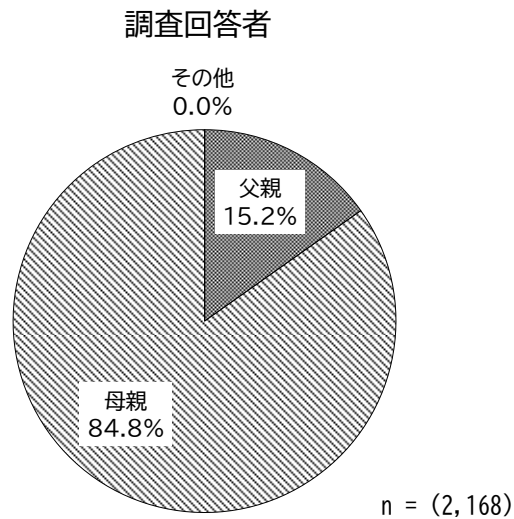
第3章 乳幼児調査の結果

1. 基本属性

(1) 調査票の回答者

問1 この調査にご回答いただく方は、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。
(回答は1つ)

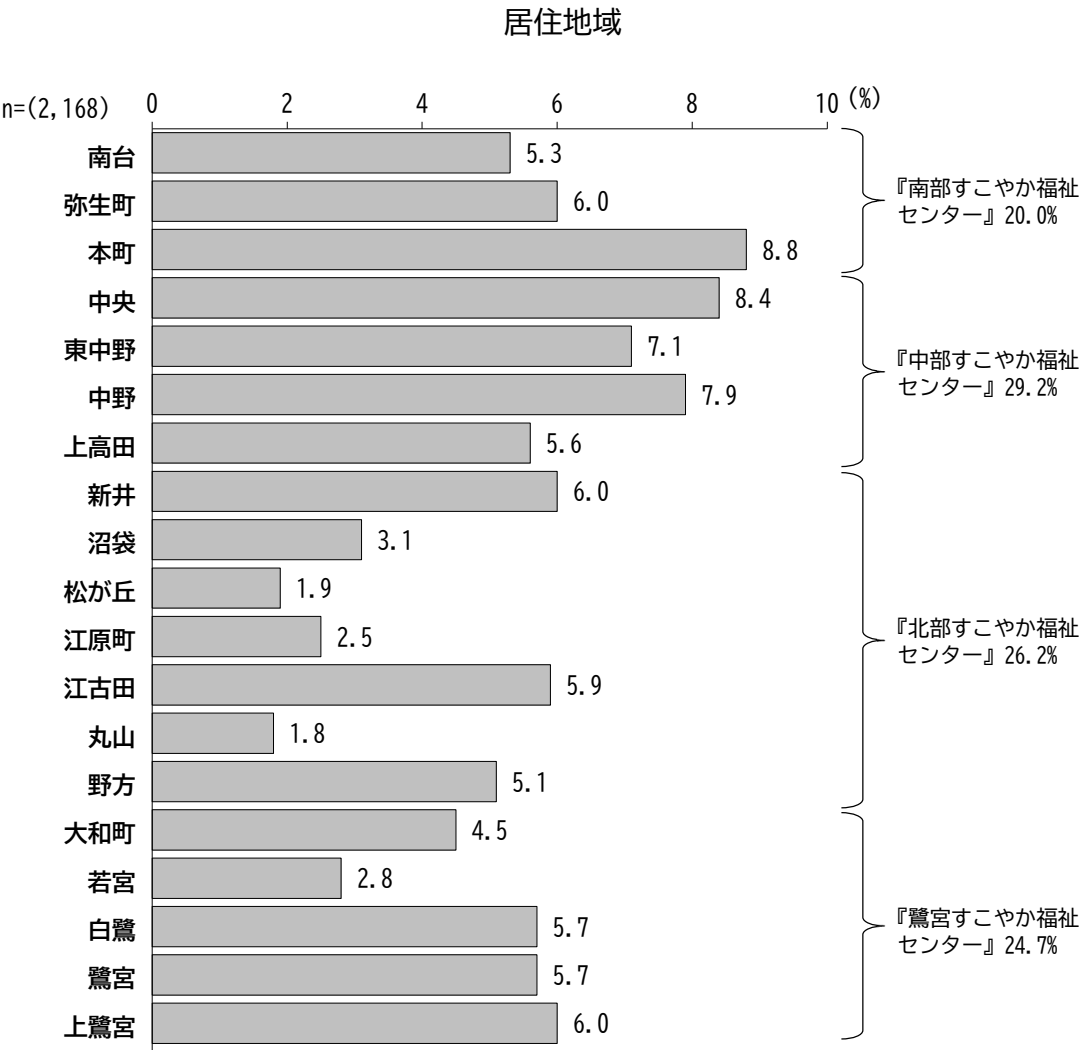
調査回答者は、「母親」が84.8%、「父親」が15.2%となっている。



(2) 居住地区

問2 お住まいの地域をお答えください。(回答は1つ)

居住地域は、「本町」が8.8%と最も多く、次いで「中央」が8.4%、「中野」が7.9%となっている。
すこやか福祉センター管轄地域で見ると、『中部すこやか福祉センター』が29.2%と最も多く、『南部すこやか福祉センター』が20.0%で最も少なくなっている。また、各すこやか福祉センターとも2割台となっている。

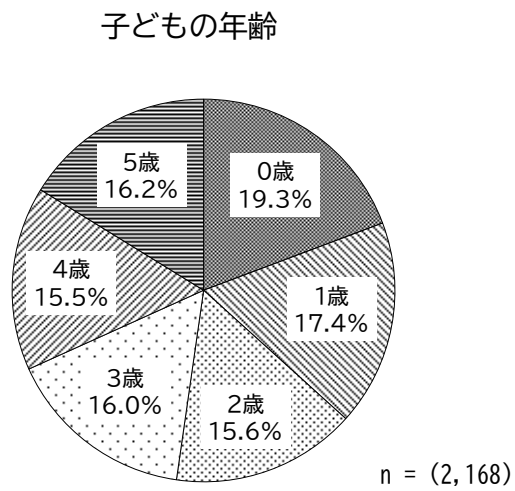


南部すこやか福祉センター	南台、弥生町、本町
中部すこやか福祉センター	中央、東中野、中野、上高田
北部すこやか福祉センター	新井、沼袋、松が丘、江原町、江古田、丸山、野方
鷺宮すこやか福祉センター	大和町、若宮、白鷺、鷺宮、上鷺宮

(3) 子どもの年齢

問3 あて名のお子さんの生まれた年と月を記入してください。(数字を記入)

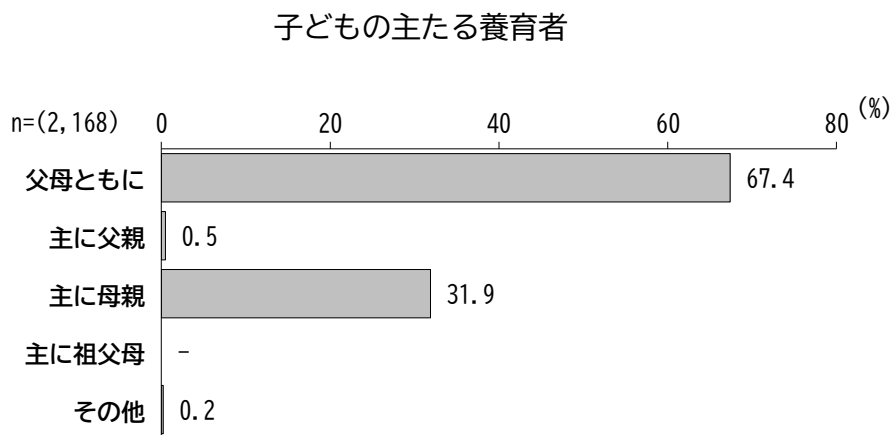
子どもの年齢は、「0歳」が19.3%と最も多く、次いで「1歳」が17.4%、「5歳」が16.2%、「3歳」が16.0%、「2歳」が15.6%、「4歳」が15.5%となっている。



(4) 子どもの主たる養育者

問4 あて名のお子さんの子育てや教育を主に行っているのは、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。(回答は1つ)

子どもの主たる養育者は、「父母ともに」が67.4%と最も多く、次いで「主に母親」が31.9%、「主に父親」が0.5%となっている。



2. 保護者の就労状況

(1) 父親の就労状況

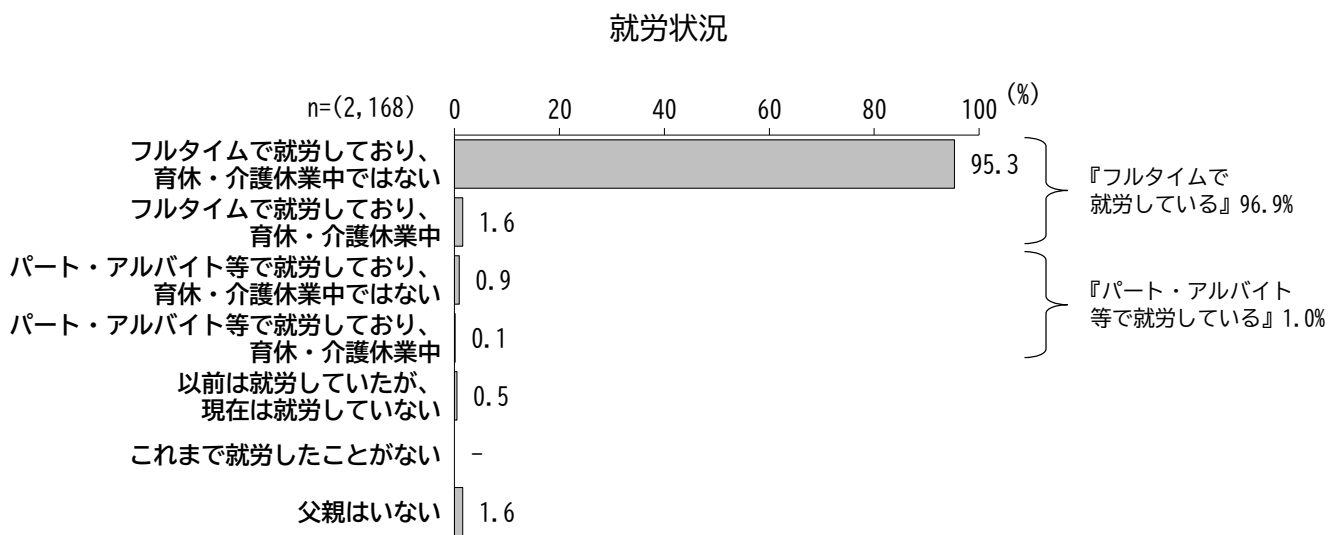
問5 あて名のお子さんの父親について、現在の就労状況をお答えください。(回答は1つ)

※フルタイム：1週5日以上・1日8時間程度の就労

パート・アルバイト等：フルタイム以外

※育児・介護のために時短勤務をされている方は「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」をお選びください。

父親の就労形態は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が95.3%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中」が1.6%となっている。また、『フルタイムで就労している』が96.9%となっている。一方で、「父親はいない」が1.6%となっている。



(2) 父親の就労日数・就労時間・前年度の年収

問5で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中」、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中」と回答した方に伺います。

問5-1 下記についてお答えください。

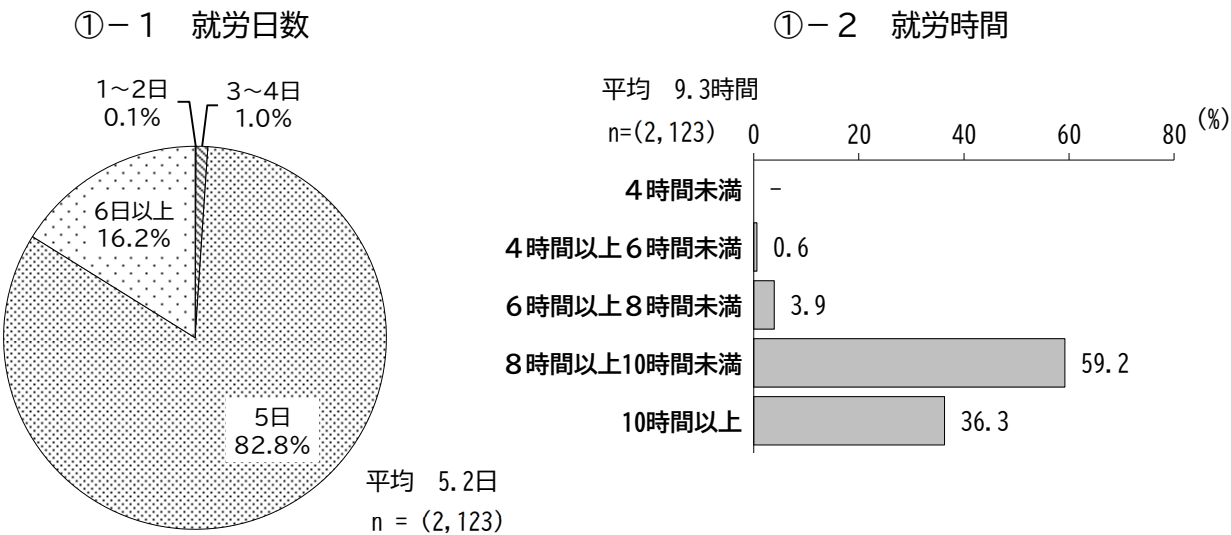
①就労日数・就労時間（空欄内は数字を記入）

②前年度の収入（回答は1つ）

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

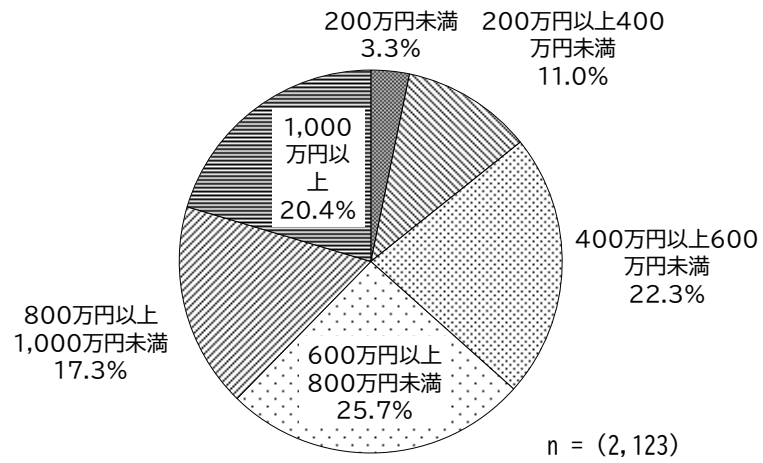
※時間は、18時のように、24時間制で記入してください。

フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の1週あたりの就労日数は、「5日」が82.8%と最も多く、次いで「6日以上」が16.2%、「3～4日」が1.0%となっている。1日あたりの就労時間は、「8時間以上10時間未満」が59.2%と最も多く、次いで「10時間以上」が36.3%、「6時間以上8時間未満」が3.9%となっている。平均は9.3時間となっている。



前年度の年収は、「600万円以上800万円未満」が25.7%と最も多く、次いで「400万円以上600万円未満」が22.3%、「1,000万円以上」が20.4%となっている。

②前年度の年収



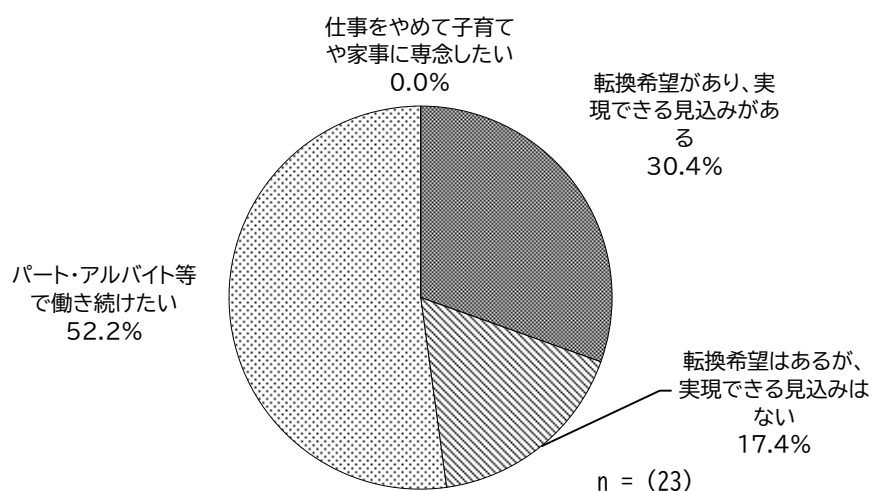
(3) パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

問5で「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」または「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中」と回答した方に伺います。

問5-2 フルタイム（1週5日以上・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。
（回答は1つ）

パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等で働きたい」が52.2%と最も多く、次いで「転換希望があり、実現できる見込みがある」が30.4%、「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が17.4%となっている。

パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望



(4) 未就労者の就労希望

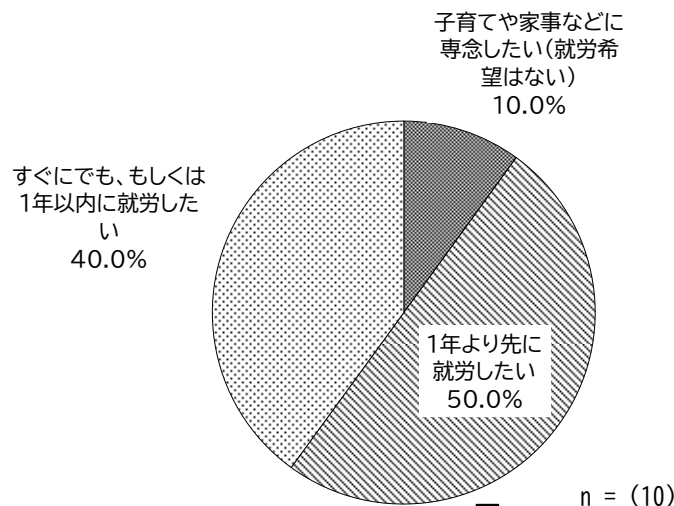
問5で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と答えた方に伺います。

問5-3 就労したいという希望はありますか。(回答は1つ、空欄内は末子は何歳の時に就労を希望するかを記入)

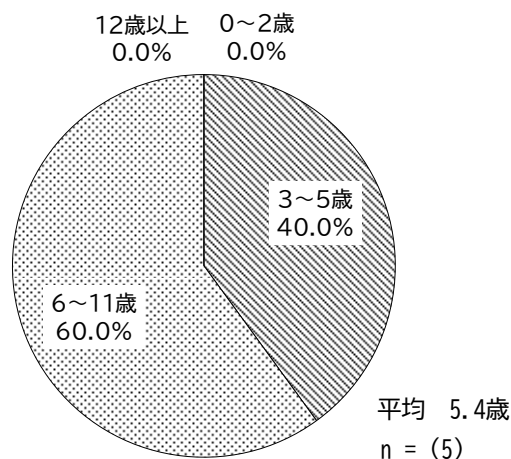
未就労者の就労意向は、「1年より先に就労したい」が50.0%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が40.0%、「子育てや家事などに専念したい(就労希望はない)」が10.0%となっている。

「1年より先に就労したい」と回答した人が、就労を希望する時の末子の年齢は、「6～11歳」が60.0%と最も多く、次いで「3～5歳」が40.0%となっており、平均は5.4歳となっている。

①就労意向



② 1年より先に就労を希望する時の末子の年齢



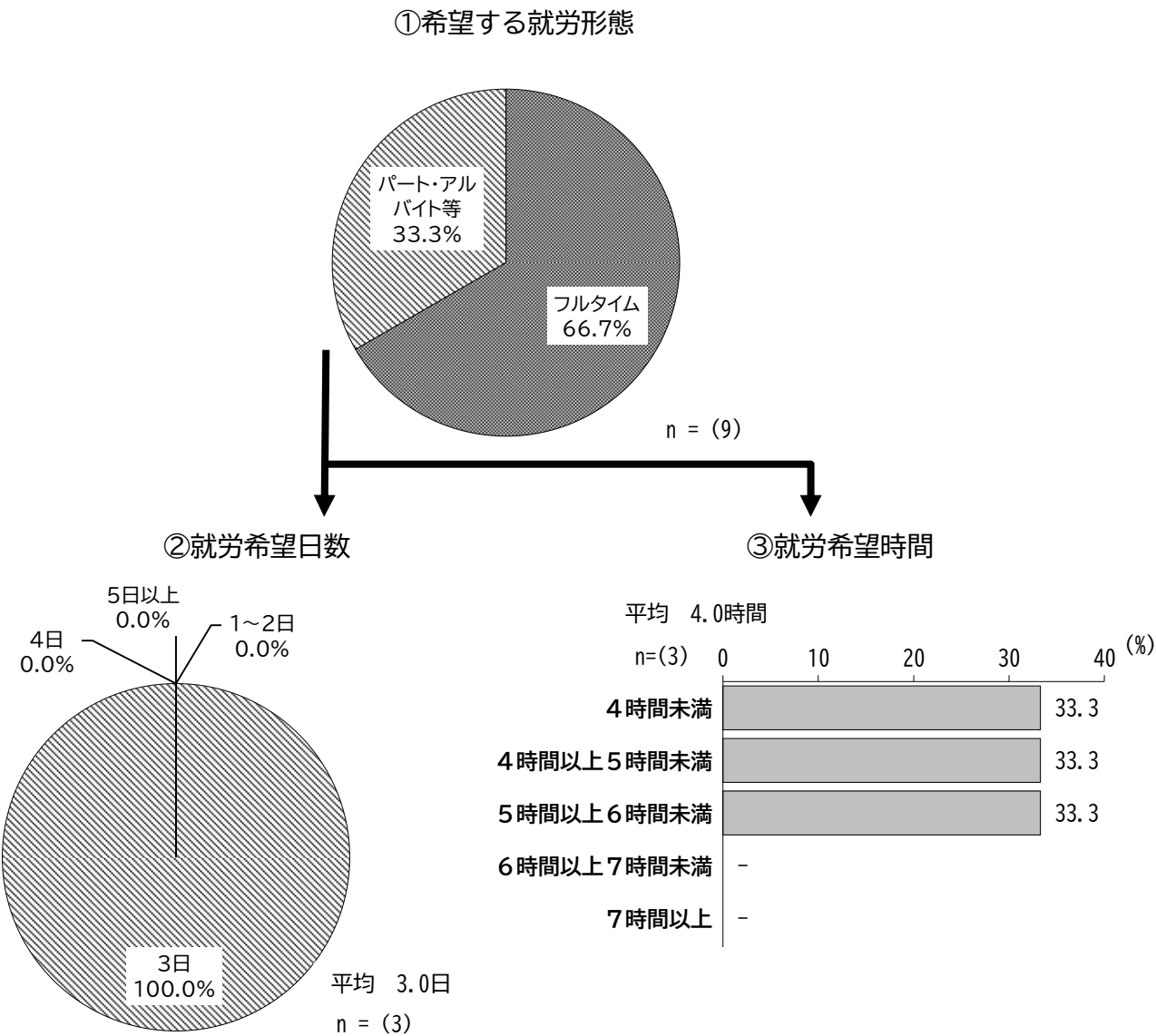
(5) 就労意向のある未就労者の希望就労形態・就労日数・就労時間

問5-3で「1年より先、一番下の子どもが〇歳になったら頃就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方に伺います。

問5-4 希望する就労形態をお答えください。(回答は1つ)

未就労者のうち、就労したいと回答した人が希望する就労形態は、「フルタイム」が66.7%、「パート・アルバイト等」が33.3%となっている。

パート・アルバイト等を希望する人の1週あたりの就労希望日数は、平均3.0日であり、1日あたりの就労希望時間は平均4.0時間となっている。

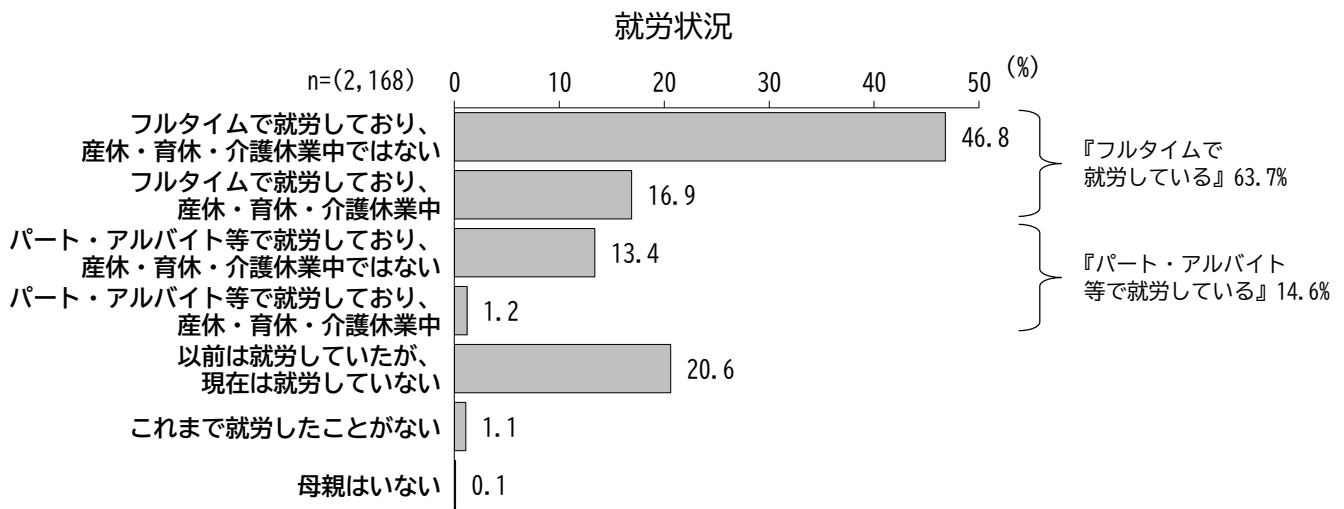


(6) 母親の就労状況

問6 あて名のお子さんの母親について、現在の就労状況をお答えください。(回答は1つ)

母親の就労形態は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が46.8%と最も多く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」が20.6%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中」が16.9%となっている。

また、『フルタイムで就労している』は63.7%、『パート・アルバイト等で就労している』は14.6%となっている。



(7) 母親の就労日数・就労時間・前年度の年収

問6で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中」、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中」と回答した方に伺います。

問6-1 下記についてお答えください。

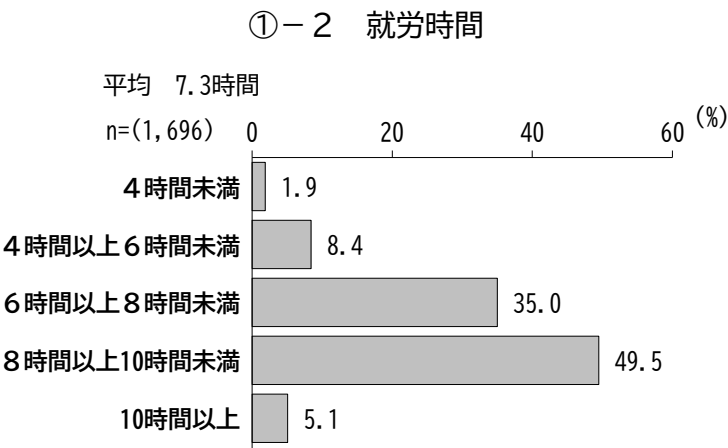
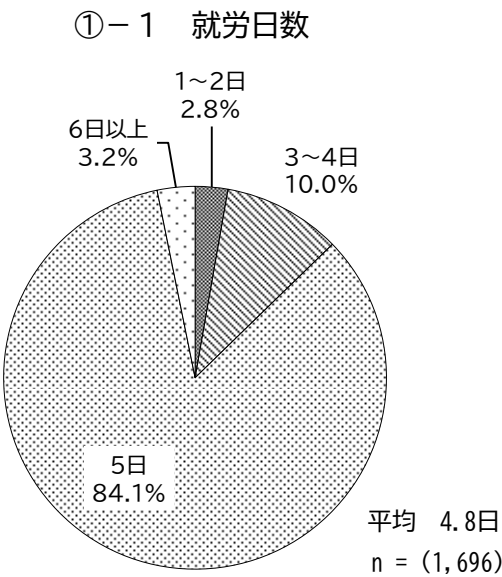
①就労日数・就労時間（空欄内は数字を記入）

②前年度の年収（回答は1つ）

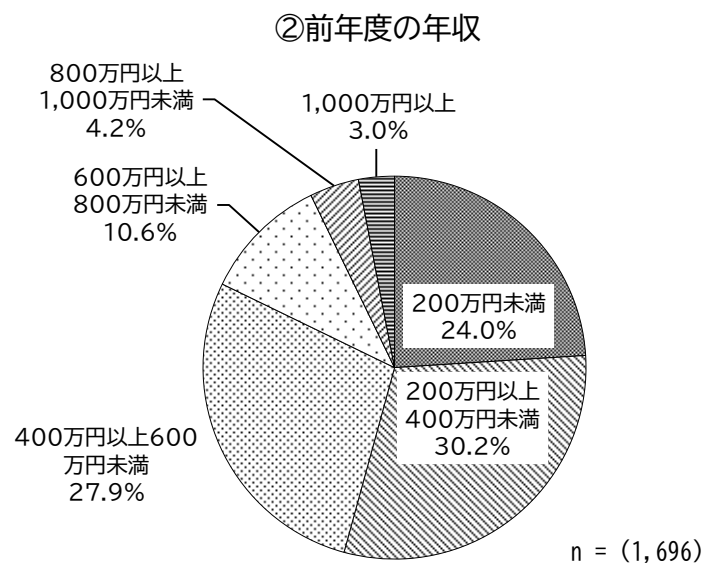
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、18時のように、24時間制で記入してください。

フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の1週あたりの就労日数は、「5日」が84.1%と最も多く、次いで「3～4日」が10.0%、「6日以上」が3.2%となっており、平均は4.8日となっている。1日あたりの就労時間は、「8時間以上10時間未満」が49.5%と最も多く、次いで「6時間以上8時間未満」が35.0%、「4時間以上6時間未満」が8.4%となっている。平均は7.3時間となっている。



前年度の年収は、「200万円以上400万円未満」が30.2%と最も多く、次いで「400万円以上600万円未満」が27.9%、「200万円未満」が24.0%となっている。



(8) パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

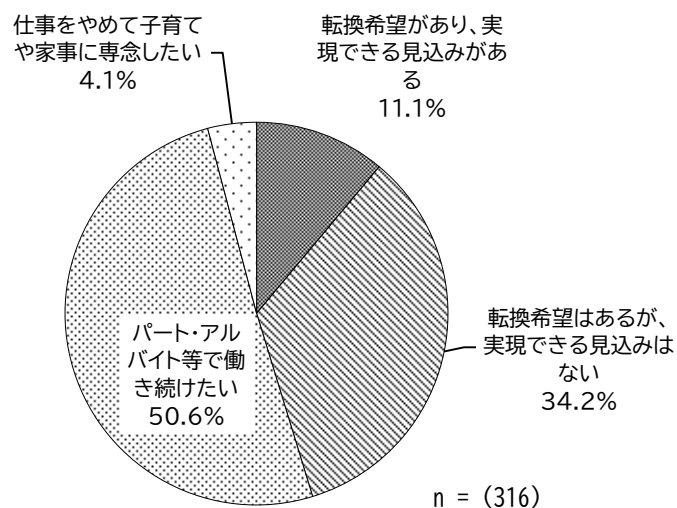
問6で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」または「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中」と回答した方に伺います。

問6-2 フルタイム（1週5日以上・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。

（回答は1つ）

パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等で働きたい」が50.6%と最も多く、次いで「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が34.2%、「転換希望があり、実現できる見込みがある」が11.1%、「仕事をやめて子育てや家事に専念したい」が4.1%となっている。

パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

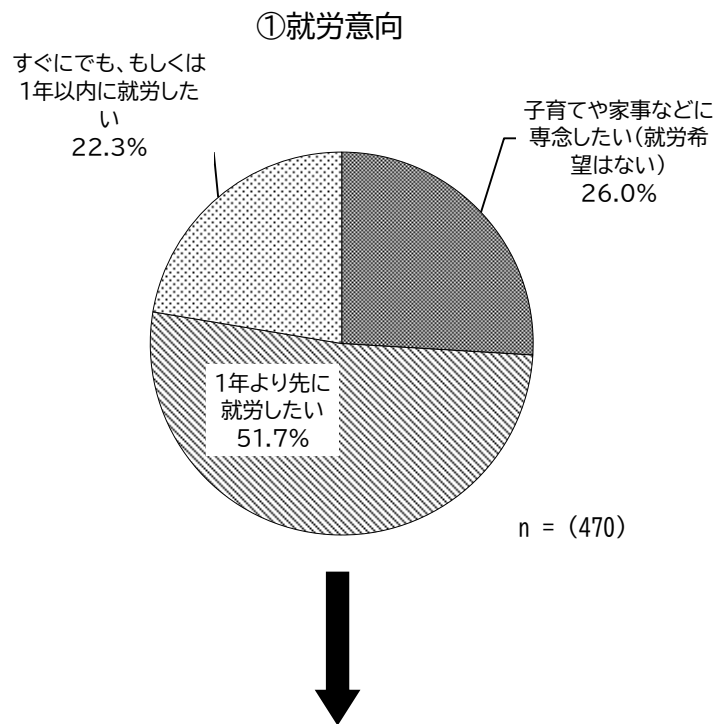


(9) 未就労者の就労希望

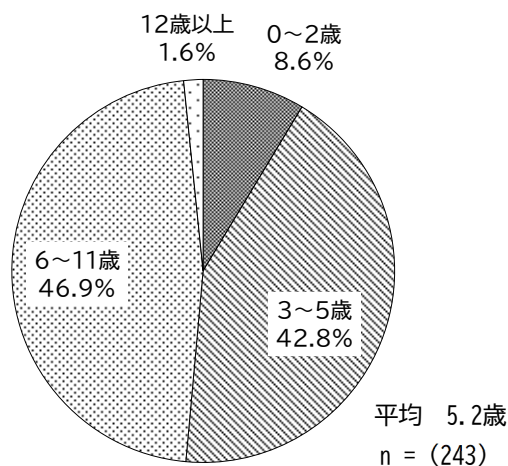
問6で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した方に伺います。

問6-3 就労したいという希望はありますか。(回答は1つ、空欄内は末子は何歳の時に就労を希望するかを記入)

未就労者の就労意向は、「1年より先に就労したい」が51.7%と最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労希望はない)」が26.0%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が22.3%となっている。「1年より先に就労したい」と回答した人が、就労を希望する時の末子の年齢は、「6～11歳」が46.9%と最も多く、次いで「3～5歳」が42.8%、「0～2歳」が8.6%となっており、平均は5.2歳となっている。



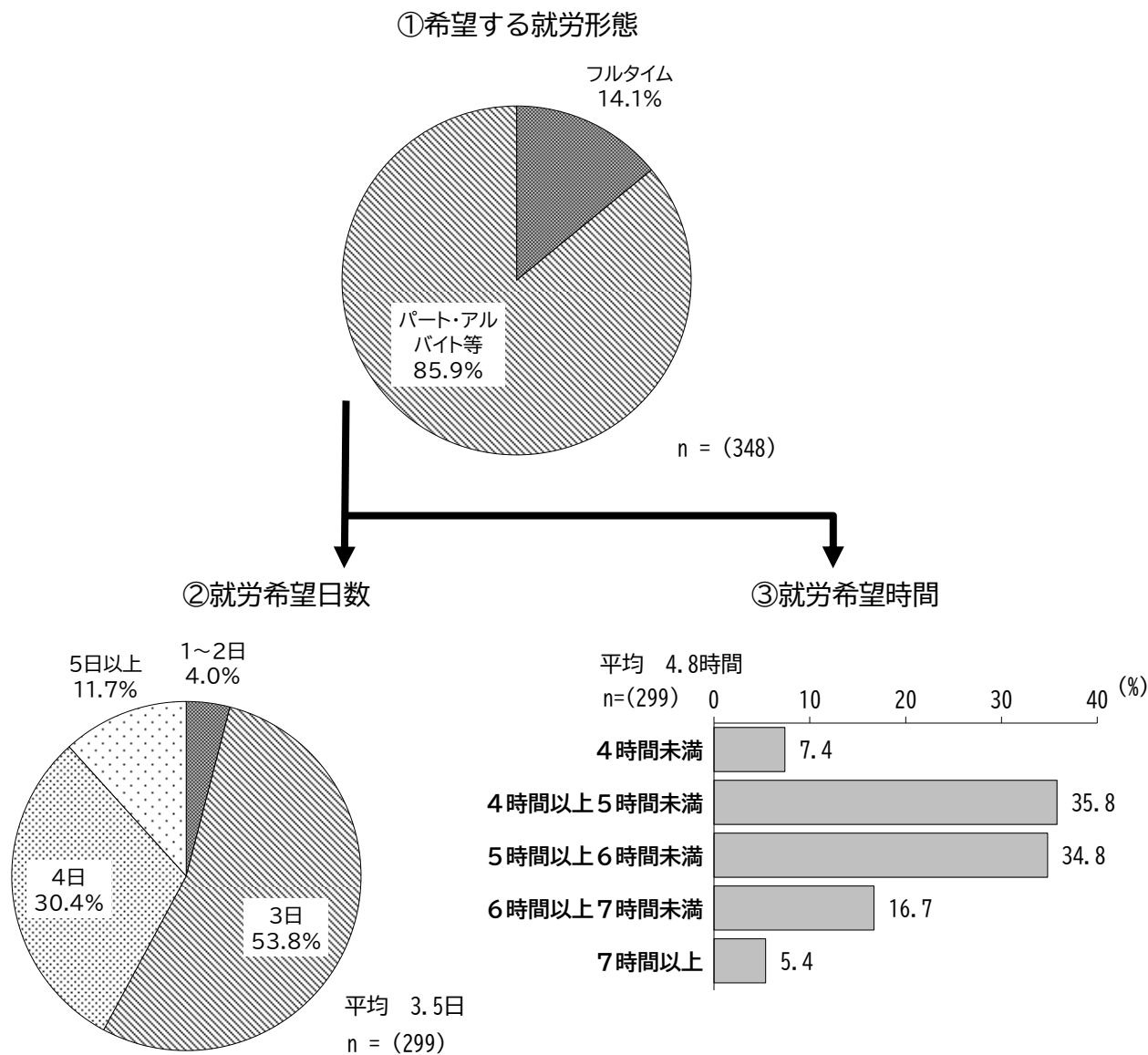
① 1年より先に就労を希望する時の末子の年齢



(10) 就労意向のある未就労者の希望就労形態・就労日数・就労時間

問6-3で「1年より先、一番下の子どもが〇歳頃になった頃就労したい」または「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方に伺います。
問6-4 希望する就労形態をお答えください。(回答は1つ)

未就労者のうち、就労したいと回答した人が希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」が85.9%、「フルタイム」が14.1%となっている。
パート・アルバイト等を希望する人の1週あたりの就労希望日数は、平均3.5日であり、1日あたりの就労希望時間は平均4.8時間となっている。

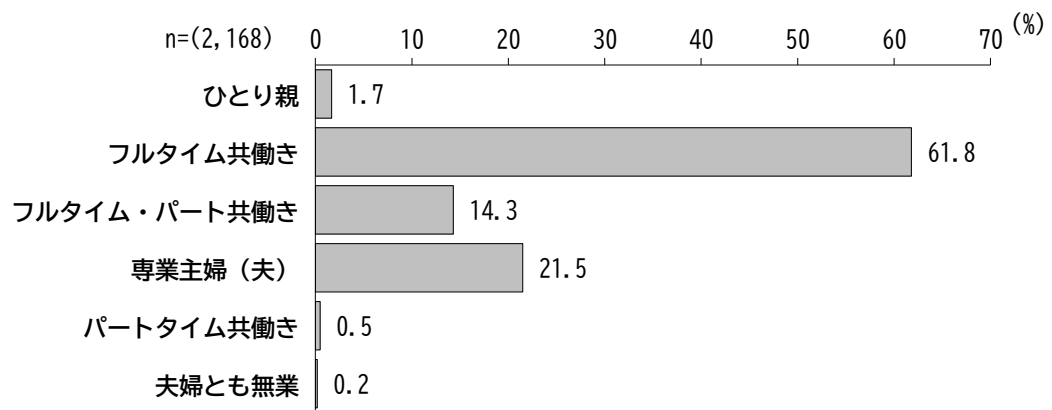


(11) 両親の就労形態からみた家庭類型

両親の就労形態からみた家庭類型は、「フルタイム共働き」が61.8%と最も多く、次いで「専業主婦（夫）」が21.5%、「フルタイム・パート共働き」が14.3%となっている。

子どもの年齢別にみると、「フルタイム共働き」がいずれの年齢においても5割以上で最も多くなっており、特に0歳から2歳では6割以上となっている。

両親の就労形態からみた家庭類型（単数回答）



両親の就労形態からみた家庭類型

(単位:%)

		回答者数（人）	ひとり親	フルタイム共働き	フルタイム・パート共働き	専業主婦（夫）	パートタイム共働き	夫婦とも無業
全 体		2,168	1.7	61.8	14.3	21.5	0.5	0.2
子どもの年齢別	0歳	418	0.5	73.0	8.6	17.5	0.5	-
	1歳	377	0.8	62.6	12.2	23.6	0.3	0.5
	2歳	338	1.8	62.7	12.7	21.6	1.2	-
	3歳	347	1.2	53.0	20.7	24.2	0.6	0.3
	4歳	337	3.6	59.9	16.3	19.9	-	0.3
	5歳	351	2.8	57.3	16.2	22.8	0.6	0.3

※両親の就労形態からみた家族類型：各家庭における父母の有無および就労状況別に類型化したもの
（例：父がフルタイム就労、母がパートタイム就労の場合、フルタイム・パートタイム共働き）

3. 平日の定期的な保育サービスの利用状況

(1) 定期的に利用している教育・保育事業の利用の有無

【「定期的な」とは、月単位で定期的に利用していることを指します。】

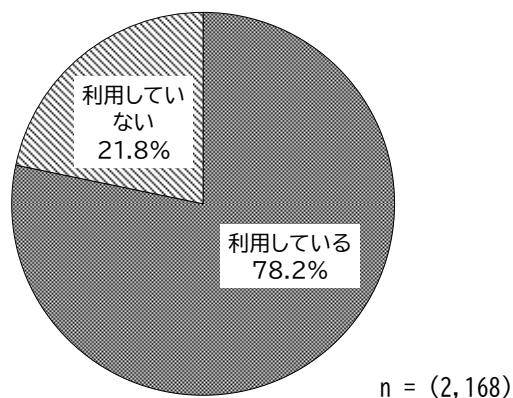
問7 あて名のお子さんは現在、平日に幼稚園や保育施設等を定期的に利用していますか。
(回答は1つ)

定期的に利用している教育・保育事業の利用の有無は、「利用している」が78.2%と最も多く、次いで「利用していない」が21.8%となっている。

子どもの年齢別にみると、「0歳」では「利用している」が33.5%となっているが、1歳以上では6割以上となっており、3歳以上になると「利用している」は9割以上となっている。

就労形態による家庭類型別にみると、「利用している」は「フルタイム・パート共働き」で89.0%と最も多く、次いで「ひとり親」で86.5%、「フルタイム共働き」で83.3%となっている。

定期的に利用している教育・保育事業の利用の有無



定期的に利用している教育・保育事業の利用の有無

(単位:%)

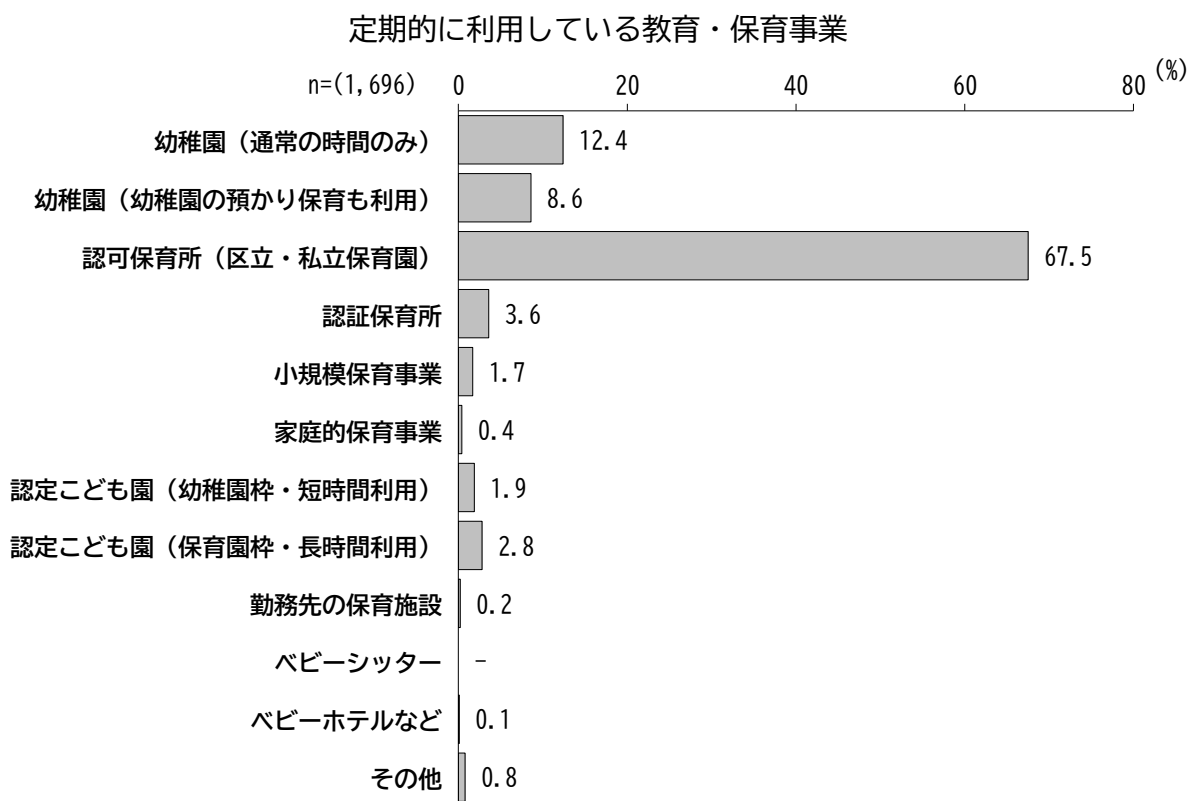
		回答者数(人)	利用している	利用していない
全 体		2,168	78.2	21.8
子どもの年齢別	0歳	418	33.5	66.5
	1歳	377	69.5	30.5
	2歳	338	81.4	18.6
	3歳	347	97.4	2.6
	4歳	337	99.1	0.9
	5歳	351	98.9	1.1
就労形態による 家庭形態による	ひとり親	37	86.5	13.5
	フルタイム共働き	1,340	83.3	16.7
	フルタイム・パート共働き	309	89.0	11.0
	専業主婦(夫)	466	56.2	43.8
	パートタイム共働き	11	72.7	27.3
	夫婦とも無業	5	60.0	40.0

(2) 定期的に利用している教育・保育事業

問7で「平日に幼稚園や保育施設等を定期的に利用している」と回答した方に伺います。

問8 平日にどのような幼稚園や保育施設等を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(主に利用しているもの1つに回答)

定期的に利用している教育・保育事業は、「認可保育所（区立・私立保育園）」が67.5%と最も多く、次いで「幼稚園（通常の時間のみ）」が12.4%、「幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）」が8.6%となっている。



子どもの年齢別にみると、いずれの年齢においても「認可保育所（区立・私立保育園）」が最も多くなっており、特に「0歳」では82.1%と多くなっている。

就労形態による家庭類型別にみると、「ひとり親」、「フルタイム共働き」、「フルタイム・パート共働き」では、「認可保育所（区立・私立保育園）」が最も多くなっており、特に「ひとり親」、「フルタイム共働き」で8割台となっている。「専業主婦（夫）」では「幼稚園（通常の時間のみ）」が61.5%で最も多くなっている。

定期的に利用している教育・保育事業

(単位:%)

		回答者数(人)	幼稚園 (通常の時間のみ)	幼稚園 (幼稚園の預かり保育も利用)	認可保育所 (区立・私立保育園)	認証 保育所	小規模 保育事業	家庭的 保育事業	認定こども園 (幼稚園枠・短時間利用)	認定こども園 (保育園枠・長時間利用)	勤務先の 保育施設	ベビー シッター	ベビー ホテルなど	その他
全 体		1,696	12.4	8.6	67.5	3.6	1.7	0.4	1.9	2.8	0.2	-	0.1	0.8
子どもの 年齢別	0歳	140	1.4	-	82.1	5.7	2.9	2.1	-	4.3	0.7	-	-	0.7
	1歳	262	1.9	0.4	79.8	7.6	4.6	0.8	-	2.7	0.8	-	-	1.5
	2歳	275	6.9	1.8	75.3	6.5	4.4	0.4	0.4	2.5	-	-	-	1.8
	3歳	338	20.1	13.0	58.0	2.1	0.3	-	3.0	2.7	-	-	0.3	0.6
	4歳	334	15.3	14.4	63.2	1.2	-	-	2.7	2.7	0.3	-	-	0.3
	5歳	347	19.0	13.8	59.7	1.2	-	-	3.5	2.6	-	-	-	0.3
就労形態 による 家庭類型別	ひとり親	32	6.3	-	81.3	3.1	3.1	-	-	6.3	-	-	-	-
	フルタイム共働き	1,116	1.6	3.5	84.9	3.4	1.7	0.4	0.4	3.3	0.3	-	-	0.6
	フルタイム・パート共働き	275	10.2	17.5	54.5	6.2	2.2	0.7	4.0	2.2	0.4	-	0.4	1.8
	専業主婦（夫）	262	61.5	21.4	6.1	1.9	1.1	-	6.5	0.8	-	-	-	0.8
	パートタイム共働き	8	12.5	25.0	62.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	夫婦とも無業	3	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地 地域別	南部すこやか福祉センター	336	9.2	7.1	65.5	3.9	3.9	1.2	1.8	6.3	-	-	0.3	0.9
	中部すこやか福祉センター	481	12.9	8.3	70.3	4.4	0.2	-	0.8	1.7	0.2	-	-	1.2
	北部すこやか福祉センター	457	11.2	8.8	67.2	2.6	1.3	0.4	4.2	3.9	0.4	-	-	-
	鷺宮すこやか福祉センター	422	15.9	10.0	66.4	3.6	2.1	-	0.7	-	0.2	-	-	1.2

(3) 教育・保育事業の利用頻度と利用希望頻度

問7で「平日に幼稚園や保育施設等を定期的に利用している」と回答した方に伺います。

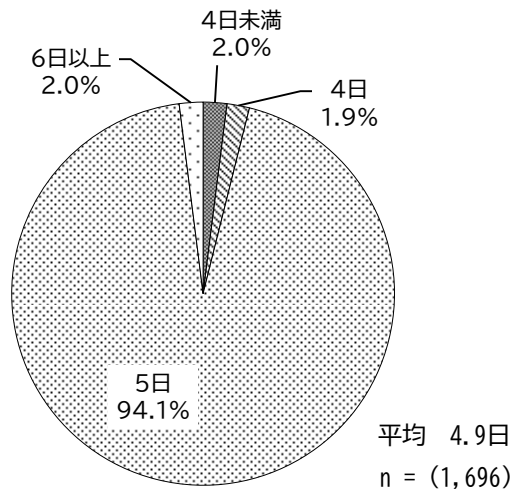
問9 1週あたりの利用日数・1日の利用時間帯をお答えください。(数字を記入)

※時間は、18時のように、24時間制で記入してください。

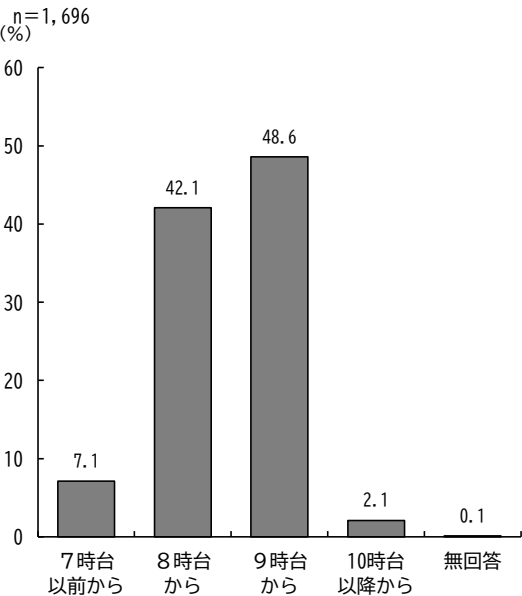
①現在

現在の1週あたりの利用日数は、「5日」が94.1%と最も多く、次いで「4日未満」、「6日以上」が2.0%となっている。利用開始時間は、「9時台から」が48.6%と最も多く、次いで「8時台から」が42.1%、「7時台以前から」が7.1%となっている。利用終了時間は、「18時まで」が44.9%と最も多く、次いで「17時まで」が24.4%、「14時まで」が17.8%となっている。

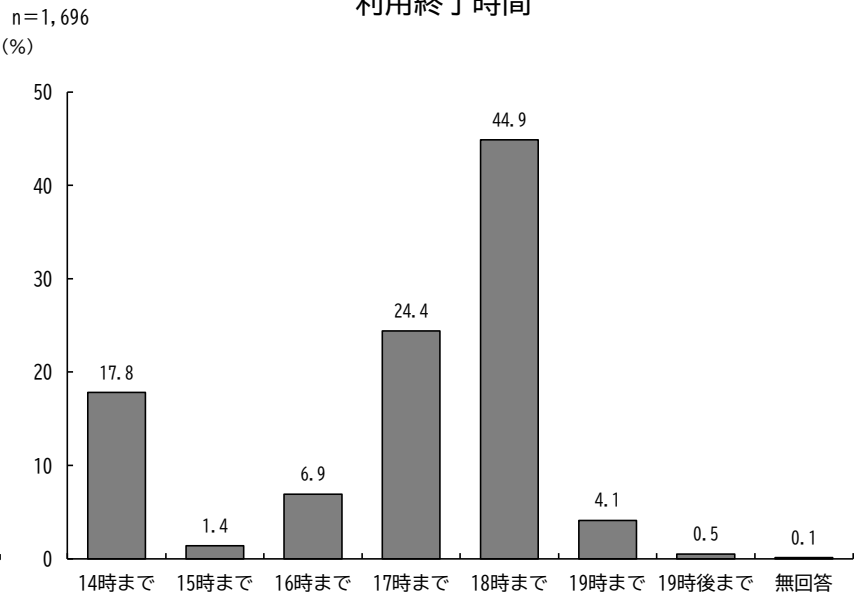
週あたりの利用日数



利用開始時間



利用終了時間



利用開始時間を利用している教育・保育事業別にみると、「幼稚園（通常の時間のみ）」、「幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）」および「認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）」では「9時台」がいずれも7割以上となっている。「認可保育所（区立・私立保育園）」や「認証保育所」、「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」では「8時台」が4割半ばから5割程度となっている。

利用開始時間

(単位:%)

		回答者数 (人)	7時台 以前から	8時台 から	9時台 から	10時台 以降	無回答
全 体		1,696	7.1	42.1	48.6	2.1	0.1
定期的・保育事業に利用している	幼稚園（通常の時間のみ）	211	0.9	8.1	86.3	4.7	-
	幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）	146	2.1	16.4	74.7	6.2	0.7
	認可保育所（区立・私立保育園）	1,145	9.2	52.0	38.2	0.7	-
	認証保育所	61	4.9	50.8	42.6	1.6	-
	小規模保育事業	29	6.9	41.4	48.3	3.4	-
	家庭的保育事業	6	16.7	66.7	16.7	-	-
	認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）	32	-	9.4	84.4	6.3	-
	認定こども園（保育園枠・長時間利用）	47	8.5	46.8	44.7	-	-
	勤務先の保育施設	4	25.0	-	50.0	25.0	-
	ベビーシッター	-	-	-	-	-	-
	ベビーホテルなど	1	-	-	-	100.0	-
	その他	14	-	42.9	42.9	14.3	-

第3章 乳幼児調査の結果

利用終了時間を利用している教育・保育事業別にみると、「幼稚園（通常の時間のみ）」、「幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）」および「認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）」では、「14時まで」が最も多くなっている。「認可保育所（区立・私立保育園）」や「認証保育所」、「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」では、「18時まで」が5割以上と最も多くなっている。

利用終了時間

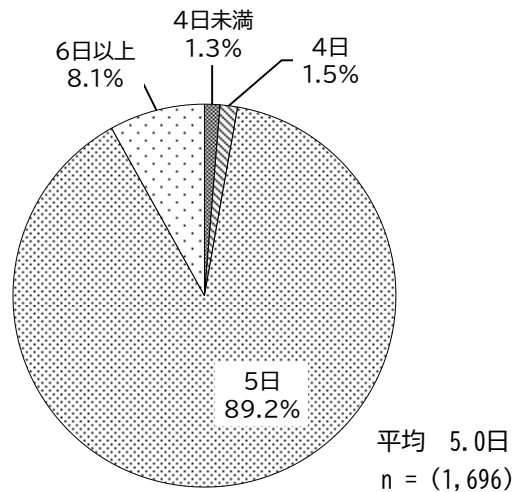
(単位:%)

		回答者数 (人)	14時 まで	15時 まで	16時 まで	17時 まで	18時 まで	19時 まで	19時 後まで	無回 答
全 体		1,696	17.8	1.4	6.9	24.4	44.9	4.1	0.5	0.1
定期的・保 育事業に 利用して いる	幼稚園（通常の時間のみ）	211	90.5	3.8	0.9	2.4	1.9	-	0.5	-
	幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）	146	50.0	5.5	12.3	21.9	9.6	-	-	0.7
	認可保育所（区立・私立保育園）	1,145	0.6	0.1	6.9	28.2	58.2	5.7	0.3	-
	認証保育所	61	1.6	-	9.8	26.2	57.4	3.3	1.6	-
	小規模保育事業	29	3.4	6.9	13.8	37.9	37.9	-	-	-
	家庭的保育事業	6	-	16.7	-	66.7	16.7	-	-	-
	認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）	32	78.1	9.4	6.3	6.3	-	-	-	-
	認定こども園（保育園枠・長時間利用）	47	-	-	6.4	31.9	55.3	2.1	4.3	-
	勤務先の保育施設	4	-	-	-	25.0	50.0	25.0	-	-
	ベビーシッター	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ベビーホテルなど	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	その他	14	28.6	7.1	14.3	35.7	14.3	-	-	-

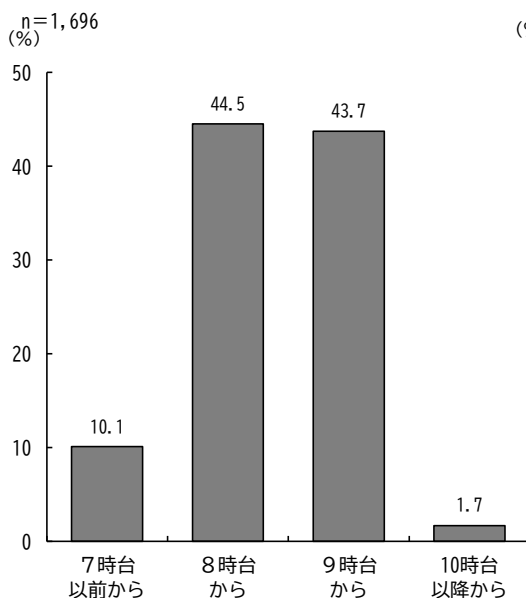
②希望

1週あたりの利用希望日数は、「5日」が89.2%と最も多く、次いで「6日以上」が8.1%となっている。希望開始時間は、「8時台から」が44.5%と最も多く、次いで「9時台から」が43.7%、「7時台以前から」が10.1%となっている。希望終了時間は、「18時まで」が42.5%と最も多く、次いで「17時まで」が24.2%、「19時まで」が11.8%となっている。

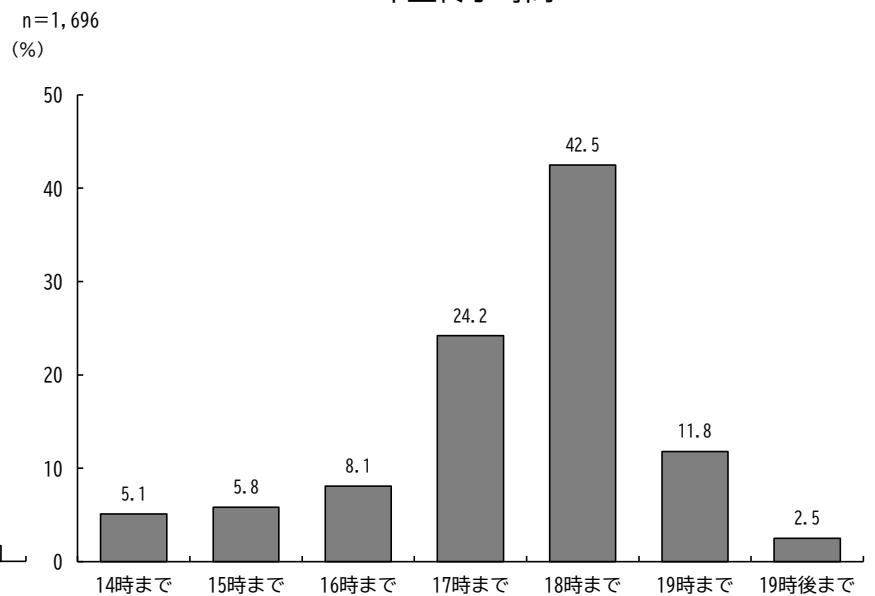
週あたりの利用希望日数



希望開始時間



希望終了時間



第3章 乳幼児調査の結果

希望開始時間を利用している教育・保育事業別にみると、「幼稚園（通常の時間のみ）」、「幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）」および「認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）」では、「9時台から」が6割半ばから8割程度で最も多くなっている。「認可保育所（区立・私立保育園）」と「認証保育所」、「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」は「8時台から」が4割半ばから5割半ば程度で最も多くなっている。

希望開始時間

(単位:%)

		回答者数(人)	7時台以前から	8時台から	9時台から	10時台以降
全 体		1,696	10.1	44.5	43.7	1.7
定期的・保育利用事業で別いる	幼稚園（通常の時間のみ）	211	0.9	19.0	76.8	3.3
	幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）	146	4.8	19.9	67.8	7.5
	認可保育所（区立・私立保育園）	1,145	12.5	52.7	34.3	0.5
	認証保育所	61	6.6	54.1	37.7	1.6
	小規模保育事業	29	10.3	44.8	41.4	3.4
	家庭的保育事業	6	16.7	66.7	16.7	-
	認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）	32	3.1	15.6	78.1	3.1
	認定こども園（保育園枠・長時間利用）	47	17.0	44.7	38.3	-
	勤務先の保育施設	4	25.0	-	50.0	25.0
	ベビーシッター	-	-	-	-	-
	ベビーホテルなど	1	-	-	100.0	-
	その他	14	7.1	50.0	35.7	7.1

希望終了時間を利用している教育・保育事業別にみると、「幼稚園（通常の時間のみ）」では「14時まで」が28.4%で最も多くなっているが、「幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）」では「17時まで」が最も多くなっている。「認可保育所（区立・私立保育園）」や「認証保育所」、「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」では「18時まで」が5割台と最も多くなっている。

希望終了時間

(単位:%)

		回答者数 (人)	14時まで	15時まで	16時まで	17時まで	18時まで	19時まで	19時後まで
全 体		1,696	5.1	5.8	8.1	24.2	42.5	11.8	2.5
定期的・保育事業 利用している	幼稚園（通常の時間のみ）	211	28.4	26.5	22.3	14.7	5.2	2.4	0.5
	幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）	146	12.3	17.8	18.5	26.0	21.2	4.1	-
	認可保育所（区立・私立保育園）	1,145	0.3	0.1	4.3	25.1	52.0	15.0	3.2
	認証保育所	61	-	-	8.2	26.2	52.5	9.8	3.3
	小規模保育事業	29	-	6.9	10.3	37.9	41.4	3.4	-
	家庭的保育事業	6	-	16.7	-	33.3	-	50.0	-
	認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）	32	9.4	40.6	15.6	18.8	12.5	3.1	-
	認定こども園（保育園枠・長時間利用）	47	-	-	2.1	23.4	57.4	10.6	6.4
	勤務先の保育施設	4	-	-	-	25.0	50.0	25.0	-
	ベビーシッター	-	-	-	-	-	-	-	-
	ベビーホテルなど	1	-	-	-	100.0	-	-	-
	その他	14	14.3	-	-	42.9	42.9	-	-

(4) 病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験

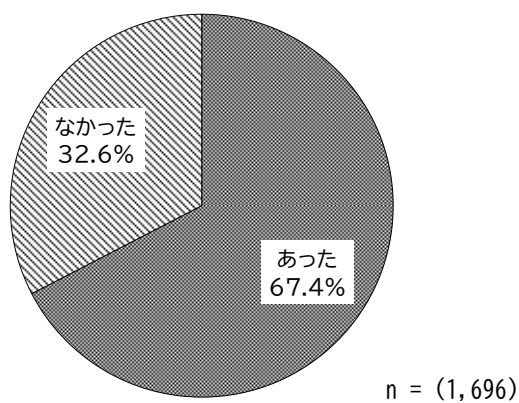
問10 この1年間に、あて名のお子さんの病気やけがにより、定期的に利用している幼稚園や保育施設等が利用できなかったことはありますか。(回答は1つ)

病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験は、「あった」が67.4%、「なかった」が32.6%となっている。

子どもの年齢別にみると、2歳以下では「あった」が7割半ばとなっている。

就労形態による家庭類型別にみると、「ひとり親」、「フルタイム共働き」および「フルタイム・パート共働き」では「あった」が6割以上となっている。

病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験



病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験

(単位:%)

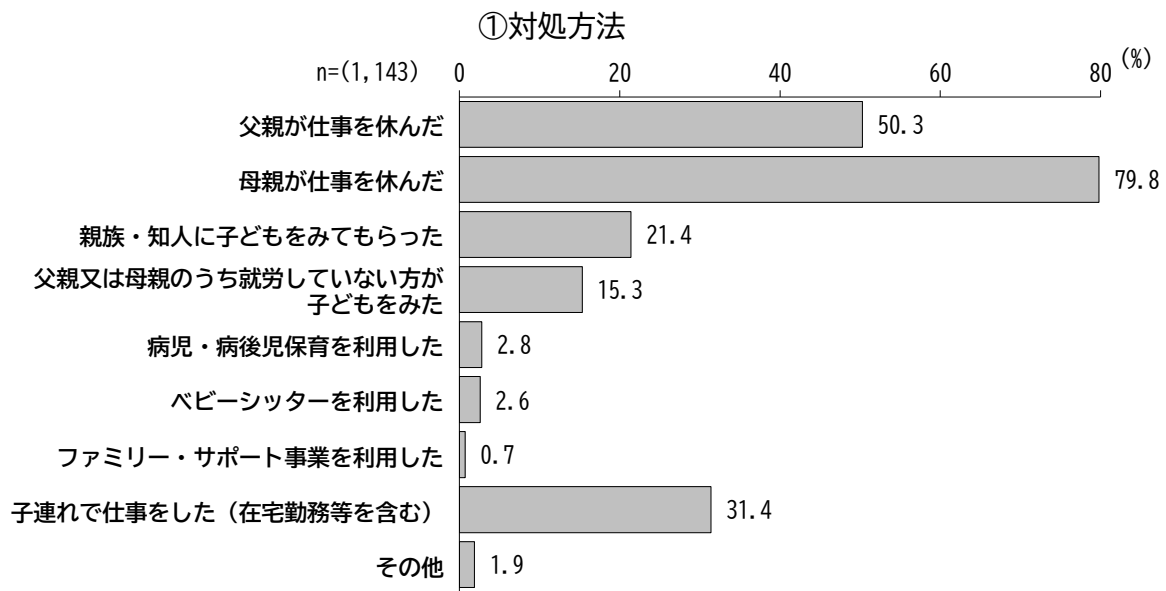
		回答者数 (人)	あつた	なかつた
全 体		1,696	67.4	32.6
子どもの年齢別	0歳	140	75.7	24.3
	1歳	262	75.2	24.8
	2歳	275	74.2	25.8
	3歳	338	62.4	37.6
	4歳	334	62.3	37.7
	5歳	347	62.5	37.5
就労形態による 家庭形態別	ひとり親	32	68.8	31.3
	フルタイム共働き	1,116	71.7	28.3
	フルタイム・パート共働き	275	63.6	36.4
	専業主婦(夫)	262	54.2	45.8
	パートタイム共働き	8	37.5	62.5
	夫婦とも無業	3	33.3	66.7

(5) 利用できなかった場合の対処と日数

問10で「あった」と回答した方に伺います。

問10-1 この1年間に行った対処方法をお答えください。(あてはまる選択肢すべてに回答)
また、この1年間に行った対処方法の日数(おおよそ)を記入してください。
(数字を記入)
※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。

教育・保育事業を利用できなかった際の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が79.8%と最も多く、次いで「父親が仕事を休んだ」が50.3%、「子連れで仕事をした(在宅勤務等を含む)」が31.4%となっている。利用日数(年間)の平均は、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が25.3日、「母親が仕事を休んだ」が10.9日、「子連れで仕事をした(在宅勤務等を含む)」が10.6日となっている。



②対処方法別の日数(年間)

(単位: %)

	回答者数 (人)	1 ～ 2 日	3 ～ 4 日	5 ～ 9 日	10 ～ 19 日	20 日 以上	平均 日数 (日)
父親が仕事を休んだ	575	24.7	20.0	35.8	16.2	3.3	5.6
母親が仕事を休んだ	912	8.3	11.2	27.2	35.7	17.5	10.9
親族・知人に子どもをみてもらった	245	26.1	15.9	25.3	20.0	12.7	7.9
父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	175	3.4	3.4	18.3	36.0	38.9	25.3
病児・病後児保育を利用した	32	37.5	12.5	28.1	18.8	3.1	6.1
ベビーシッターを利用した	30	40.0	23.3	23.3	13.3	-	4.2
ファミリー・サポート事業を利用した	8	25.0	12.5	50.0	-	12.5	22.8
子連れで仕事をした(在宅勤務等を含む)	359	11.1	14.2	29.0	27.9	17.8	10.6
その他	22	9.1	-	18.2	40.9	31.8	33.3

(6) 病児・病後児保育施設の利用意向、利用希望日数

問10-1で「病児・病後児保育を利用した」以外を回答した方に伺います。

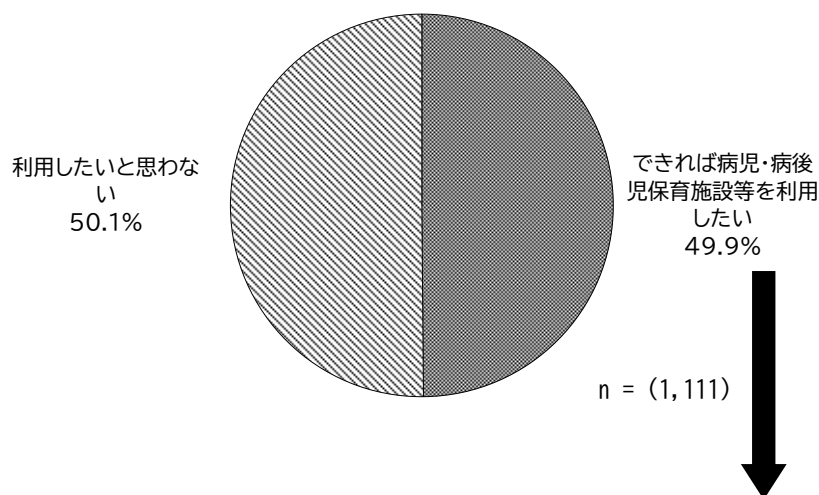
問10-2 「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思いますか。1つに回答をし、希望する場合は利用したい日数を記入してください。

※事業の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要です。

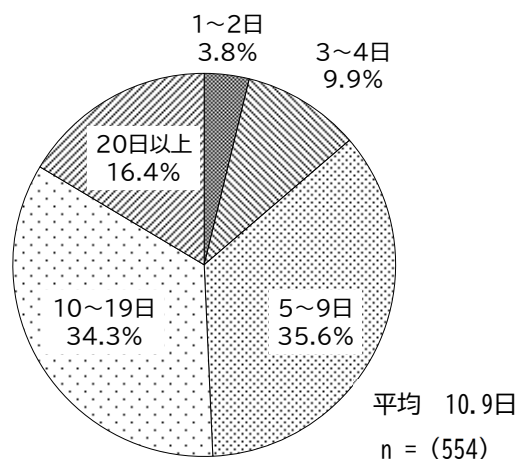
「病児・病後児保育を利用した」以外を回答した人の病児・病後児保育施設の利用意向は、「利用したいと思わない」が50.1%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が49.9%となっている。

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した人の利用希望日数（年間）は、「5～9日」が35.6%と最も多く、次いで「10～19日」が34.3%、「20日以上」が16.4%となっており、平均は10.9日となっている。

①利用意向



②年間利用希望日数

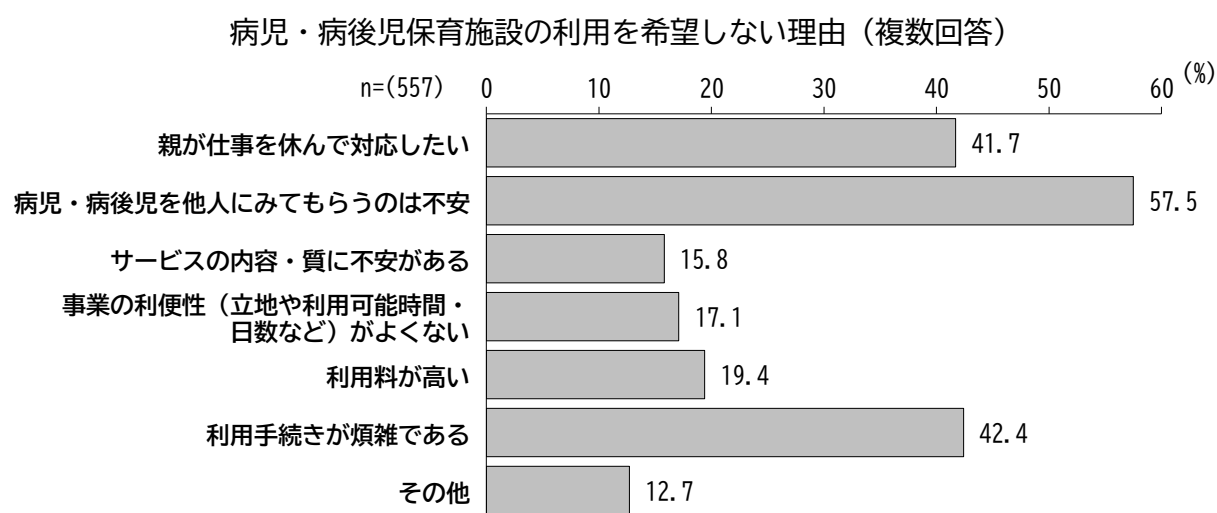


(7) 病児・病後児保育施設の利用を希望しない理由

問10-2で「利用したいと思わない」と回答した方に伺います。

問10-3 利用したいと思わない理由は何ですか。(あてはまる選択肢すべてに回答)

病児・病後児保育施設等を「利用したいと思わない」と回答した人の理由は、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が57.5%と最も多く、次いで「利用手続きが煩雑である」が42.4%、「親が仕事を休んで対応したい」が41.7%となっている。

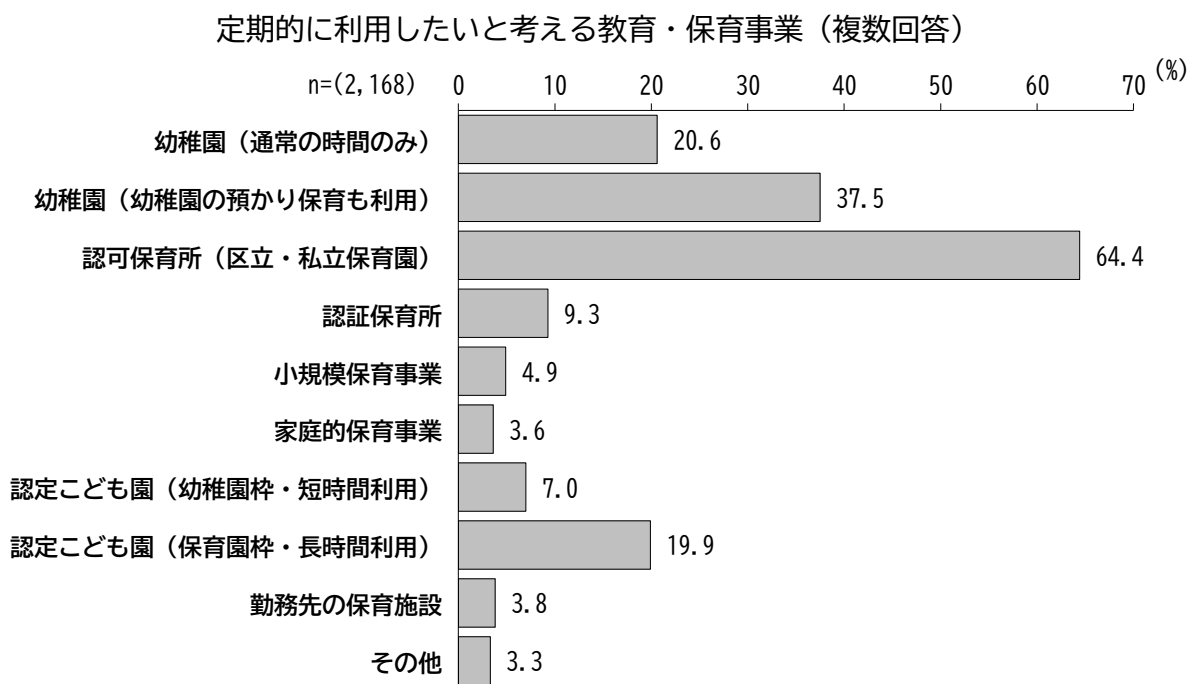


4. 定期的な保育サービスの利用希望

(1) 定期的に利用したいと考える教育・保育事業

問11 あて名のお子さんの平日の幼稚園や保育施設等として、現在の利用状況にかかわらず、利用したい事業をお答えください。(あてはまる選択肢すべてに回答)

定期的にご利用したいと考える教育・保育事業は、「認可保育所（区立・私立保育園）」が64.4%と最も多く、次いで「幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）」が37.5%、「幼稚園（通常の時間のみ）」が20.6%、「認定こども園（保育園枠・長時間利用）」が19.9%、「認証保育所」が9.3%、「認定こども園（幼稚園枠・短時間利用）」が7.0%となっている。



第3章 乳幼児調査の結果

子どもの年齢別にみると、すべての年齢で「認可保育所（区立・私立保育園）」が最も多く、2歳以下で6割から7割半ば程度、3歳以上で5割半ば程度となっている。

就労形態による家庭類型別にみると、「ひとり親」、「フルタイム共働き」および「フルタイム・パート共働き」では、「認可保育所（区立・私立保育園）」が最も多く、「ひとり親」で62.2%、「フルタイム共働き」で81.0%、「フルタイム・パート共働き」で56.0%となっている。「専業主婦（夫）」では、「幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用）」が57.7%、「幼稚園（通常の時間のみ）」が56.9%となっている。

定期的に利用したいと考える教育・保育事業

(単位:%)

		回答者数(人)	幼稚園 (通常の時間のみ)	幼稚園 (幼稚園の預かり保育も利用)	認可保育所 (区立・私立保育園)	認証保育所	小規模保育事業	家庭的保育事業	認定こども園 (幼稚園枠・短時間利用)	認定こども園 (保育園枠・長時間利用)	勤務先の保育施設	その他
全 体		2,168	20.6	37.5	64.4	9.3	4.9	3.6	7.0	19.9	3.8	3.3
子どもの年齢別	0歳	418	23.0	29.9	77.0	13.9	7.9	4.5	8.6	26.6	4.1	3.1
	1歳	377	22.0	36.1	72.1	12.7	7.2	3.2	8.0	21.5	5.3	3.4
	2歳	338	21.9	37.9	63.3	9.8	5.0	4.1	8.0	16.6	4.7	3.6
	3歳	347	19.6	42.9	57.3	6.1	3.7	3.5	6.1	16.4	2.9	4.6
	4歳	337	15.7	38.9	57.0	5.6	2.7	3.6	3.6	18.7	4.2	2.7
	5歳	351	20.5	41.3	56.1	6.3	2.0	2.3	7.1	18.2	1.4	2.6
就労形態による	ひとり親	37	8.1	13.5	62.2	8.1	-	2.7	2.7	27.0	8.1	2.7
	フルタイム共働き	1,340	8.6	28.5	81.0	10.1	5.0	3.3	3.7	21.9	4.0	3.2
	フルタイム・パート共働き	309	19.4	48.9	56.0	10.4	5.8	4.9	8.7	21.7	4.2	3.2
	専業主婦（夫）	466	56.9	57.7	22.7	6.0	4.5	3.6	15.9	13.1	2.8	3.9
	パートタイム共働き	11	18.2	27.3	54.5	18.2	-	-	-	-	-	-
	夫婦とも無業	5	20.0	80.0	40.0	20.0	-	-	-	-	-	-
居住地域別	南部すこやか福祉センター	433	18.9	33.0	63.5	9.2	6.7	4.4	7.6	23.8	3.9	4.6
	中部すこやか福祉センター	632	23.7	39.2	66.9	10.6	4.9	3.5	7.4	18.4	4.0	2.8
	北部すこやか福祉センター	567	18.2	37.6	62.6	7.9	3.2	3.4	7.4	22.0	3.9	3.5
	鷺宮すこやか福祉センター	536	20.7	39.2	64.0	9.1	5.2	3.2	5.4	16.4	3.4	2.6

(2) 日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向、利用希望時間帯

問12 あて名のお子さんについて、日曜日・祝日に、定期的に幼稚園や保育施設等の利用を希望しますか（一時的な利用は除きます）。（回答は1つ）

利用を希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。

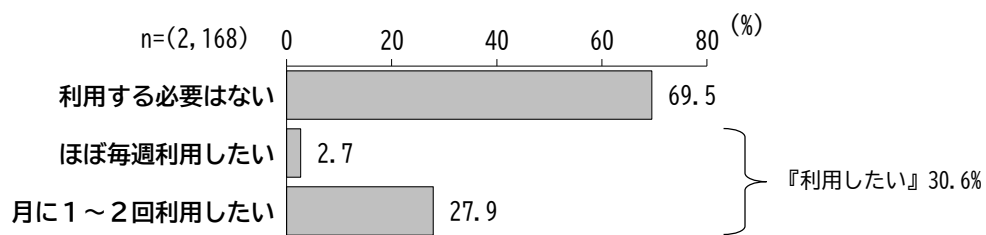
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

※時間は、18時のように、24時間制で記入してください。

日曜日・祝日の定期的な幼稚園や保育施設の利用意向は、「利用する必要はない」が69.5%と最も多く、次いで「月に1～2回利用したい」が27.9%、「ほぼ毎週利用したい」が2.7%となっている。また、『利用したい』は30.6%となっている。

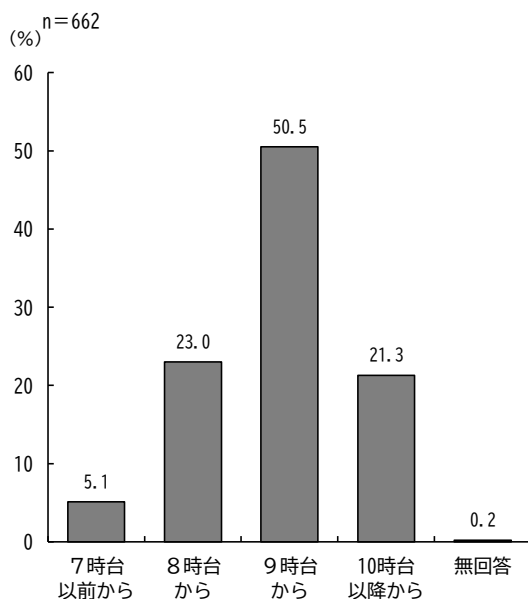
『利用したい』と回答した人の希望開始時間は、「9時台から」が50.5%と最も多く、次いで「8時台から」が23.0%、「10時台以降から」が21.3%となっている。希望終了時間は、「18時まで」が33.7%と最も多く、次いで「17時まで」が28.4%、「15時まで」が11.6%となっている。

①利用意向

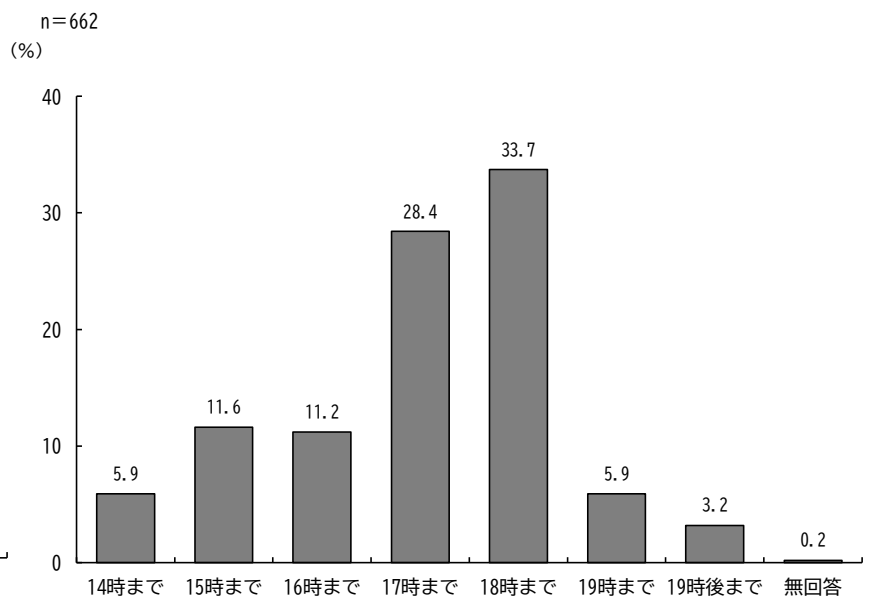


※『利用したい』 = 「ほぼ毎週利用したい」 + 「月に1～2回利用したい」

②希望開始時間



③希望終了時間



(3) 幼稚園の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向、利用希望時間帯

問11で平日に利用を希望する幼稚園や保育施設等として、「幼稚園（通常の時間のみ）」と回答した方に伺います。

問13 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等に、幼稚園の利用を希望しますか。

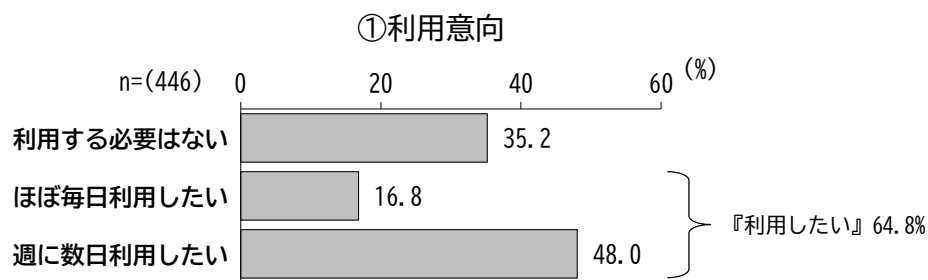
（回答は1つ）

利用を希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。

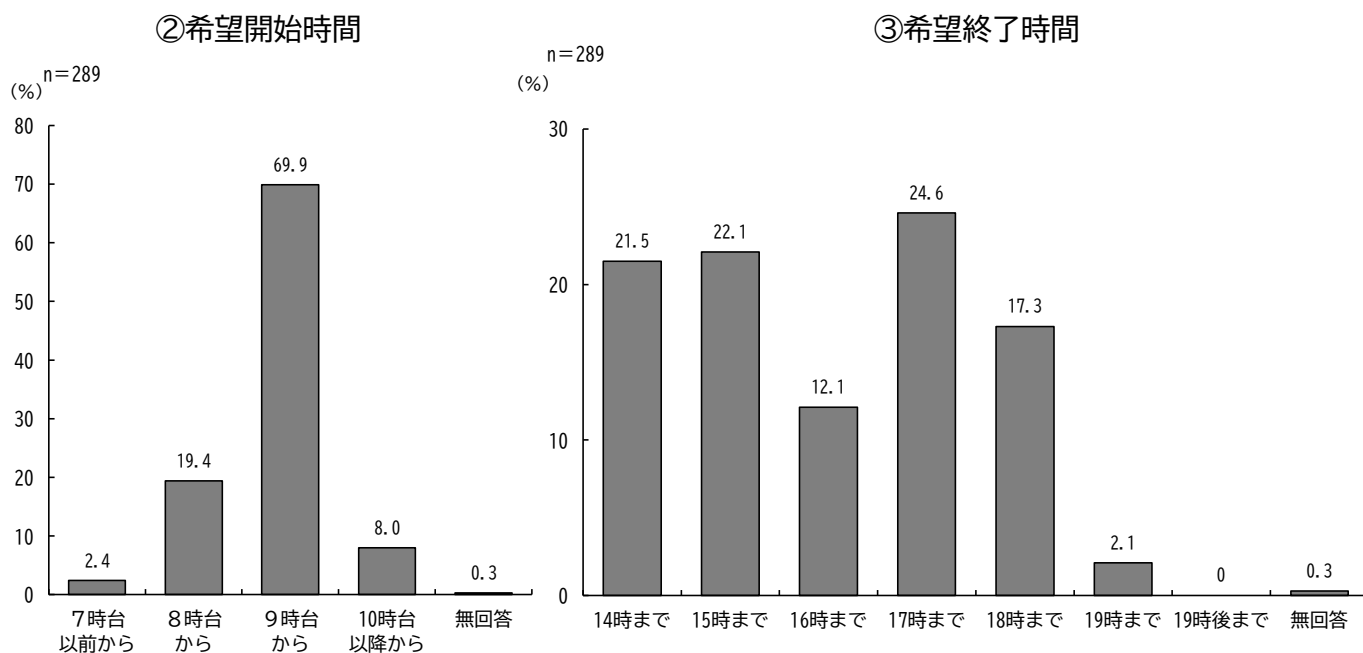
※時間は、18時のように、24時間制で記入してください。

長期休暇中の幼稚園の利用意向は、「週に数日利用したい」が48.0%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が35.2%、「ほぼ毎日利用したい」が16.8%となっている。また、『利用したい』は64.8%となっている。

『利用したい』と回答した人の希望開始時間は、「9時台から」が69.9%と最も多く、次いで「8時台から」が19.4%、「10時台以降から」が8.0%となっている。希望終了時間は、「17時まで」が24.6%と最も多く、次いで「15時まで」が22.1%、「16時まで」が12.1%となっている。



※『利用したい』 = 「ほぼ毎週利用したい」 + 「月に1～2回利用したい」



(4) 未就園児の定期預かり事業の利用希望

問7で「利用していない」（平日に幼稚園や保育施設等を定期的に利用していない）と回答した方に伺います。

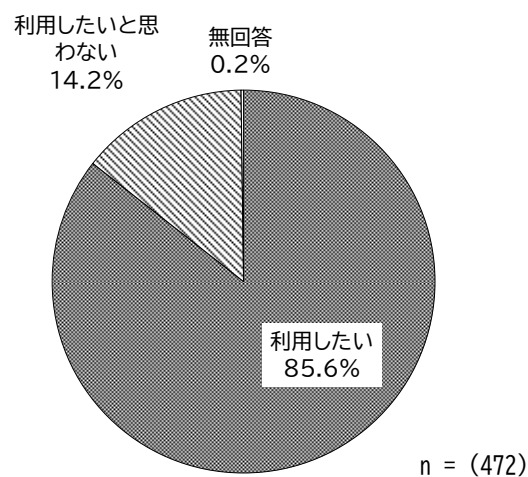
問14 就労条件を問わず、未就園のお子さんを週1～2回程度保育園に預けられる制度ができた場合、その制度を利用したいと思いますか。（回答は1つ）

未就園児の定期預かり事業の利用希望は、「利用したい」が85.6%、「利用したいと思わない」が14.2%となっている。

子どもの年齢別にみると、2歳以下では「利用したい」が8割以上となっている。

就労形態による家庭類型別にみると、「利用したい」は「フルタイム共働き」で87.1%と最も多く、次いで「専業主婦（夫）」で85.3%、「フルタイム・パート共働き」で79.4%となっている。

未就園児の定期預かり事業の利用希望



未就園児の定期預かり事業の利用希望

(単位:%)

		回答者数(人)	利用したい	利用したいと思わない	無回答
全 体		472	85.6	14.2	0.2
子どもの年齢別	0歳	278	87.1	12.9	-
	1歳	115	86.1	13.9	-
	2歳	63	85.7	12.7	1.6
	3歳	9	55.6	44.4	-
	4歳	3	66.7	33.3	-
	5歳	4	50.0	50.0	-
就労形態による 家庭形態別	ひとり親	5	60.0	40.0	-
	フルタイム共働き	224	87.1	12.9	-
	フルタイム・パート共働き	34	79.4	17.6	2.9
	専業主婦(夫)	204	85.3	14.7	-
	パートタイム共働き	3	100.0	-	-
	夫婦とも無業	2	100.0	-	-
居住地域別	南部すこやか福祉センター	97	83.5	16.5	-
	中部すこやか福祉センター	151	87.4	11.9	0.7
	北部すこやか福祉センター	110	88.2	11.8	-
	鷺宮すこやか福祉センター	114	82.5	17.5	-

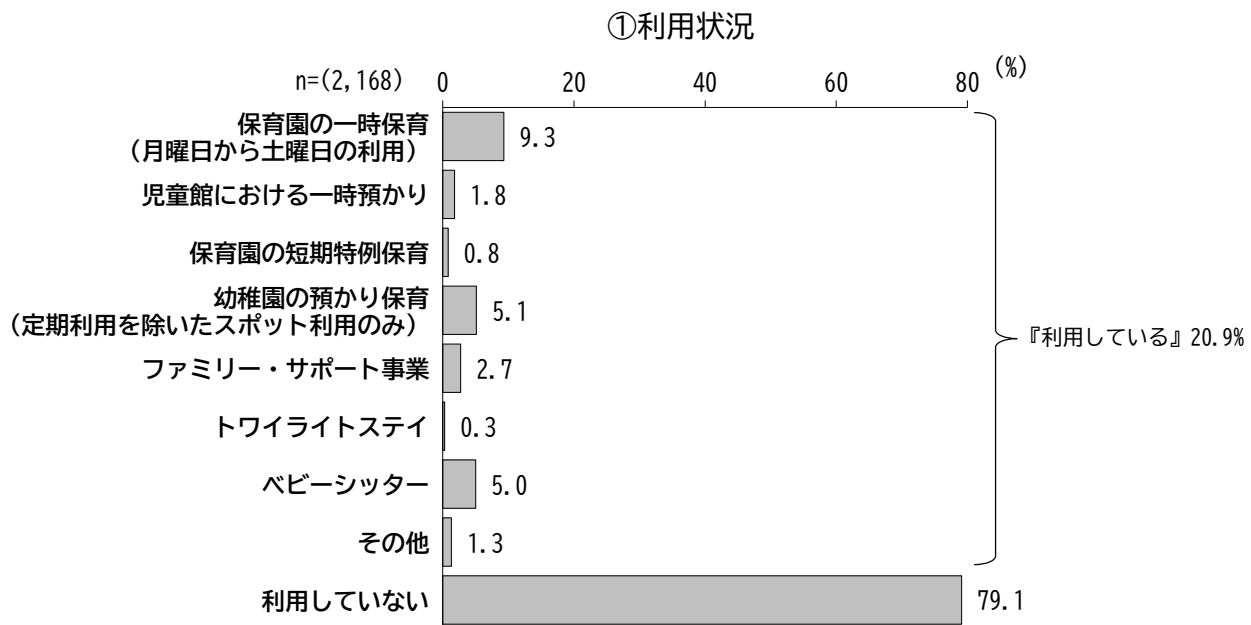
5. 不定期な保育サービス

(1) 不定期に利用している事業（一時預かり等）の利用状況と利用日数

問15 あて名のお子さんについて、私用、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（あてはまる選択肢すべてに回答）

不定期に利用している事業がある場合、1年間の利用日数（おおよそ）を記入してください。

一時預かり事業の利用状況は、『利用している』が20.9%であるのに対し、「利用していない」が79.1%となっている。『利用している』を具体的にみると、「保育園の一時保育（月曜日から土曜日の利用）」が9.3%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育（定期利用を除いたスポット利用のみ）」が5.1%、「ベビーシッター」が5.0%となっている。



第3章 乳幼児調査の結果

利用日数（年間）の平均は、「幼稚園の預かり保育（定期利用を除いたスポット利用のみ）」が29.9日、「保育園の一時保育（月曜日から土曜日の利用）」が25.9日、「ベビーシッター」が21.8日となっている。

②利用日数

（単位：％）

	回答者数 （人）	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	10 ～ 19 日	20 ～ 29 日	30 日 以上	平均 日数 （日）
保育園の一時保育（月曜日から土曜日の利用）	202	26.7	21.3	20.3	9.9	21.8	25.9
児童館における一時預かり	39	59.0	15.4	23.1	2.6	-	5.5
保育園の短期特例保育	17	29.4	23.5	23.5	5.9	17.6	13.1
幼稚園の預かり保育（定期利用を除いたスポット利用のみ）	111	11.7	8.1	22.5	22.5	35.1	29.9
ファミリー・サポート事業	58	31.0	19.0	29.3	6.9	13.8	20.1
トワイライトステイ	6	66.7	16.7	-	16.7	-	5.7
ベビーシッター	108	25.9	20.4	19.4	12.0	22.2	21.8
その他	28	25.0	17.9	21.4	10.7	25.0	21.6

子どもの年齢別にみると、『利用している』は「2歳」では17.2%、2歳以外の年齢では2割台となっている。利用している事業をみると3歳以上では「幼稚園の預かり保育（定期利用を除いたスポット利用のみ）」が1割程度と最も多くなっているが、2歳以下では「保育園の一時保育（月曜日から土曜日の利用）」が最も多くなっている。

居住地域別にみると、『利用している』は、中部すこやか福祉センターで25.5%と最も高くなっており、利用している事業では、いずれの地域とも「保育園の一時保育（月曜日から土曜日の利用）」が最も多くなっている。

教育・保育事業の利用状況別にみると、『利用している』は教育・保育事業を利用している人では19.3%、利用していない人では26.7%となっている。

就労形態からみた家庭類型別にみると、『利用している』は専業主婦（夫）で30.5%と最も多く、フルタイム・パートタイム共働きで22.3%となっている。

①利用状況

(単位:%)

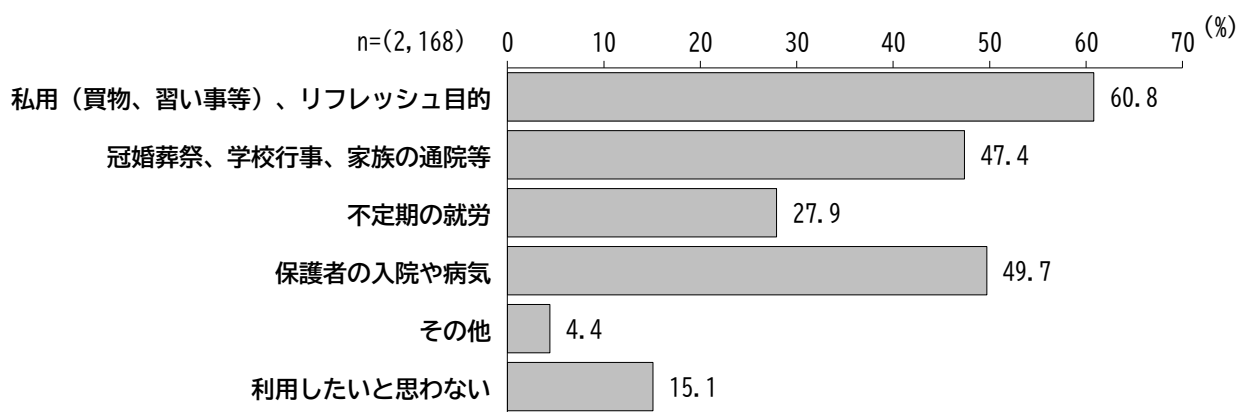
		回答者数(人)	保育園の一時保育(月曜日から土曜日の利用)	児童館における一時預かり	保育園の短期特例保育	幼稚園の預かり保育(定期利用を除いたスポット利用のみ)	ファミリー・サポート事業	トワイライトステイ	ベビーシッター	その他	利用していない	利用している
全 体		2,168	9.3	1.8	0.8	5.1	2.7	0.3	5.0	1.3	79.1	20.9
子どもの年齢別	0歳	418	14.1	1.9	0.5	0.7	2.2	0.5	7.2	0.2	78.9	21.1
	1歳	377	13.3	2.7	1.3	0.8	3.7	-	5.6	1.9	77.7	22.3
	2歳	338	8.9	2.7	0.9	0.6	3.0	0.6	3.8	2.1	82.8	17.2
	3歳	347	7.8	1.7	0.6	8.6	2.0	-	4.6	0.3	77.8	22.2
	4歳	337	5.3	0.3	0.6	11.3	1.8	0.3	5.3	0.9	78.6	21.4
	5歳	351	5.1	1.4	0.9	10.0	3.4	0.3	2.8	2.6	78.6	21.4
居住地域別	南部すこやか福祉センター	433	9.7	3.0	1.4	2.8	2.3	0.5	5.1	1.8	80.1	19.9
	中部すこやか福祉センター	632	10.6	1.7	0.9	5.1	4.6	0.5	7.4	0.9	74.5	25.5
	北部すこやか福祉センター	567	7.9	1.4	0.4	6.7	2.3	0.2	3.5	1.4	80.4	19.6
	鷺宮すこやか福祉センター	536	9.0	1.3	0.6	5.4	1.1	-	3.5	1.1	82.1	17.9
利用教育・保育事業・状況の別	利用している	1,696	6.4	1.4	0.8	6.4	2.7	0.3	4.7	1.4	80.7	19.3
	利用していない	472	19.7	3.4	0.8	0.6	2.5	0.2	5.9	1.1	73.3	26.7
就労形態による家庭類型別	ひとり親	37	10.8	2.7	-	-	-	-	-	2.7	86.5	13.5
	フルタイム共働き	1,340	8.7	1.5	0.6	1.1	2.8	0.3	6.2	1.1	82.5	17.5
	フルタイム・パート共働き	309	8.1	1.6	0.6	10.0	3.6	0.3	3.9	0.3	77.7	22.3
	専業主婦(夫)	466	12.0	2.8	1.1	13.9	1.9	0.2	2.8	2.1	69.5	30.5
	パートタイム共働き	11	-	-	18.2	-	-	-	-	9.1	72.7	27.3
	夫婦とも無業	5	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-

(2) 一時預かり事業等の利用希望事由

問16 どのような時に、お子さんを一時的に預かる事業（問15の「保育園の一時保育（月曜日から土曜日の利用）」、「児童館における一時預かり」、「保育園の短期特例保育」、「幼稚園の預かり保育（定期利用を除いたスポット利用のみ）」、「ファミリー・サポート事業」、「トワイライトステイ」、「ベビーシッター」の事業）を利用したいと思いますか。
（あてはまる選択肢すべてに回答）

一時預かり事業の利用目的は、「私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的」が60.8%と最も多く、次いで「保護者の入院や病気」が49.7%、「冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等」が47.4%となっている。

一時預かり事業等の利用希望事由（複数回答）

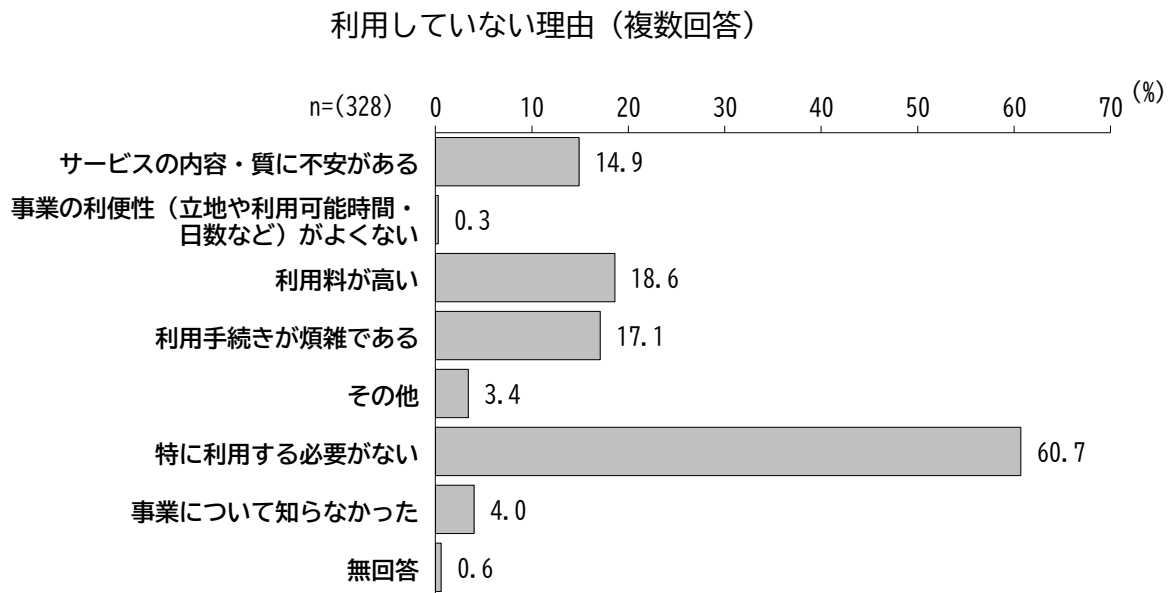


(3) 利用していない理由

問16で「利用したいと思わない」と回答した方に伺います。

問17 利用したいと思わない理由は何ですか。(あてはまる選択肢すべてに回答)

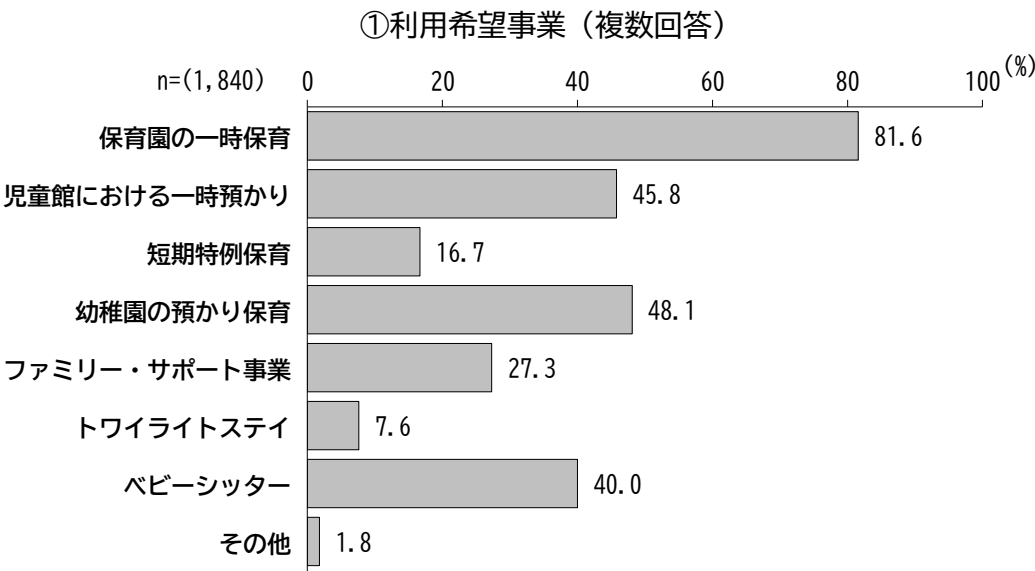
一時預かり事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が60.7%と最も多く、次いで「利用料が高い」が18.6%、「利用手続きが煩雑である」が17.1%となっている。



(4) 一時預かり事業等の利用希望日数

問16で「利用したいと思わない」と回答した方以外に伺います。
問17-1 利用したいと考える事業を選んでください。(第3希望まで選べます)
利用したいと考える事業の必要な日数(おおよそ)を記入してください。
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

一時預かり事業等の利用希望事業は、「保育園の一時保育」が81.6%と最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が48.1%、「児童館における一時預かり」が45.8%となっている。利用希望日数(年間)の平均は、「幼稚園の預かり保育」が27.5日、「保育園の一時保育」が17.8日、「ベビーシッター」が16.6日となっている。



②利用日数 (単位: %)

	回答者数(人)	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	10 ～ 19 日	20 ～ 29 日	30 日 以上	平均 日数 (日)
保育園の一時保育	1,502	21.0	24.3	30.5	9.1	15.1	17.8
児童館における一時預かり	843	25.5	26.6	29.9	6.8	11.3	13.7
短期特例保育	307	27.4	23.8	29.0	6.2	13.7	14.7
幼稚園の預かり保育	885	16.9	18.4	27.9	11.6	25.1	27.5
ファミリー・サポート事業	502	28.1	22.1	29.1	8.0	12.7	14.4
トワイライトステイ	139	44.6	20.1	26.6	4.3	4.3	8.0
ベビーシッター	736	21.3	23.2	30.7	9.9	14.8	16.6
その他(第1～3希望)	33	15.2	15.2	24.2	12.1	33.3	49.4

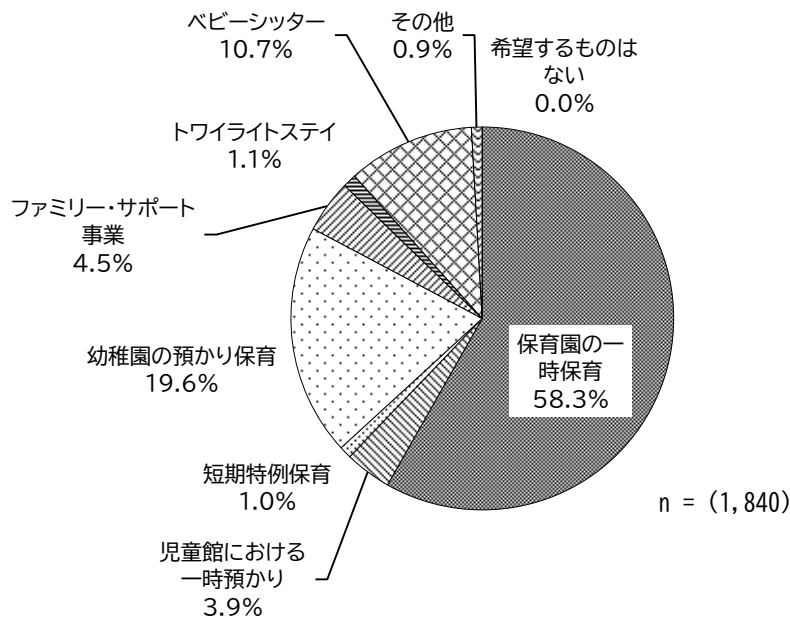
利用したいと考える事業の希望順位は、第一希望では「保育園の一時保育」が58.3%、「幼稚園の預かり保育」が19.6%、「ベビーシッター」が10.7%となっている。

第二希望では「児童館における一時預かり」が24.7%、「幼稚園の預かり保育」が15.9%、「保育園の一時保育」が15.2%となっている。

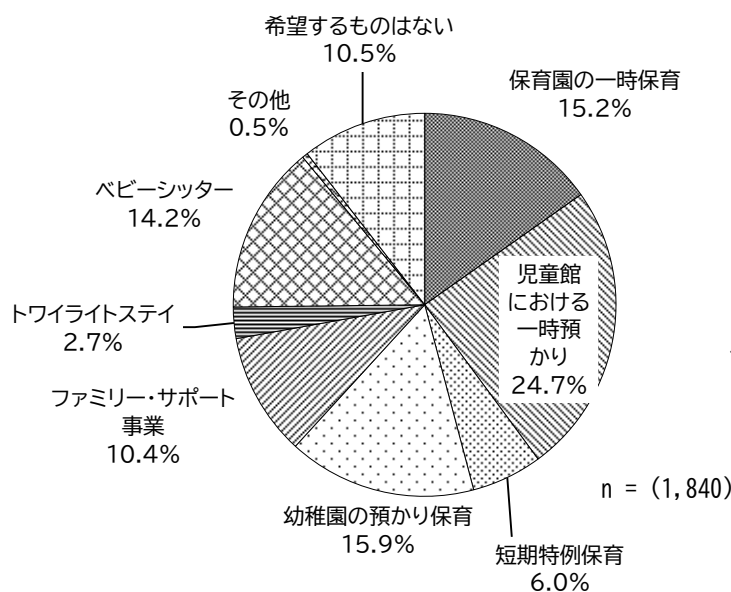
第三希望では「児童館における一時預かり」が17.2%、「ベビーシッター」が15.1%、「幼稚園の預かり保育」が12.6%となっている。

①利用希望事業の希望順位

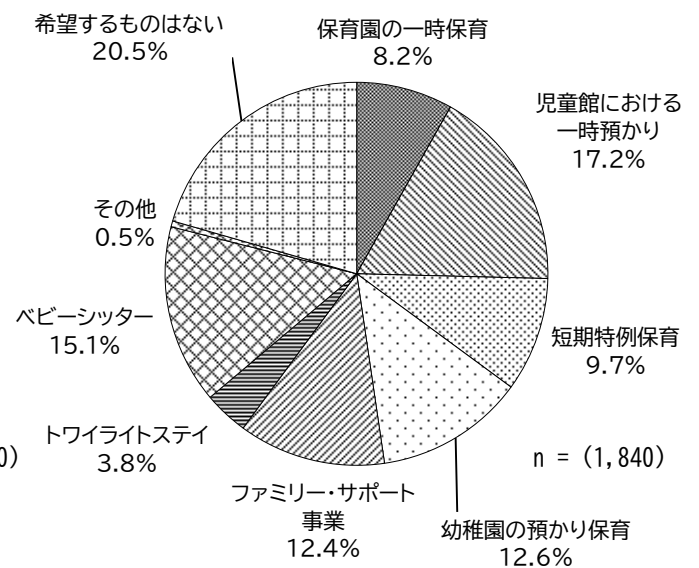
第一希望



第二希望



第三希望



(5) ベビーシッターの利用希望

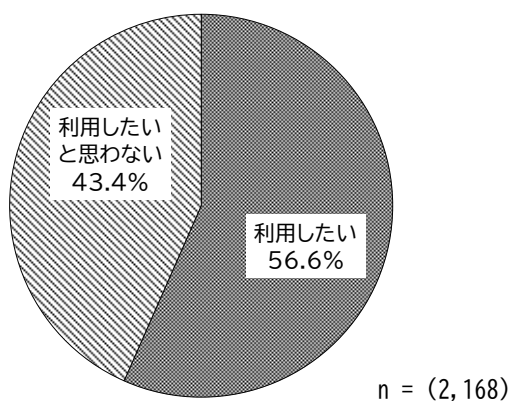
問18 区では、一時的に保育が必要となった保護者等に対し、ベビーシッター利用料の一部を補助しています。現在、保育施設や幼稚園に通っていない方が対象ですが、補助があった場合、あなたはベビーシッターを利用したいですか。(回答は1つ)

ベビーシッターの利用希望は、「利用したい」が56.6%、「利用したいと思わない」が43.4%となっている。

子どもの年齢別にみると、「利用したい」が0歳で66.7%と最も多くなっているが、年齢が上がるにつれて減少している。

就労形態による家庭類型別にみると、「利用したい」は「ひとり親」で62.2%と最も多く、次いで「フルタイム共働き」で59.3%、「フルタイム・パート共働き」で52.1%となっている。

ベビーシッターの利用希望



ベビーシッターの利用希望

(単位:%)

		回答者数(人)	利用したい	利用したいと思わない
全 体		2,168	56.6	43.4
子どもの年齢別	0歳	418	66.7	33.3
	1歳	377	59.7	40.3
	2歳	338	55.9	44.1
	3歳	347	54.5	45.5
	4歳	337	52.8	47.2
	5歳	351	47.6	52.4
就業形態による 就労状況別	ひとり親	37	62.2	37.8
	フルタイム共働き	1,340	59.3	40.7
	フルタイム・パート共働き	309	52.1	47.9
	専業主婦(夫)	466	51.3	48.7
	パートタイム共働き	11	45.5	54.5
	夫婦とも無業	5	80.0	20.0
教育・保育 状況別	利用している	1,696	55.5	44.5
	利用していない	472	60.6	39.4

(6) ショートステイの利用希望

問19 あて名のお子さんについて、保護者の用事（出張、保護者・家族の病気、育児疲れや育児不安など）により、泊りがけで家族以外に預ける必要がある場合、ショートステイを利用したいと思いますか。（回答は1つ）

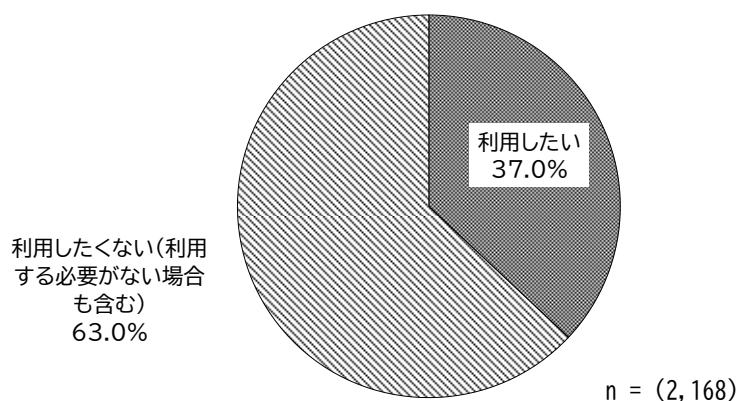
※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

ショートステイの利用希望は、「利用したい」が37.0%、「利用したくない（利用する必要がない場合も含む）」が63.0%となっている。

子どもの年齢別にみると、「利用したい」が1歳以下では4割以上となっているが、2歳以上では3割台となっている。

就労形態による家庭類型別にみると、「利用したい」は「ひとり親」で51.4%と最も多く、次いで「フルタイム共働き」で39.9%、「専業主婦（夫）」で32.0%、「フルタイム・パート共働き」で31.7%となっている。

ショートステイの利用希望



ショートステイの利用希望

(単位:%)

		回答者数(人)	利用したい	が利用したくない(利用する場合も含む)
全 体		2,168	37.0	63.0
子どもの年齢別	0歳	418	47.4	52.6
	1歳	377	42.7	57.3
	2歳	338	34.0	66.0
	3歳	347	31.7	68.3
	4歳	337	30.9	69.1
	5歳	351	32.5	67.5
就労形態による 家庭形態による	ひとり親	37	51.4	48.6
	フルタイム共働き	1,340	39.9	60.1
	フルタイム・パート共働き	309	31.7	68.3
	専業主婦(夫)	466	32.0	68.0
	パートタイム共働き	11	-	100.0
	夫婦とも無業	5	40.0	60.0

(7) ショートステイの利用希望事由と必要泊数

問19で「利用したい」と回答した方に伺います。

問19-1 どのような時にショートステイを利用したいと思いますか。

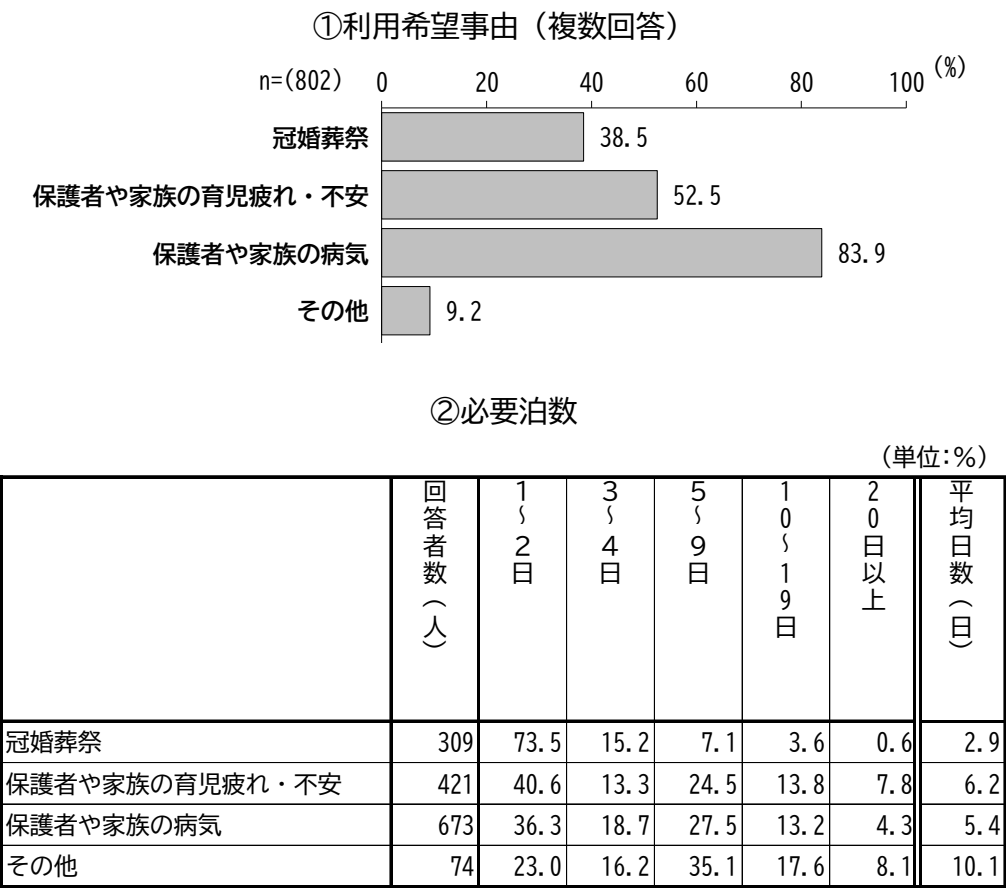
 (あてはまる選択肢すべてに回答)

 利用したい場合、1年間で必要な泊数(おおよそ)を記入してください。

 (数字を記入)

ショートステイの利用希望事由は、「保護者や家族の病気」が83.9%と最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が52.5%、「冠婚葬祭」が38.5%となっている。

事由別の必要泊数(年間)の平均は、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が6.2日、「保護者や家族の病気」が5.4日、「冠婚葬祭」が2.9日となっている。



6. 子育てひろば

(1) 子育てひろばの利用状況

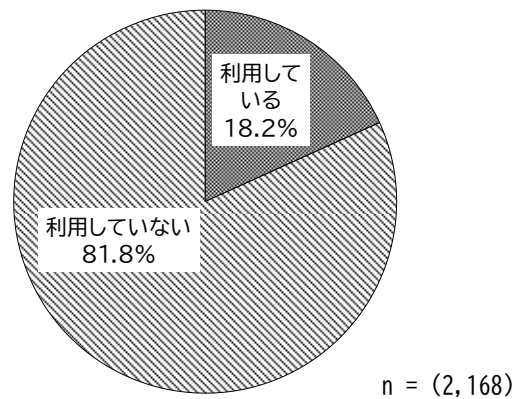
問20 あて名のお子さんは、現在、子育てひろばを利用していますか。(回答は1つ)

子育てひろばの利用状況は、「利用している」が18.2%、「利用していない」が81.8%となっている。

子どもの年齢別にみると、「利用している」が0歳で40.0%と最も多く、「利用していない」は3歳以上では9割以上となっている。

就労形態による家庭類型別にみると、「利用している」は「専業主婦（夫）」で28.1%と最も多く、次いで「フルタイム共働き」で16.9%となっている。

子育てひろばの利用状況



子育てひろばの利用状況

(単位:%)

		回答者数 (人)	利用 している	利用 していない
全 体		2,168	18.2	81.8
子 ど も の 年 齢 別	0 歳	418	40.0	60.0
	1 歳	377	25.5	74.5
	2 歳	338	19.2	80.8
	3 歳	347	8.4	91.6
	4 歳	337	6.5	93.5
	5 歳	351	4.6	95.4
就 家 庭 形 態 に よ る	ひとり親	37	8.1	91.9
	フルタイム共働き	1,340	16.9	83.1
	フルタイム・パート共働き	309	11.0	89.0
	専業主婦(夫)	466	28.1	71.9
	パートタイム共働き	11	-	100.0
	夫婦とも無業	5	20.0	80.0
居 住 地 域 別	南部すこやか福祉センター	433	22.6	77.4
	中部すこやか福祉センター	632	22.3	77.7
	北部すこやか福祉センター	567	12.3	87.7
	鷺宮すこやか福祉センター	536	16.0	84.0

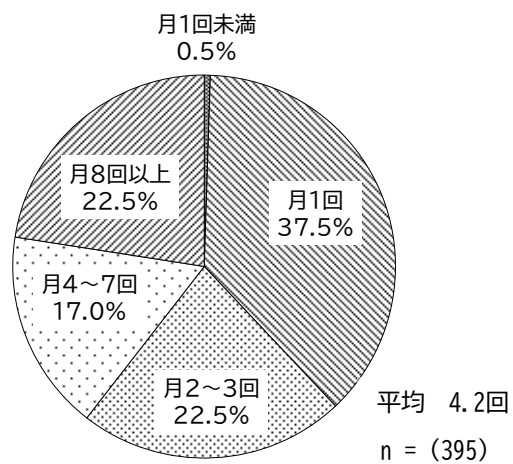
(2) 子育てひろばの1月あたりの利用回数

問20で「利用している」と回答した方に伺います。

問20-1 子育てひろばの利用頻度はどのくらいですか。おおよその利用回数（頻度）を記入してください。（数字を記入）

子育てひろばを「利用している」と回答した人の月あたりの利用回数は、「月1回」が37.5%と最も多く、次いで「月2～3回」、「月8回以上」が22.5%となっており、平均は4.2回となっている。

子育てひろばの1月あたりの利用回数

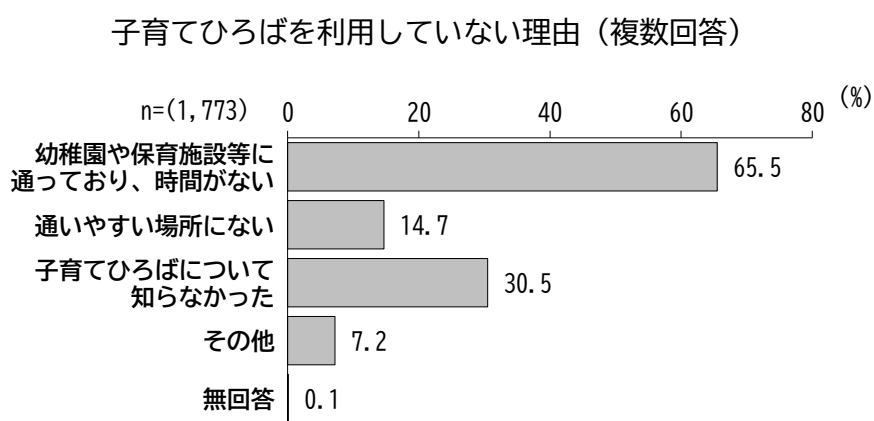


(3) 子育てひろばを利用していない理由

問20で「利用していない」と回答した方に伺います。

問21 利用していない理由を教えてください。(あてはまる選択肢すべてに回答)

子育てひろばを利用していない理由は、「幼稚園や保育施設等に通っており、時間がない」が65.5%と最も多く、次いで「子育てひろばについて知らなかった」が30.5%、「通しやすい場所がない」が14.7%となっている。



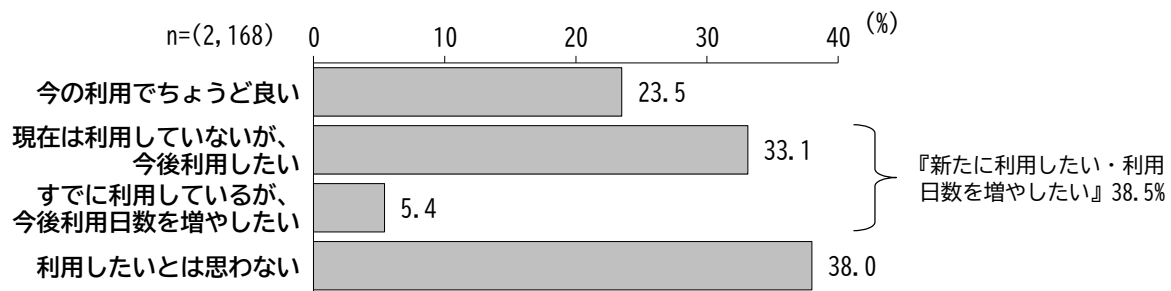
(4) 子育てひろばの利用意向、1月あたりの利用希望回数

問22 子育てひろばについて、今後の利用意向を伺います。(回答は1つ)
希望する場合のおおよその利用回数(頻度)を記入してください。

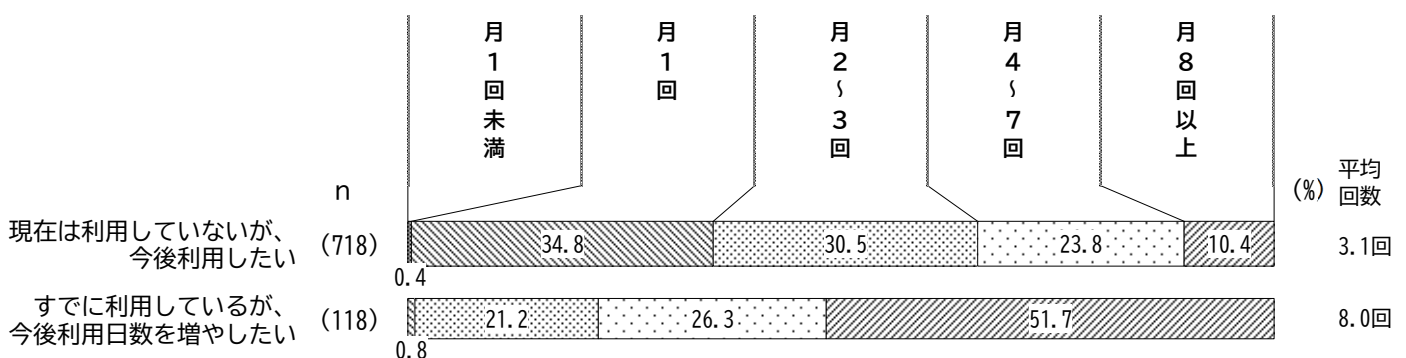
子育てひろばの利用意向は、「現在は利用していないが、今後利用したい」が33.1%、「今の利用でちょうど良い」が23.5%となっている。

「現在は利用していないが、今後利用したい」と回答した人の月あたりの利用希望回数は、「月1回」が34.8%と最も多く、次いで「月2～3回」が30.5%、「月4～7回」が23.8%となっており、平均は3.1回となっている。「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」と回答した人の月あたりの利用希望回数は、「月8回以上」が51.7%と最も多く、次いで「月4～7回」が26.3%、「月2～3回」が21.2%となっており、平均は8.0回となっている。

①利用意向



②利用希望回数



第3章 乳幼児調査の結果

子どもの年齢別にみると、『新たに利用したい・利用日数を増やしたい』は、「0歳」では50.5%となっているが、年齢が上がるにつれて減少していき、「5歳」では27.0%となっている。

居住地域別にみると、『新たに利用したい・利用日数を増やしたい』は、「鷺宮すこやか福祉センター」および「北部すこやか福祉センター」では4割程度、「南部すこやか福祉センター」および「中部すこやか福祉センター」では3割半ばとなっている。

教育・保育事業の利用状況別にみると、『新たに利用したい・利用日数を増やしたい』は、教育・保育事業を利用している人で35.7%、利用していない人では49.1%となっている。

①利用意向

(単位:%)

		回答者数(人)	今の利用でちょうど良い	現在では利用していないが、今後利用したい	日数を増やしているが、今後利用日数を増やしたい	利用したいとは思わない	利『新たに利用日数を増やしたい・』
全 体		2,168	23.5	33.1	5.4	38.0	38.5
子どもの年齢別	0歳	418	28.7	35.2	15.3	20.8	50.5
	1歳	377	28.6	39.5	6.1	25.7	45.6
	2歳	338	25.7	32.8	3.8	37.6	36.6
	3歳	347	21.6	32.3	2.6	43.5	34.9
	4歳	337	20.2	32.0	1.5	46.3	33.5
	5歳	351	14.5	25.9	1.1	58.4	27.0
居住地域別	南部すこやか福祉センター	433	28.9	30.0	6.5	34.6	36.5
	中部すこやか福祉センター	632	25.2	29.6	7.4	37.8	37.0
	北部すこやか福祉センター	567	19.8	37.0	2.6	40.6	39.6
	鷺宮すこやか福祉センター	536	21.1	35.6	5.2	38.1	40.8
教育・保育事業の利用状況別	利用している	1,696	21.0	33.3	2.4	43.3	35.7
	利用していない	472	32.2	32.6	16.5	18.6	49.1

7. 学童クラブ（5歳のみ）

（1）小学校の子どもの放課後の過ごし方の希望、1週あたりの希望日数

【問23、問24は、あて名のお子さんが現在5歳児クラス（年長クラス）に在籍している方のみ回答してください。】

※お子さんが5歳児クラス以外の人は回答せずに問25へお進みください。

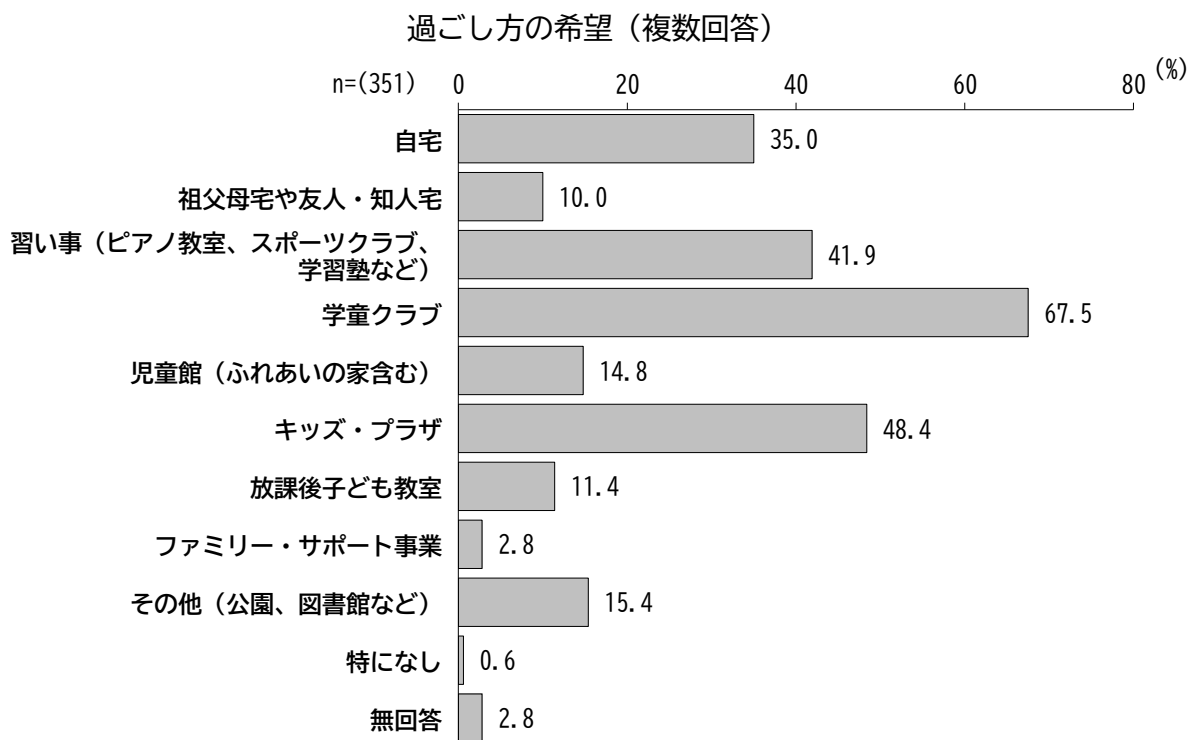
問23 あて名のお子さんについて、小学校になったら、放課後をどこで過ごさせたいと思いますか。（あてはまる選択肢すべてに回答）

また、該当する場所があれば、希望する日数を記入してください。また、「学童クラブ」を選んだ場合には、利用を希望する時間も、18時のように24時間制で記入してください。

※学童クラブ、ファミリー・サポート事業の利用には、一定の利用料がかかります。

①低学年（1～3年生）

小学校低学年時の放課後の過ごし方の希望は、「学童クラブ」が67.5%と最も多く、次いで「キッズ・プラザ」が48.4%、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が41.9%となっている。



第3章 乳幼児調査の結果

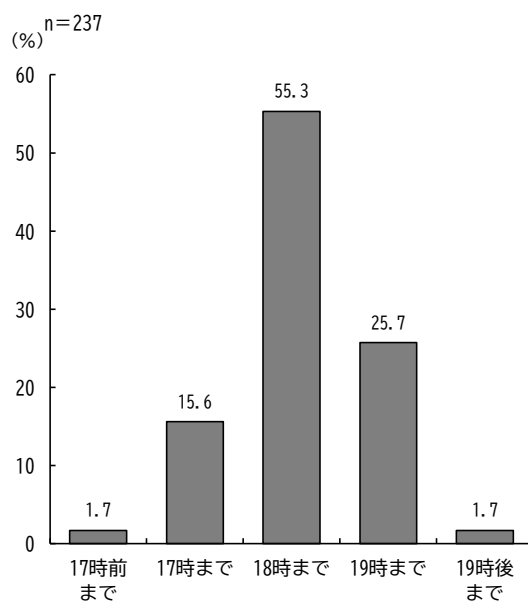
学童クラブを希望した人の1週あたりの利用希望日数は、「5日」が71.7%、「3～4日」が15.6%、「1～2日」が9.7%となっている。また、利用希望時間は、「18時まで」が55.3%、「19時まで」が25.7%、「17時まで」が15.6%となっている。

希望日数

(単位:%)

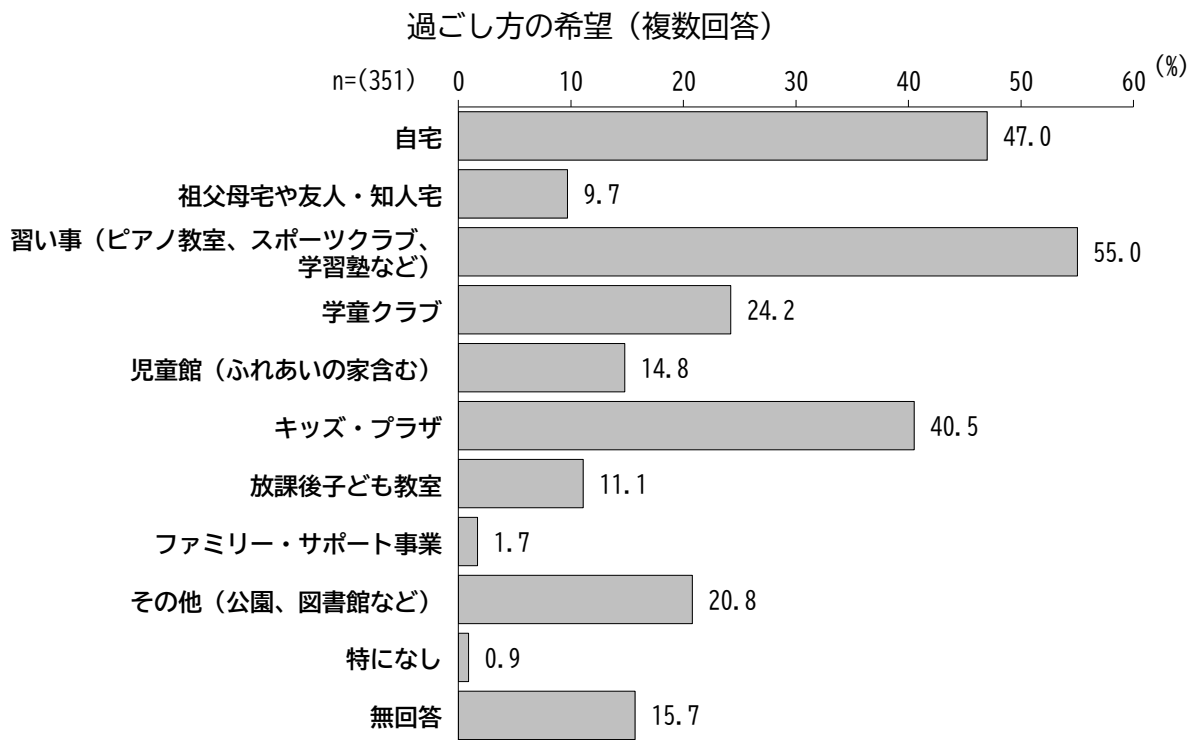
	回答者数 (人)	1 ～ 2 日	3 ～ 4 日	5 日	6 日 以上	平均日数 (日)
自宅	123	50.4	28.5	16.3	4.9	2.8
祖父母宅や友人・知人宅	35	80.0	11.4	8.6	—	1.8
習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	147	63.3	35.4	1.4	—	2.2
学童クラブ	237	9.7	15.6	71.7	3.0	4.4
児童館(ふれあいの家含む)	52	59.6	21.2	19.2	—	2.3
キッズ・プラザ	170	52.9	13.5	32.9	0.6	2.8
放課後子ども教室	40	50.0	17.5	27.5	5.0	2.9
ファミリー・サポート事業	10	60.0	20.0	20.0	—	2.4
その他(公園、図書館など)	54	70.4	16.7	13.0	—	2.1

利用希望時間



①高学年（4～6年生）

小学校高学年時の放課後の過ごし方の希望は、「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が55.0%と最も多く、次いで「自宅」が47.0%、「キッズ・プラザ」が40.5%となっている。



第3章 乳幼児調査の結果

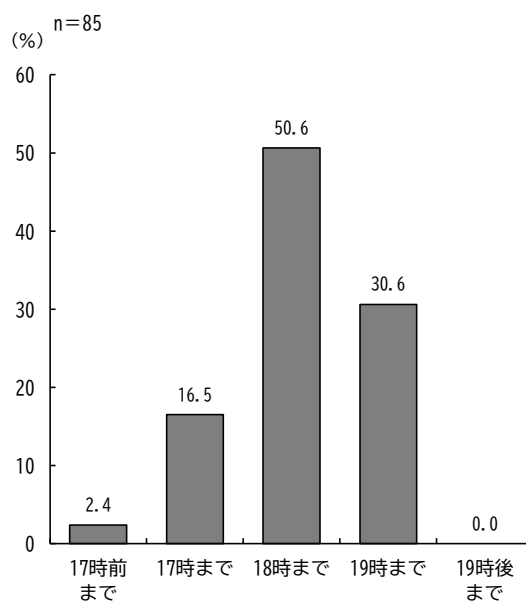
学童クラブを希望した人の1週あたりの利用希望日数は、「5日」が47.1%、「1～2日」が27.1%、「3～4日」が25.9%となっている。また、利用希望時間は、「18時まで」が50.6%、「19時まで」が30.6%、「17時まで」が16.5%、「17時前まで」が2.4%、「19時後まで」が0.0%となっている。

希望日数

(単位:%)

	回答者数 (人)	1 ～ 2 日	3 ～ 4 日	5 日	6 日 以上	平均日数 (日)
自宅	165	48.5	22.4	24.2	4.8	2.9
祖父母宅や友人・知人宅	34	76.5	17.6	5.9	-	1.9
習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	193	47.7	44.6	7.3	0.5	2.7
学童クラブ	85	27.1	25.9	47.1	-	3.5
児童館(ふれあいの家含む)	52	65.4	13.5	19.2	1.9	2.3
キッズ・プラザ	142	45.1	20.4	33.8	0.7	3.0
放課後子ども教室	39	46.2	28.2	25.6	-	2.7
ファミリー・サポート事業	6	16.7	66.7	16.7	-	3.2
その他(公園、図書館など)	73	67.1	16.4	13.7	2.7	2.4

利用希望時間



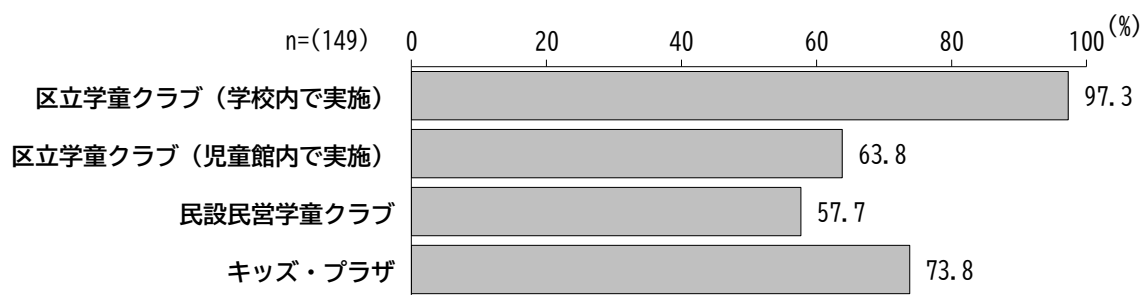
(2) 希望する子どもの放課後の過ごし方

問23で「学童クラブ」と「キッズ・プラザ」の両方を選んだ方に伺います。

問24 お子さんが過ごす場所として希望する居場所を希望する順に記入してください。
(第3希望まで選べます)

放課後の過ごし方で「学童クラブ」と「キッズ・プラザ」の両方を選んだ方が希望する居場所は、「区立学童クラブ（学校内で実施）」が97.3%と最も多く、次いで「キッズ・プラザ」が73.8%、「区立学童クラブ（児童館内で実施）」が63.8%となっている。

希望する子どもの放課後の過ごし方（複数回答）



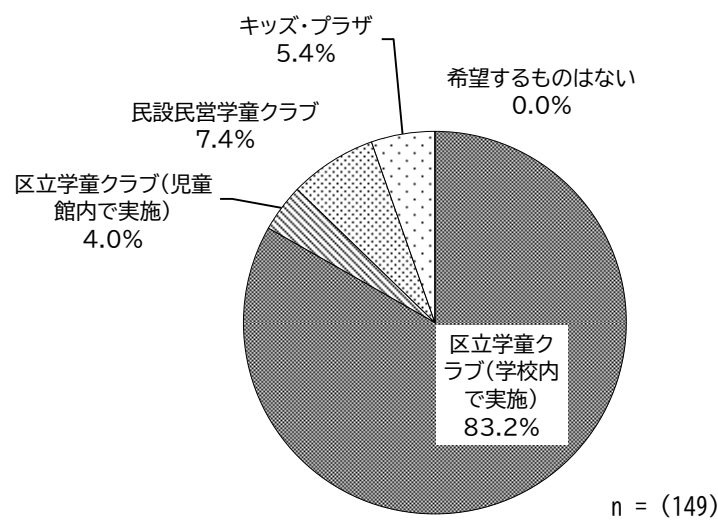
第3章 乳幼児調査の結果

希望する居場所の希望順位は、第一希望では「区立学童クラブ（学校内で実施）」が83.2%、「民設民営学童クラブ」が7.4%、「キッズ・プラザ」が5.4%となっている。

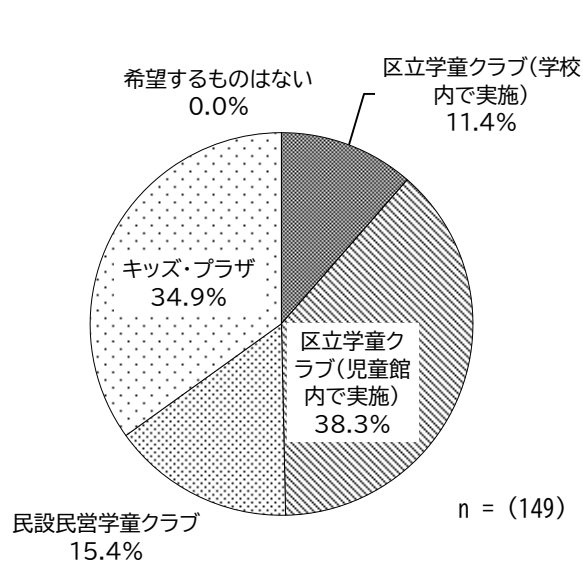
第二希望では「区立学童クラブ（児童館内で実施）」が38.3%、「キッズ・プラザ」が34.9%、「民設民営学童クラブ」が15.4%となっている。

第三希望では「民設民営学童クラブ」が34.9%、「キッズ・プラザ」が33.6%、「区立学童クラブ（児童館内で実施）」が21.5%となっている。

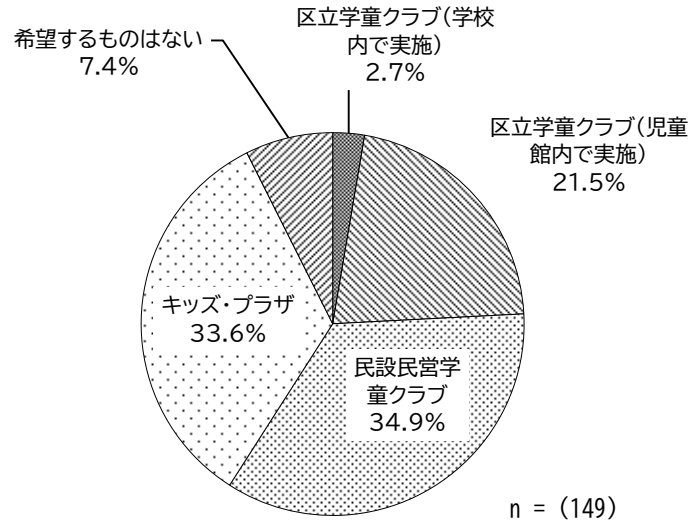
第一希望



第二希望



第三希望



8. 育児休業等、職場の両立支援の状況

(1) 育児休業の取得の有無

問25 あて名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。①父親、②母親について回答をしてください。(回答は1つ)

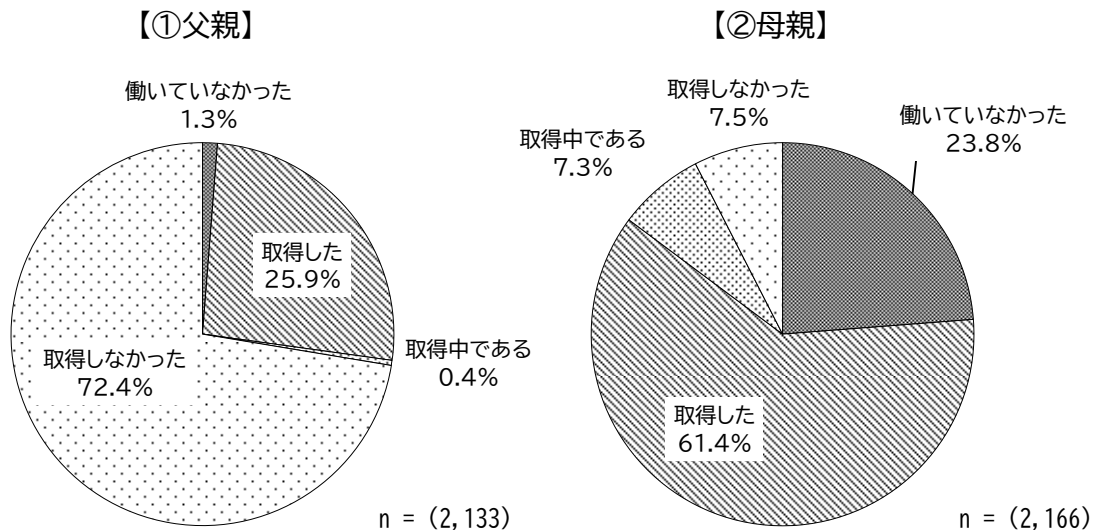
取得していない方はその理由を回答してください。(あてはまる選択肢すべてに回答)

※父子家庭の方は①のみ、母子家庭の方は②のみご回答ください。

育児休業の取得状況をみると、父親は、「取得しなかった」が72.4%と最も多く、次いで「取得した」が25.9%、「働いていなかった」が1.3%となっている。

母親は、「取得した」が61.4%と最も多く、次いで「働いていなかった」が23.8%、「取得しなかった」が7.5%、「取得中である」が7.3%となっている。

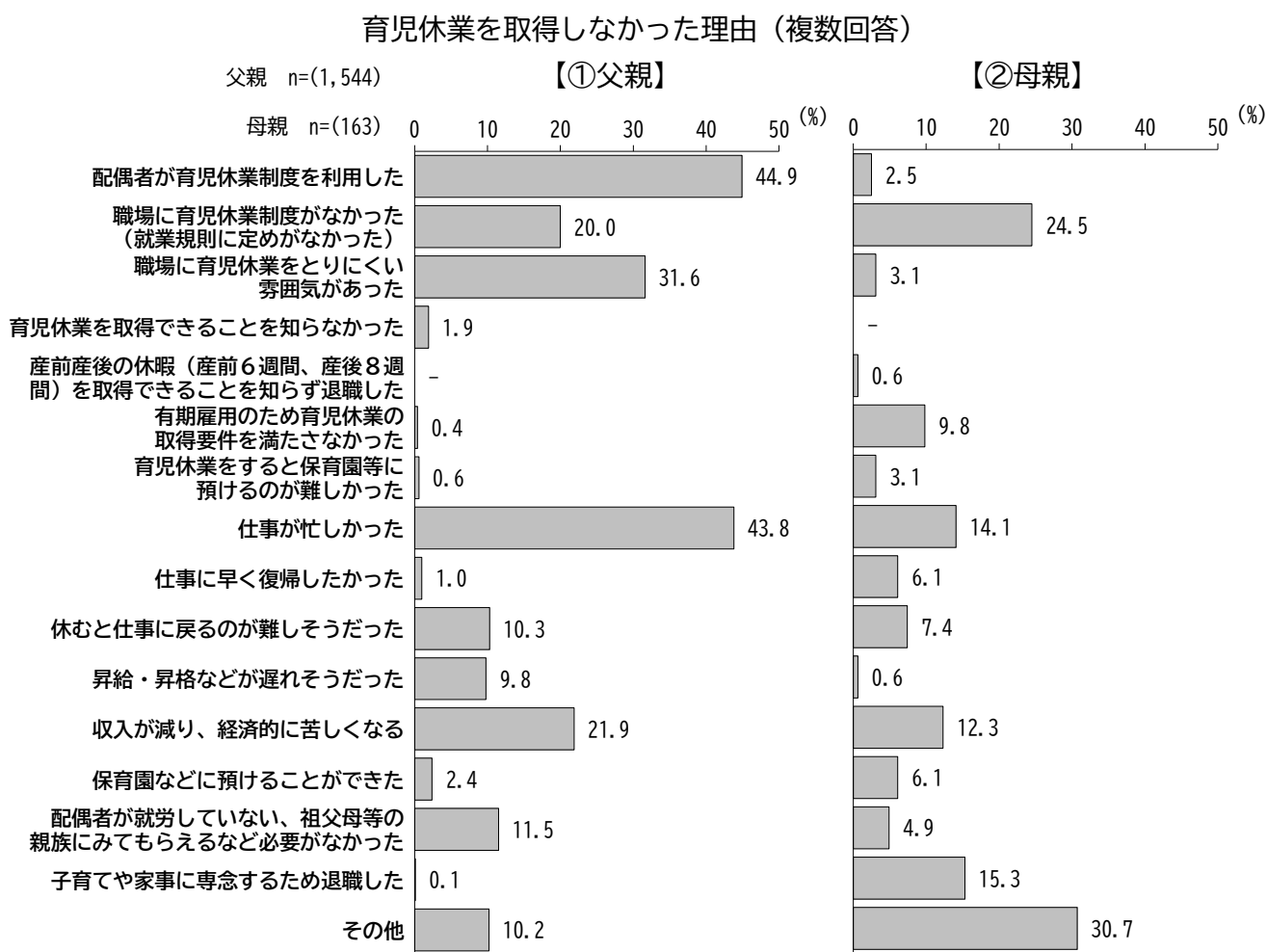
育児休業の取得状況



第3章 乳幼児調査の結果

育児休業を取得していない理由をみると、父親は「配偶者が育児休業制度を利用した」が44.9%と最も多く、次いで「仕事が忙しかった」が43.8%、「職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった」が31.6%となっている。

母親は、「職場に育児休業制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が24.5%と最も多く、次いで「子育てや家事に専念するため退職した」が15.3%、「仕事が忙しかった」が14.1%となっている。



(2) 必ず希望の施設に入れる場合の3歳までの育児休業取得意向

問25で「取得した」または「取得中」と回答した方へ伺います。

問26 仕事に復帰した際に、必ず希望の保育施設等に入れるとしたら、いつまで育児休業を取得したい（または取得したかった）ですか。

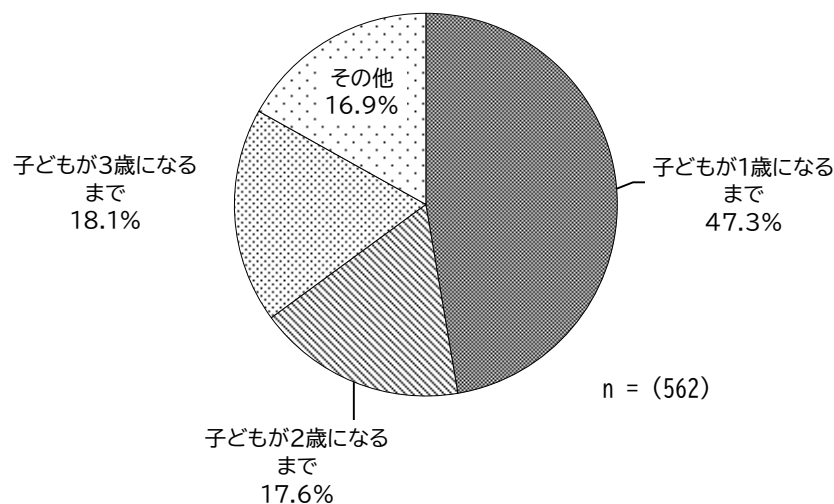
（回答は1つ、希望の復帰時期をお答えください。）

希望の職場復帰時期について、父親は「子どもが1歳になるまで取得したい」が47.3%と最も多く、次いで「子どもが3歳になるまで取得したい」が18.1%、「子どもが2歳になるまで取得したい」が17.6%となっている。

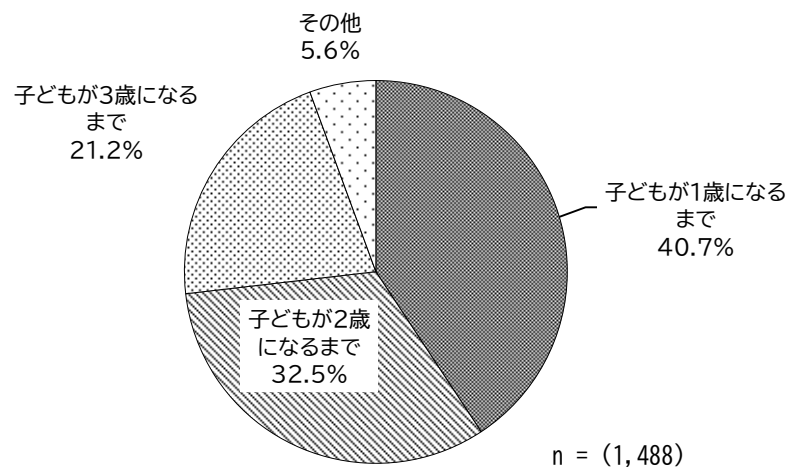
母親は、「子どもが1歳になるまで取得したい」が40.7%と最も多く、次いで「子どもが2歳になるまで取得したい」が32.5%、「子どもが3歳になるまで取得したい」が21.2%となっている。

必ず希望の施設に入れる場合の3歳までの育児休業取得意向

【①父親】



【②母親】



9. 子育て全般

(1) 平日に子どもと接する現状・理想の時間

問27 平日にあて名のお子さんと接する時間は、どのくらいありますか。また、その時間はどのくらいが理想だと思っていますか。父親、母親それぞれ1つに回答をしてください。

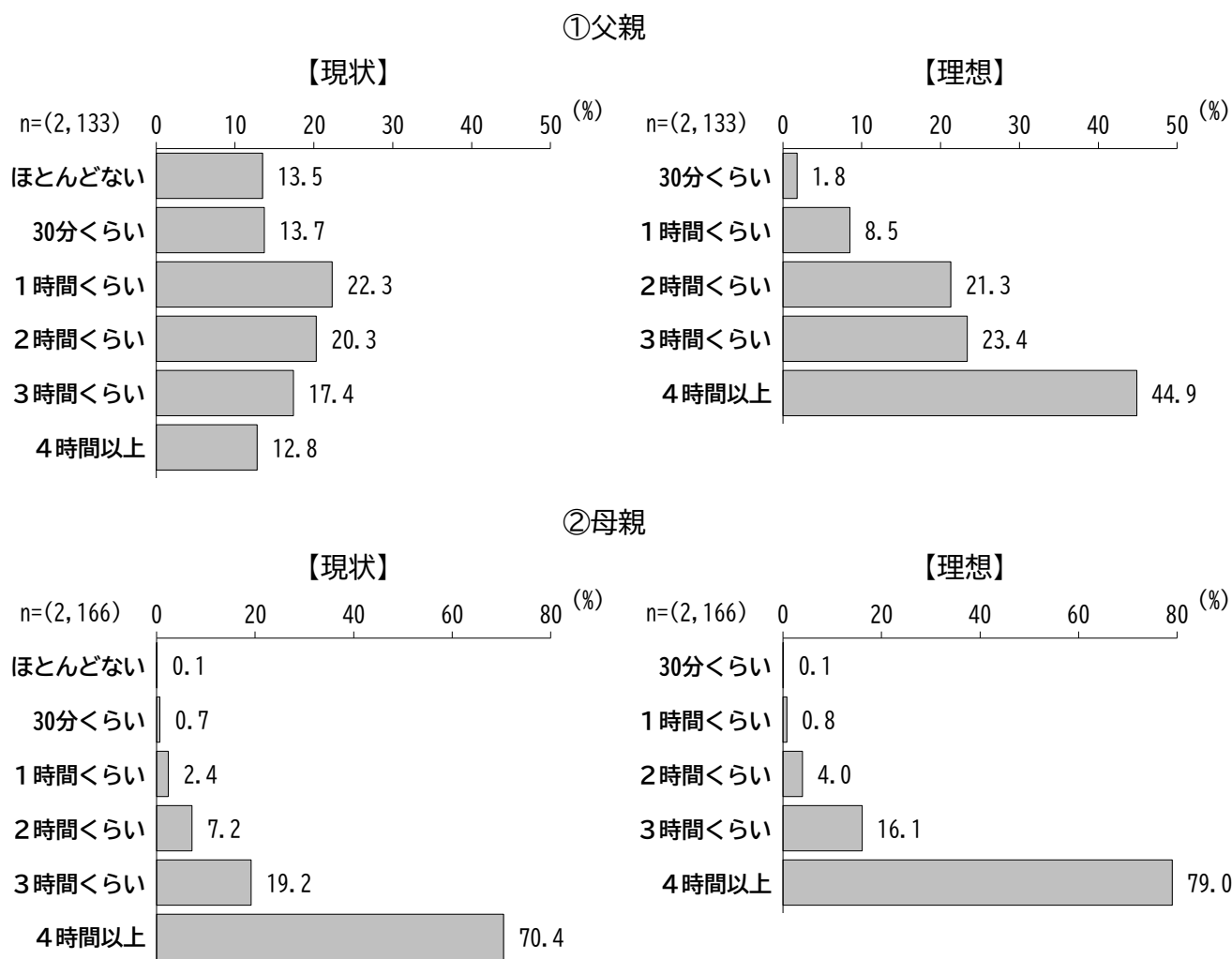
※接する時間とはお子さんが起きている時間を指します。

現状の子どもと接する時間をみると、父親は「1時間くらい」が22.3%と最も多く、次いで「2時間くらい」が20.3%、「3時間くらい」が17.4%となっている。

母親は、「4時間以上」が70.4%と最も多く、次いで「3時間くらい」が19.2%、「2時間くらい」が7.2%となっている。

子どもと接する時間の理想は、父親は「4時間以上」が44.9%と最も多く、次いで「3時間くらい」が23.4%、「2時間くらい」が21.3%となっている。

母親は、「4時間以上」が79.0%と最も多く、次いで「3時間くらい」が16.1%、「2時間くらい」が4.0%となっている。

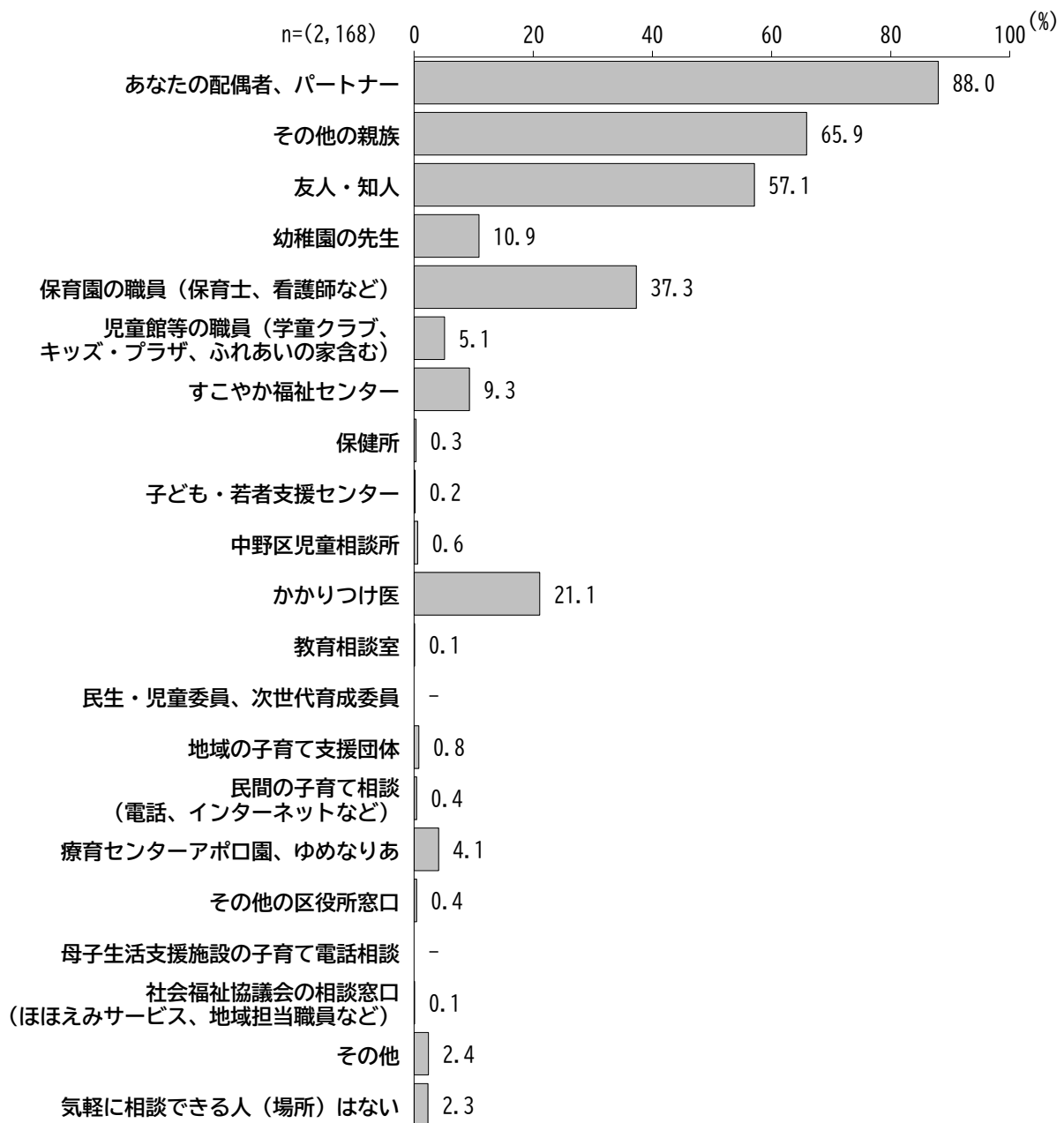


(2) 子育てについて気軽に相談できる人の有無、子育てに関する相談先

問28 あて名のお子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所がありますか。
(あてはまる選択肢すべてに回答)

子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所は、「あなたの配偶者、パートナー」が88.0%と最も多く、次いで「その他の親族」が65.9%、「友人・知人」が57.1%となっている。

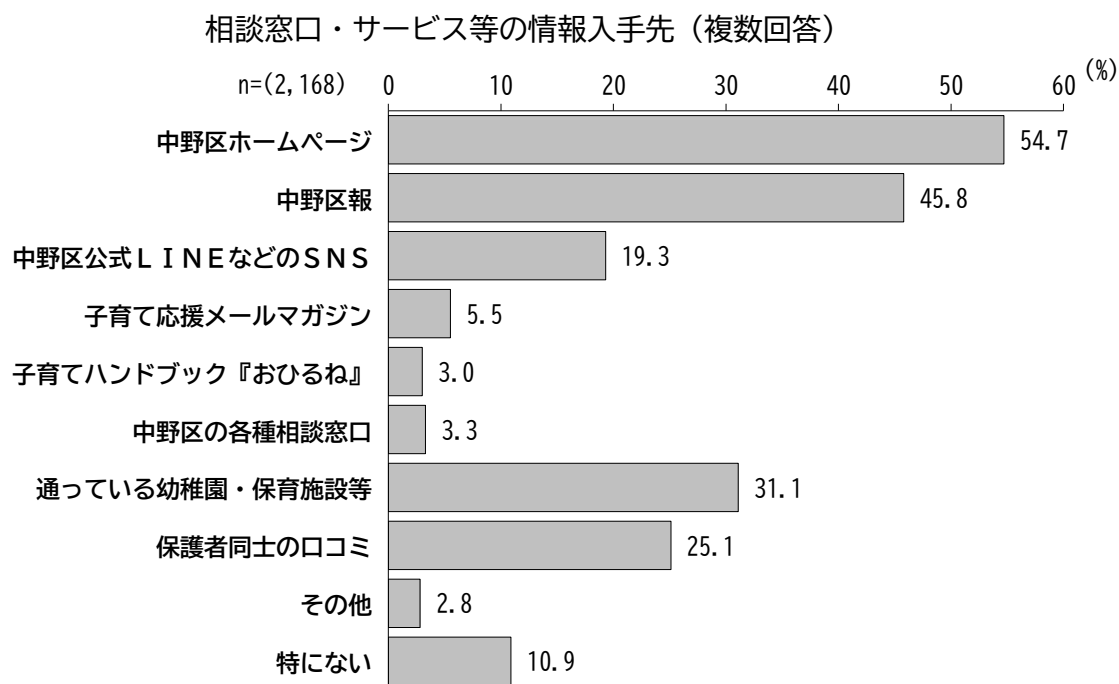
子育てについて気軽に相談できる人の有無、子育てに関する相談先（複数回答）



(3) 相談窓口・サービス等の情報入手先

問29 区内の相談窓口・サービス等に関する情報は、どのような方法で入手していますか。
(あてはまる選択肢すべてに回答)

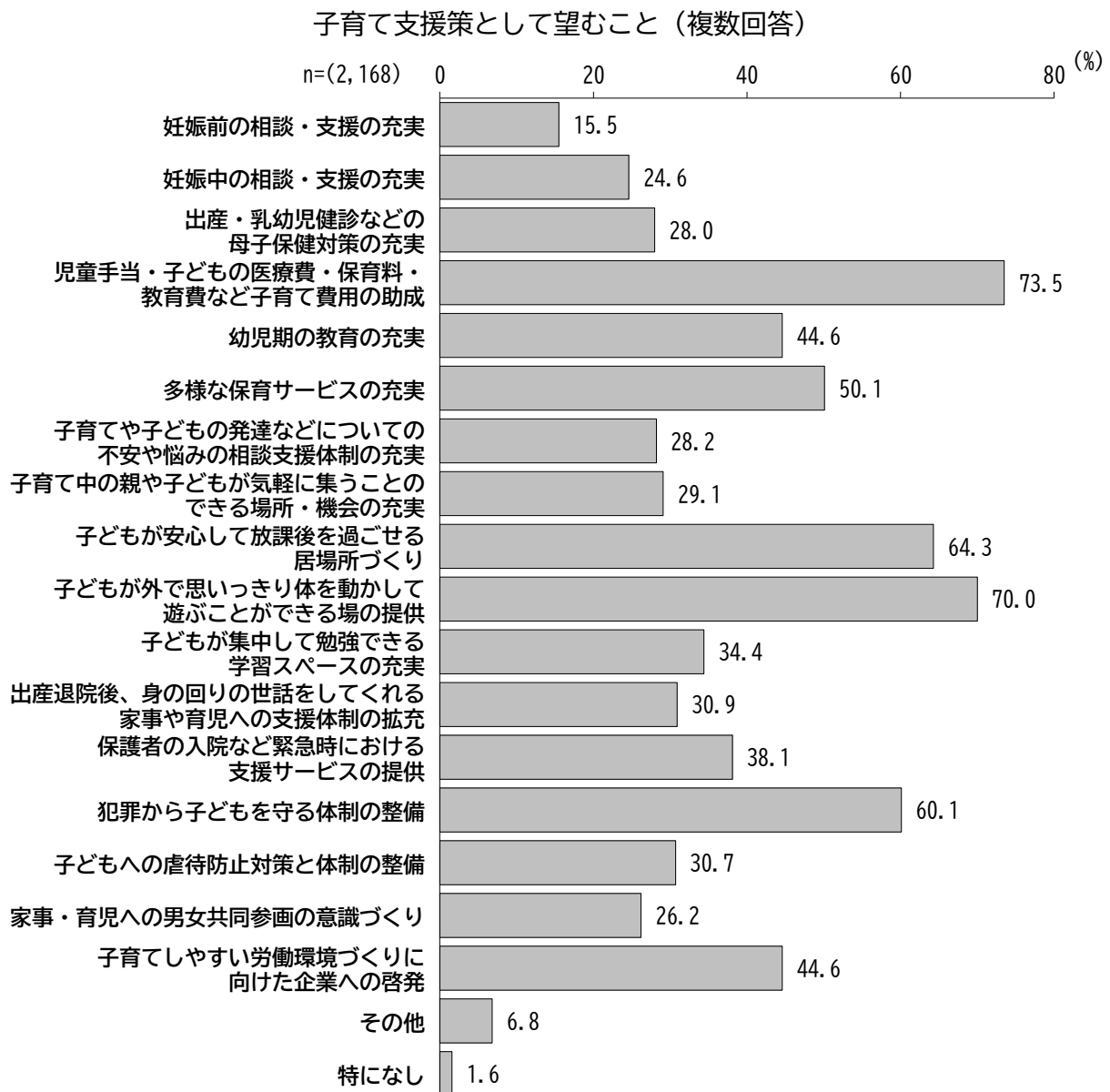
情報の入手方法をみると、「中野区ホームページ」が54.7%と最も多く、次いで「中野区報」が45.8%、「通っている幼稚園・保育施設等」が31.1%となっている。



(4) 子育て支援策として望むこと

問30 今後、子育て支援策として、どのようなことを望みますか。
(あてはまる選択肢すべてに回答)

子育て支援策として望むことをみると、「児童手当・子どもの医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」が73.5%と最も多く、次いで「子どもが外で思いっきり体を動かして遊ぶことができる場の提供」が70.0%、「子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり」が64.3%となっている。



(5) 子育て支援施策に関するご意見・ご要望について

問31 区の子育て支援策に関するご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

(861人、延べ1,376件のご意見について分類・要約して記載)

1) 保育・教育・子育て支援サービスについて 499件

①保育園の増設・待機児童について 52件

- 希望するすべての家庭が認可保育園に入園できるようにしてほしい。
- 公立保育園の拡充をお願いします。先生の質や保育の質、人数、園の広さ含めて、公立保育園の良いところだと思います。
- 下の娘が認証保育所に通っているのですが、認証保育所も全然定員に満たず空いている状況でとてももったいないです。
- フルタイム共働きでも認可保育園に入れず、認証保育園でした。0歳・1歳児の枠を増やしてください。

②子育て支援サービスについて 267件

- リフレッシュするための保育園の一時保育などの拡大も期待したいです。
- 病児保育施設の充実と利用までの手続きや条件の簡略化をお願いしたいです。
- ファミリー・サポート事業を利用してみたいが、どこまで対応してもらえるのか、具体的事例をあげてほしい。預かってもらった際に性犯罪など起こらないか、部屋の状況により子どものケガなどにつながらないか、心配で一步踏み出せない。
- 産後ケアを利用したくても予約がいっぱいですぐに利用できない。助けがほしいタイミングで、今日明日いつでも利用できるような環境が理想。
- 保育園に風邪などで預けられない時に預けられるサポートや補助を増やしてほしい。
- 母親のお昼寝サロンがほしいです。お金を払ってもいいので、ゆっくり眠りたいです。
- 子育ての負担は大きいので、子育て支援としてベビーシッターを利用できるようにしてほしい。

③子育て情報・相談について 80件

- 専門的な知識を持つ保育士などのプロや、年齢が同じくらいの子どもがいる家族と関わりを持ちたい。簡単に得られる方法で情報がほしい。
- 保育園や幼稚園の情報をアプリで見られるようにしてほしい。積極的にハガキや手紙、アプリでお知らせするシステムにしてほしい。
- 気軽に相談できる場所がわかりにくい。分かりやすく冊子にして配ってほしい。
- 子育て支援策等の情報が分かりにくいので、区ごとの子育てアプリで政策や子育ての情報、遊び場などの情報提供があったらとても助かります。

④保育サービスについて 90件

- 保育園でも、こども園や幼稚園のような教育要素もあったら嬉しいです。
- 保育園による土曜日の受け入れ基準に差があり、もう少し柔軟に対応していただけたらありがたいです。
- 年末年始、金融機関など業種によっては30日まで勤務なので、年末年始保育も利用しやすくしてほしい。
- 時間や安全面ばかりでなく、教育、保育内容の充実や、保育者の育成にも力を入れてほしい。

④幼稚園について 10件

- 認可保育園と私立幼稚園の連携の促進や橋渡しといった補助があったら良いと思う。広い園庭や教室、先生方の就業先などがこのまま減ってってしまうことは残念に思う。
- 延長保育有りの幼稚園を充実させてほしいです。

2) 居場所・遊び場について 245件

- もっと緑を基調とした公園作りや、猛暑や雨などでも遊べる室内遊び場を作してほしい。
- 日曜日・祝日に利用できる子育てひろばが区内に1つでもあれば大変ありがたいです。
- 公園の数を増やすとともに、遊びと防災の機能を兼ね備えてほしい。プレイパークのように、自由に土を掘ったり水を流したりできる公園がほしい。
- 幼稚園の子どもが思いきり遊べる施設、特にボールを利用して遊べる場所を確保してもらいたい。
- 子育てひろばの時間を、昼休みなし・18時頃までに延長して貰えたら嬉しいです。

3) 経済的負担の軽減・助成について 214件

- インフルエンザ予防接種を全額無料にしてほしい。
- 病児保育のベビーシッター補助を強く求めます。
- 物価が上がり、子どもの教育費に対しての不安が大きいため経済的な支援を充実させてほしい。経済的な支援に所得制限を設けないでほしい。
- 無料オムツ定期便があれば大変助かる。
- 中野区のマンションのファミリー向けサイズは購入費や家賃が高いため、ファミリー向けの家賃補助等も考えてください。

4) 子育て環境について 133件

- 中野駅近郊には、ミルクを作れる給湯器があるベビールームなどが非常に少なく、赤ちゃん連れで食事ができる場所も少なく不便に感じる人が多いです。
- 地域で子どもを見守る環境が整っていけばいいと思います。
- 未就園の子どもとママのサークルみたいなものがあれば入りたい。
- 路上喫煙によって子どもが心配なときがあります。取り締まりを厳しくしていただけると幸いです。保育園の近くの公園でも工事の方が吸っていることがあり、もう少し気を遣っていただきたいです。
- 人が多い割に道が狭くベビーカーで動きづらいです。違法駐輪の多さも拍車をかけていると思います。
- 子どもと気軽に出かけやすいように子育てひろばや区の施設、公園を巡るコース等のコミュニティバスがあると嬉しいです。

5) 学童クラブ・学校の教育環境について 102件

- 学童クラブで昼食を注文できるサービス(夏場は食中毒などが心配なので)がほしい。
- 教育面でも、子どもたちが自主的に行動して過ごせるような自由な学校作りをしてほしい。
- いじめや学級崩壊などにももう少し力を入れてほしい。
- 小学校入学後、学童クラブを希望しても入れないということがないよう、施設や体制を整えていただきたいです。
- 通学路の幹線道路に交通指導員を配置していただきたいです。または、スクールバスの検討をお願いします。
- 乳児の頃に比べて幼児、児童が集える公共の場所が少ないように感じます。増やしてもらえたらありがたいです。

6) 小児医療体制の充実および障害児に対する支援について 34件

- 休日当番医が、発熱外来をしている病院なのかわからないので、区報に発熱外来の有無を載せてほしいです。
- もっと療育に関して知識、サービスの発信をしてほしい。きっと私が知らないサービスや色々なことがあると思うが、育児や家事で、そういった情報を集める事が気力的にも難しいです。無料雑誌やチラシなど、簡単に目に入りやすい、周知しやすい環境づくりをしてほしい。
- 子どもの救急医療体制も不十分。緊急時にきちんと医療体制が整備されている施設が皆無。
- 障害のある子どもが連続した支援を受けられるようにしてほしい(就学前後や進学時に途切れない)。
- インクルーシブ保育を実践する場所を増やしてほしい。保育や子育ての関係者が障害児について知識を増やしてほしい。

7) 区の子育て支援策について 129件

- 保育士や教師の環境づくりや賃上げなど、国や都と切り離して考え、中野区として中野区の中で推し進めていってほしい。
- パパの意識が向上するような、妊娠から子育てに関する知識、情報、心待ちなどを教えてもらえる講座を開催してほしいです。日曜日だけしか休みが無い人にも行けるように、日曜日開催も数回あるとありがたいです。
- 子ども中心のお祭りなどイベント等が増えると(お祭り等たくさんあって今も楽しいですが)子育て世代が増えるのではと思います。
- 外国籍若しくは出身の世帯が増えているので、彼らのサポートを充実させることが肝要かと思います。
- 周りの親たちと話していても性教育及びジェンダー教育をどうしたらいいのかわからないという意見をよく聞きます。それらをちゃんと教えることは子どもを守る術にもなるので、園などでの教育などもっと身近に浸透できる機会があればありがたいです。
- 中野区のホームページが全体的に見にくく使用しにくいのでUI/UX観点でリニューアルした方がより多くの方が使い勝手が良くなると思います。
- 子どもにも人権があるので、子ども目線での支援を充実させてほしい。子育て当事者の意見を聞いて子育て政策を行ってほしい。

8) その他 20件

- 災害時にマンホールを防災トイレとして使用出来るような設備を設けてほしい。
- 定期的に子育て支援に関するアンケートを実施して対応してもらいたい。

第4章 就学児童調査の結果

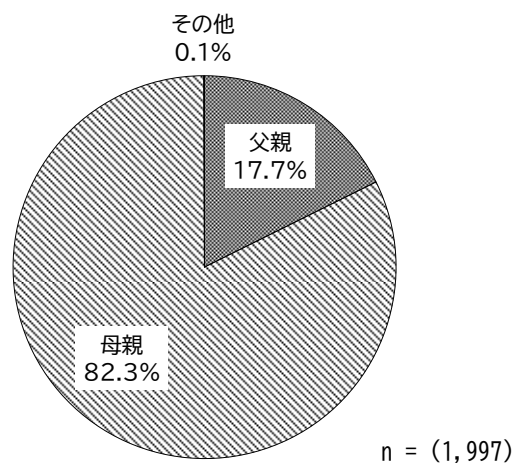
1. 基本属性

(1) 調査票の回答者

問1 この調査にご回答いただく方は、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。
(回答は1つ)

調査回答者は、「母親」が82.3%、「父親」が17.7%となっている。

調査票の回答者

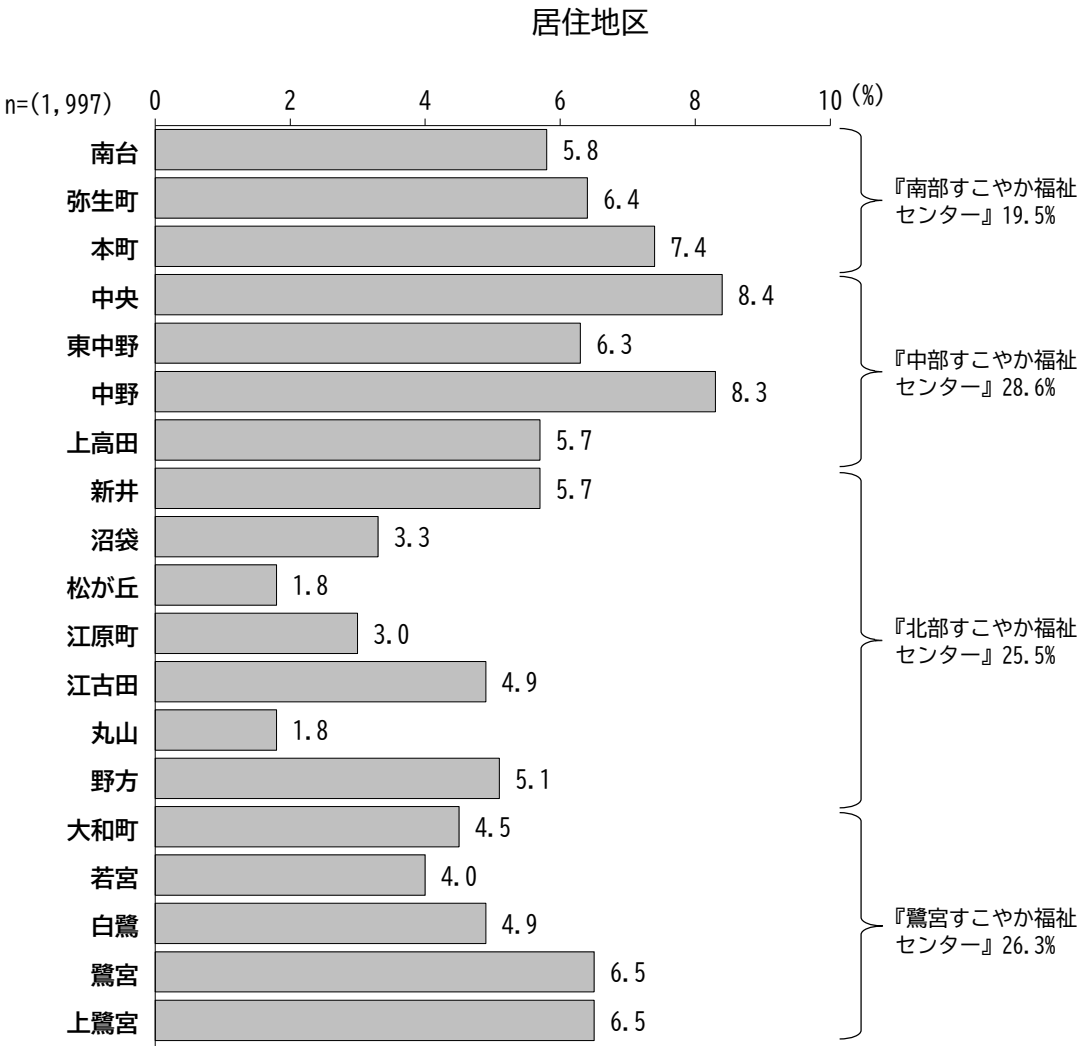


(2) 居住地区

問2 お住まいの地域をお答えください。(回答は1つ)

居住地域は、「中央」が8.4%と最も多く、次いで「中野」が8.3%、「本町」が7.4%となっている。

すこやか福祉センター管轄地域で見ると、『中部すこやか福祉センター』が28.6%と最も多く、次いで『鷺宮すこやか福祉センター』が26.3%、『北部すこやか福祉センター』が25.5%、『南部すこやか福祉センター』が19.5%となっている。

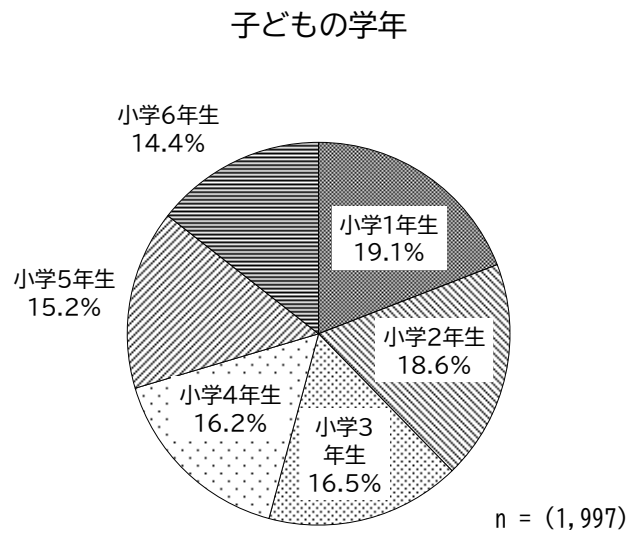


南部すこやか福祉センター	南台、弥生町、本町
中部すこやか福祉センター	中央、東中野、中野、上高田
北部すこやか福祉センター	新井、沼袋、松が丘、江原町、江古田、丸山、野方
鷺宮すこやか福祉センター	大和町、若宮、白鷺、鷺宮、上鷺宮

(3) 子どもの学年

問3 あて名のお子さんの生まれた年と月を記入してください。(数字を記入)

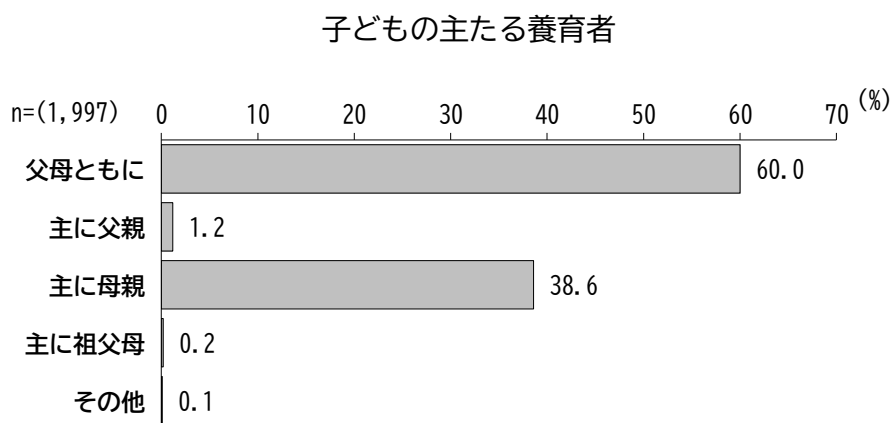
子どもの学年では、「小学1年生」が19.1%と最も多く、次いで「小学2年生」が18.6%、「小学3年生」が16.5%、「小学4年生」が16.2%、「小学5年生」が15.2%、「小学6年生」が14.4%となっている。



(4) 子どもの主たる養育者

問4 あて名のお子さんの子育てや教育を主に行っているのは、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。(回答は1つ)

子どもの主たる養育者は、「父母ともに」が60.0%と最も多く、次いで「主に母親」が38.6%、「主に父親」が1.2%となっている。



2. 保護者の就労状況

(1) 父親の就労状況

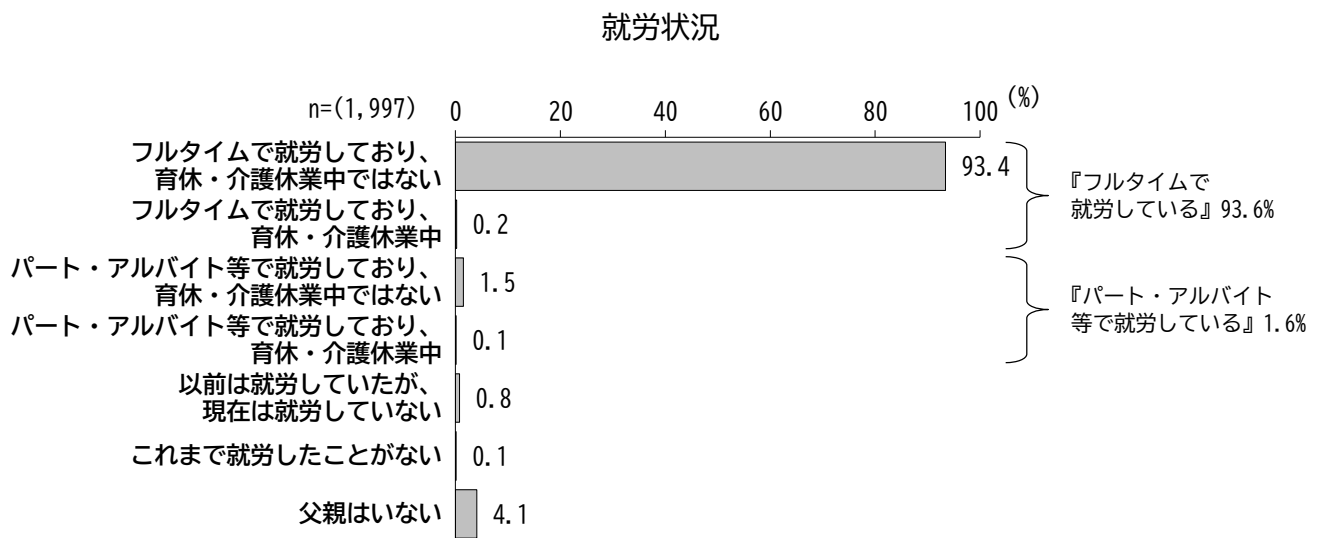
問5 あて名のお子さんの父親について、現在の就労状況をお答えください。(回答は1つ)

※フルタイム：1週5日以上・1日8時間程度の就労

パート・アルバイト等：フルタイム以外

※育児・介護のために時短勤務をされている方は「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」をお選びください

父親の就労形態は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が93.4%と最も多く、次いで、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」が1.5%となっている。また、『フルタイムで就労している』が93.6%となっている。一方で、「父親はいない」が4.1%となっている。



(2) 父親の就労日数・就労時間・前年度の年収

問5で「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中」、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中」と回答した方に伺います。

問5-1 下記についてお答えください。

①就労日数・就労時間（空欄内は数字を記入）、

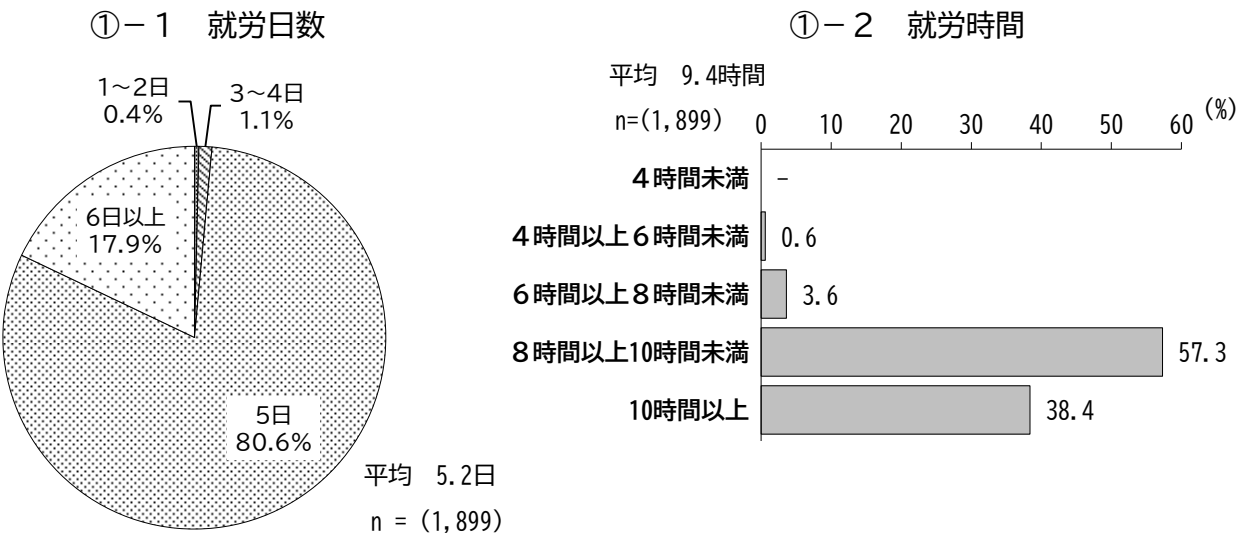
②前年度の年収（回答は1つ）

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、18時のように、24時間制で記入してください。

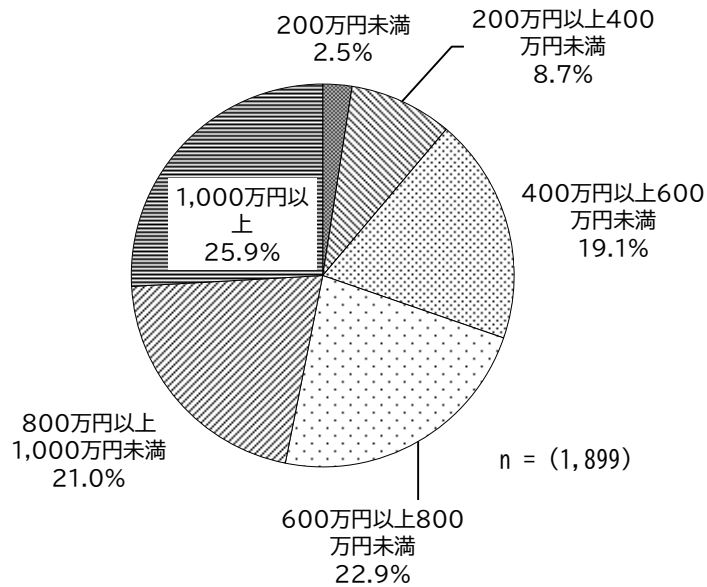
フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の1週あたりの就労日数は、「5日」が80.6%と最も多く、次いで「6日以上」が17.9%、「3～4日」が1.1%となっており、平均は5.2日となっている。

1日あたりの就労時間は、「8時間以上10時間未満」が57.3%と最も多く、次いで「10時間以上」が38.4%、「6時間以上8時間未満」が3.6%となっており、平均は9.4時間となっている。



前年度の年収は、「1,000万円以上」が25.9%と最も多く、次いで「600万円以上800万円未満」が22.9%、「800万円以上1,000万円未満」が21.0%となっている。

②前年度の年収



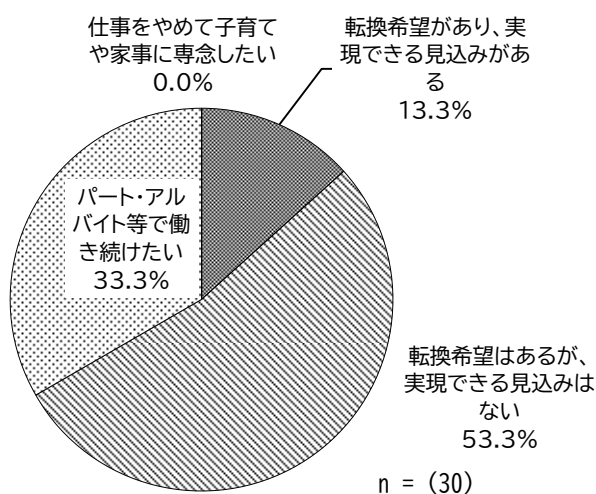
(3) パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

問5で「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない」または「パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中」と回答した方に伺います。

問5-2 フルタイム（1週5日以上・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。
（回答は1つ）

パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望は、「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が53.3%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等で働きたい」が33.3%、「転換希望があり、実現できる見込みがある」が13.3%となっている。

パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

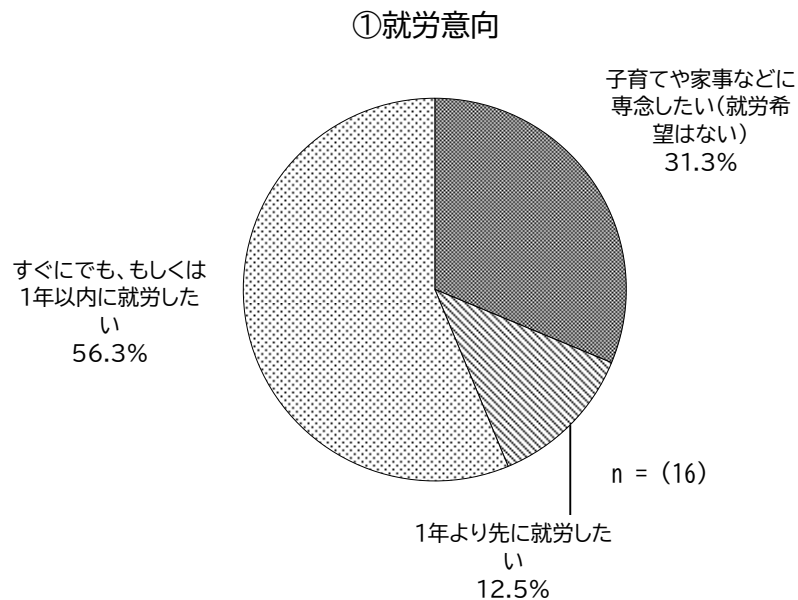


(4) 未就労者の就労希望

問5で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した方に伺います。

問5-3 就労したいという希望はありますか。(回答は1つ、空欄内は末子は何歳の時に就労を希望するか数字を記入)

未就労者の就労意向は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が56.3%、「子育てや家事などに専念したい(就労希望はない)」が31.3%、「1年より先に就労したい」が12.5%となっている。「1年より先に就労したい」と回答した人が、就労を希望する時の末子の年齢は、「12歳以上」が100.0%となっており、平均は16.0歳となっている。



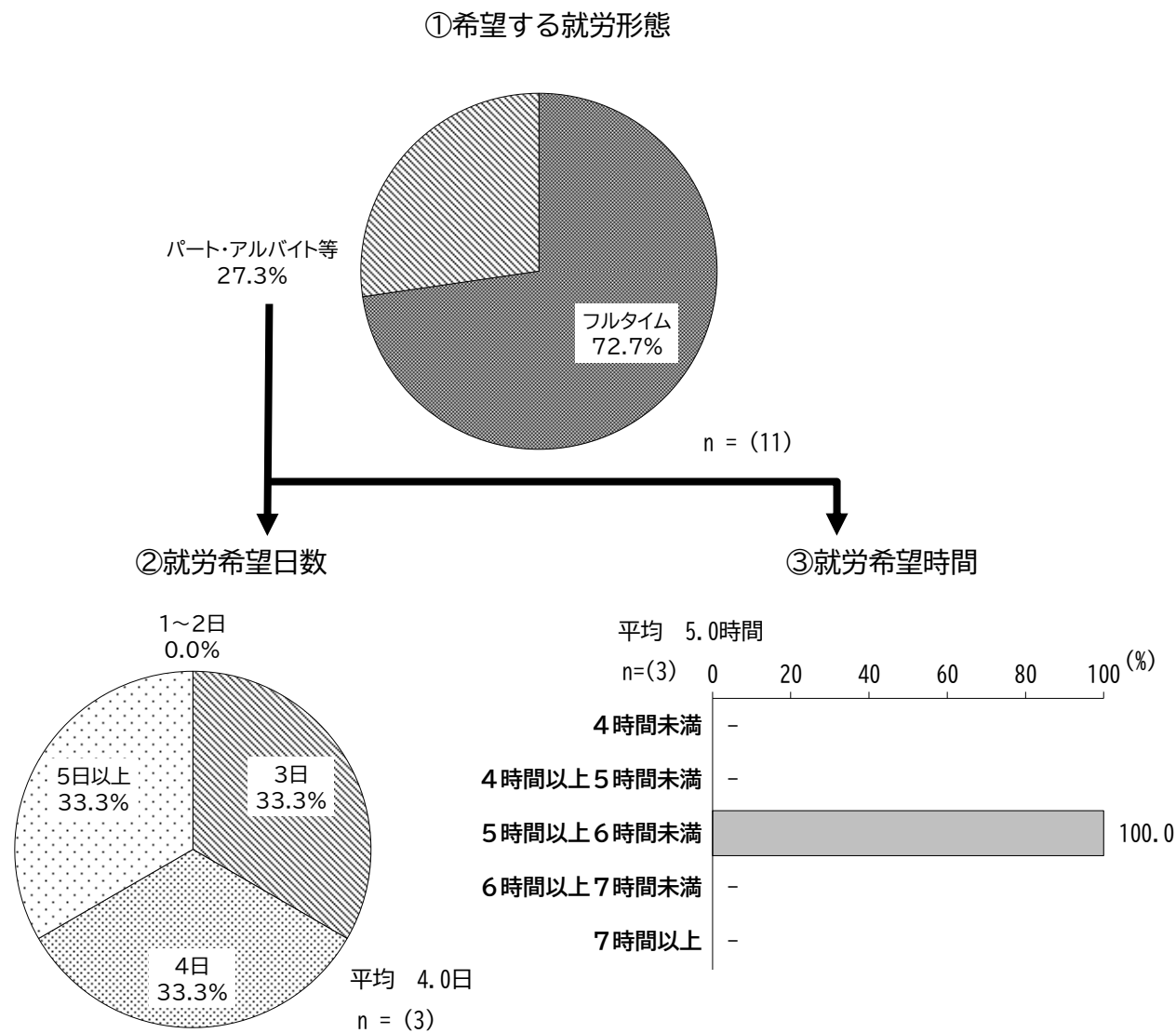
(5) 就労意向のある未就労者の希望就労形態・就労日数・就労時間

問5-3で「1年より先、一番下の子どもが〇歳になった頃就労したい」または「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方に伺います。

問5-4 希望する就労形態をお答えください。(回答は1つ)

未就労者のうち、就労したいと回答した人が希望する就労形態は、「フルタイム」が72.7%、「パート・アルバイト等」が27.3%となっている。

パート・アルバイト等を希望する人の1週あたりの就労希望日数は、平均4.0日であり、1日あたりの就労希望時間は平均5.0時間となっている。

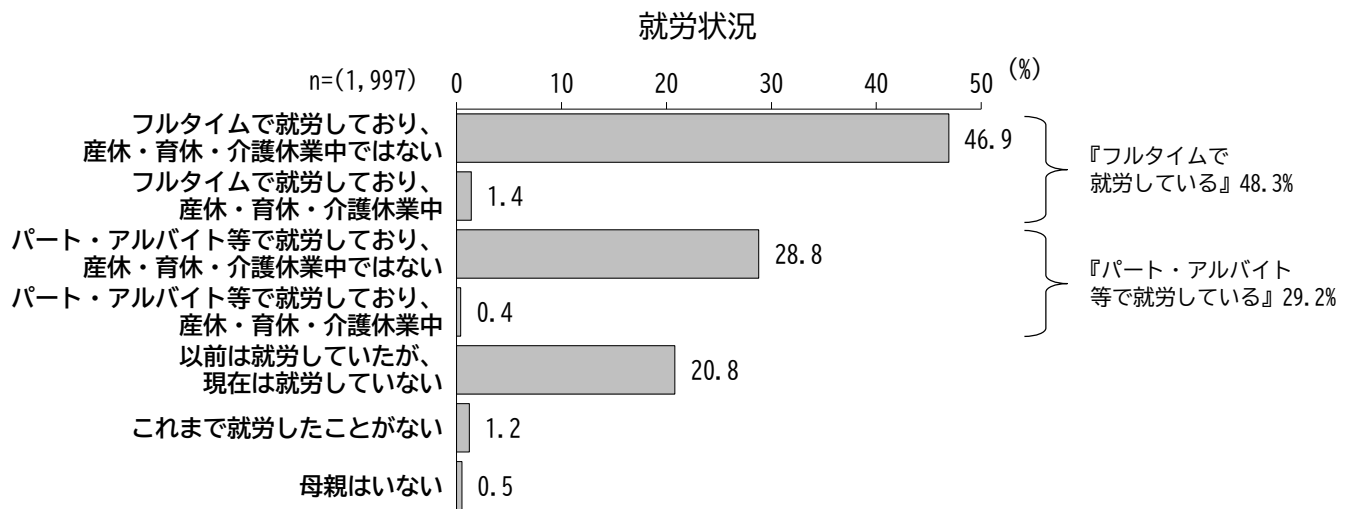


(6) 母親の就労状況

問6 あて名のお子さんの母親について、現在の就労状況をお答えください。(回答は1つ)

母親の就労形態は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が46.9%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が28.8%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が20.8%となっている。

また、『フルタイムで就労している』は48.3%、『パート・アルバイト等で就労している』は29.2%となっている。



※『フルタイムで就労している』＝「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」＋「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中」

※『パート・アルバイト等で就労している』＝「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」＋「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中」

(7) 母親の就労日数・就労時間・前年度の年収

問6で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中」、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中」と回答した方に伺います。

問6-1 下記についてお答えください。

①就労日数・就労時間（空欄内は数字を記入）

②前年度の年収（回答は1つ）

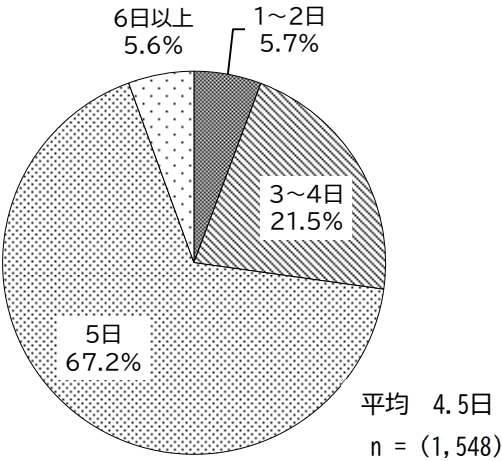
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※時間は、18時のように、24時間制で記入してください。

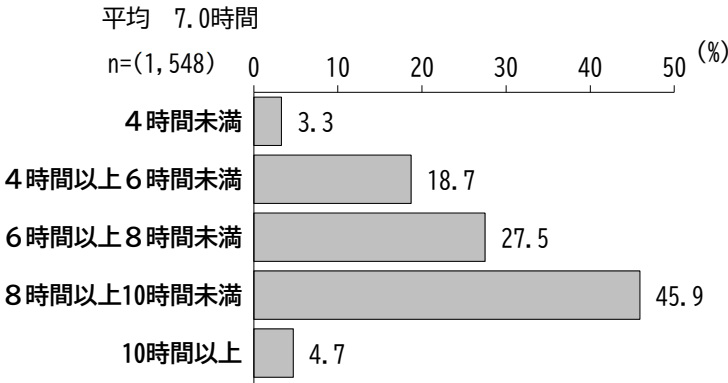
フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している人の1週あたりの就労日数は、「5日」が67.2%と最も多く、次いで「3～4日」が21.5%、「1～2日」が5.7%となっており、平均は4.5日となっている。

1日あたりの就労時間は、「8時間以上10時間未満」が45.9%と最も多く、次いで「6時間以上8時間未満」が27.5%、「4時間以上6時間未満」が18.7%となっている。平均は7.0時間となっている。

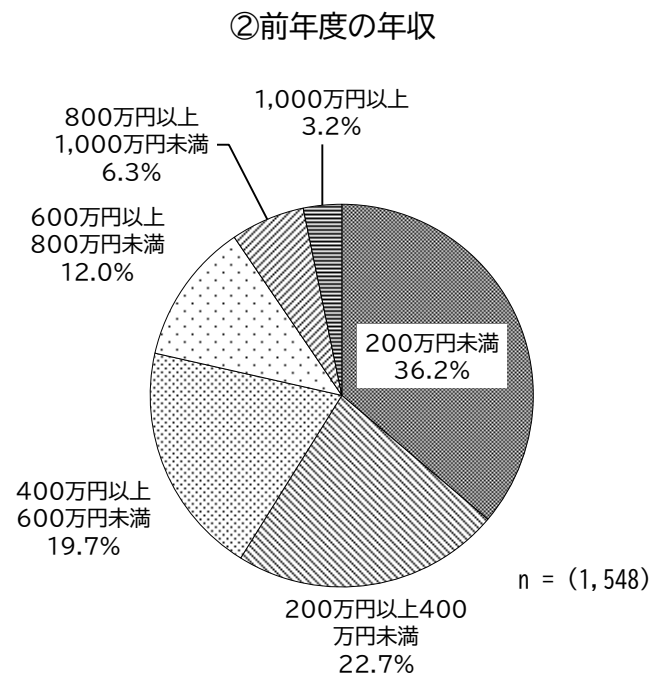
①-1 就労日数



①-2 就労時間



前年度の年収は、「200万円未満」が36.2%と最も多く、次いで「200万円以上400万円未満」が22.7%、「400万円以上600万円未満」が19.7%となっている。



(8) パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

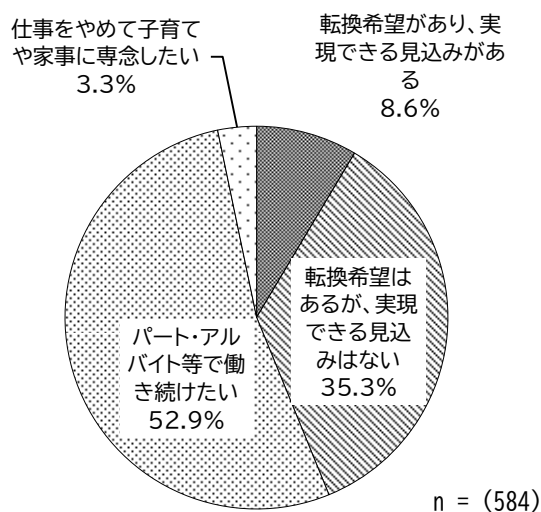
問6で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」または「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中」と回答した方に伺います。

問6-2 フルタイム（1週5日以上・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。

（回答は1つ）

パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望は、「パート・アルバイト等で働きたい」が52.9%と最も多く、次いで「転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が35.3%、「転換希望があり、実現できる見込みがある」が8.6%となっている。

パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望

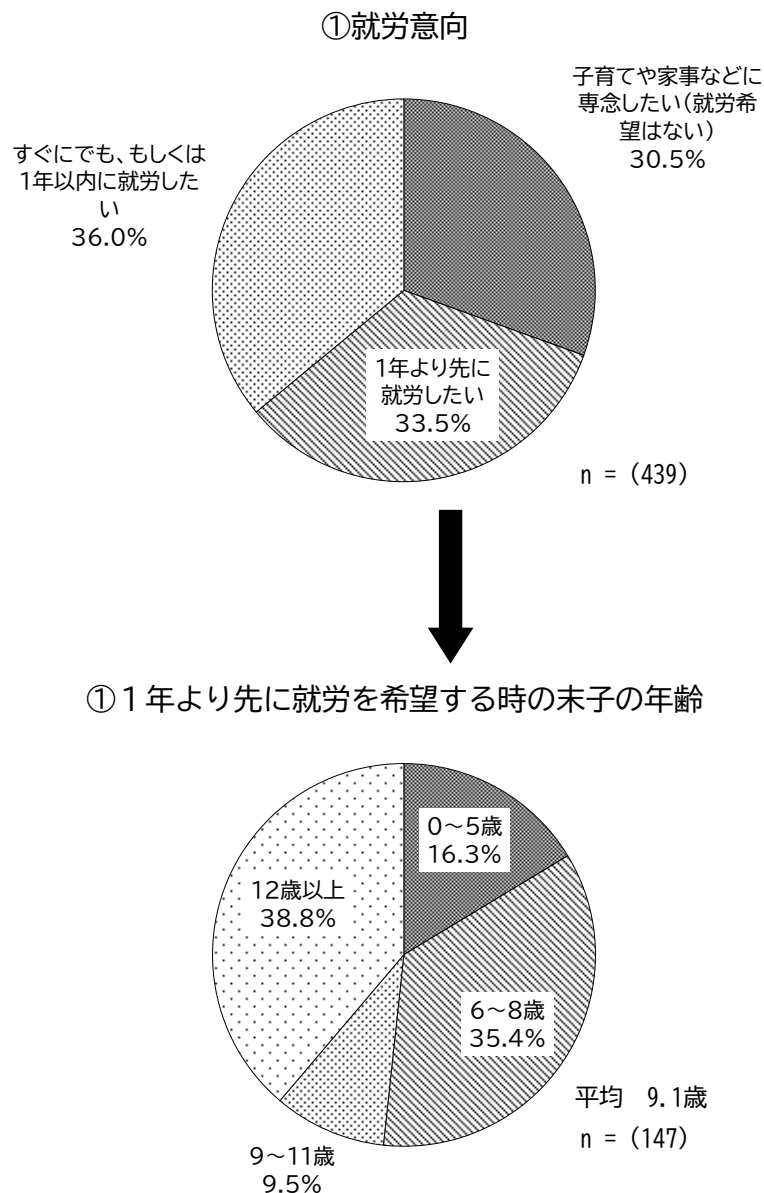


(9) 未就労者の就労希望

問6で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」と回答した方に伺います。

問6-3 就労したいという希望はありますか。(回答は1つ、空欄内は末子は何歳の時に就労を希望するか数字を記入)

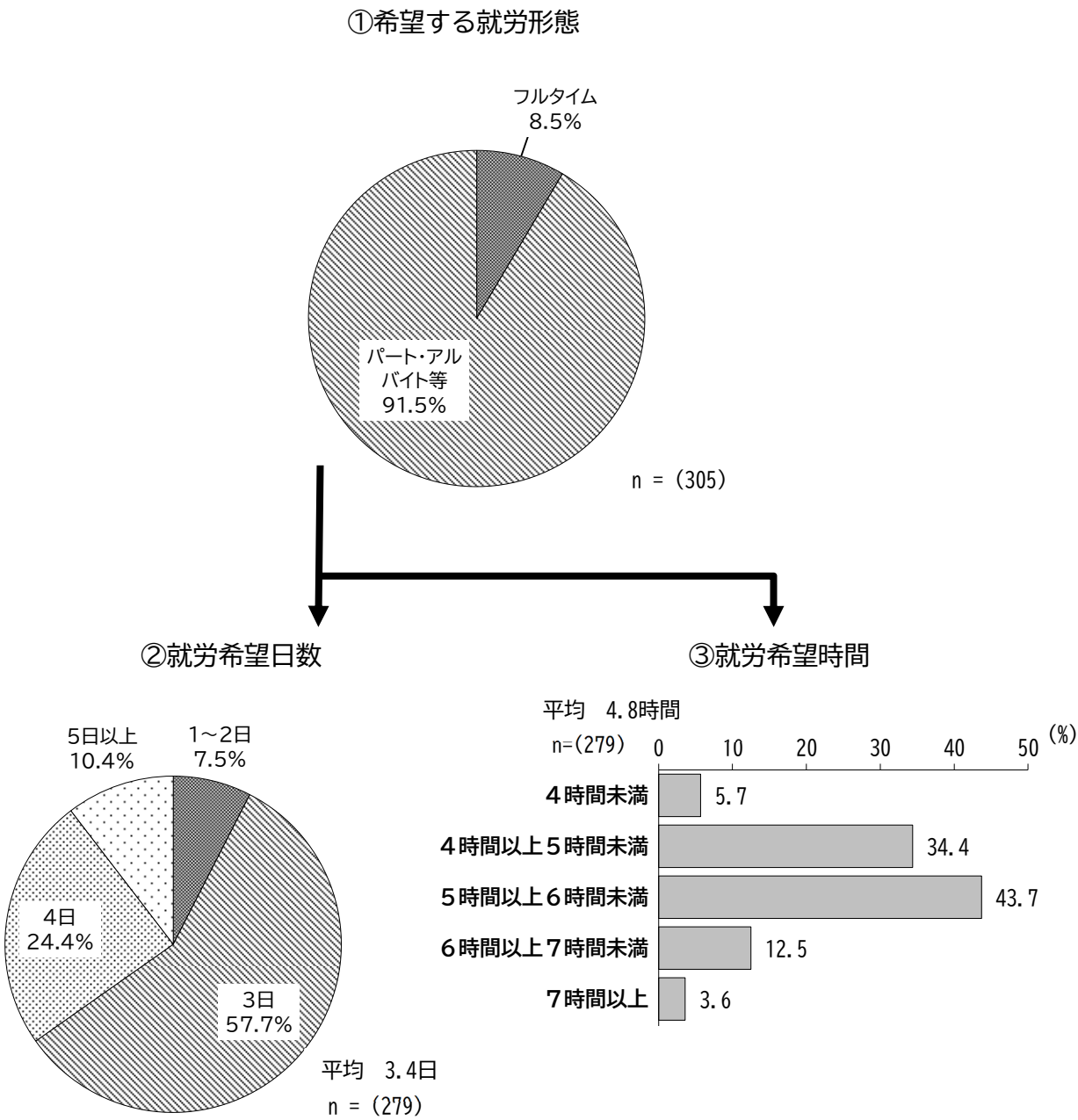
未就労者の就労意向は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が36.0%と最も多く、次いで「1年より先に就労したい」が33.5%、「子育てや家事などに専念したい（就労希望はない）」が30.5%となっている。「1年より先に就労したい」と回答した人が、就労を希望する時の末子の年齢は、「12歳以上」が38.8%と最も多く、次いで「6～8歳」が35.4%、「0～5歳」が16.3%となっており、平均は9.1歳となっている。



(10) 就労意向のある未就労者の希望就労形態・就労日数・就労時間

問6-3で「1年より先、一番下の子どもが○歳になった頃就労したい」または「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方に伺います。
問6-4 希望する就労形態をお答えください。(回答は1つ)

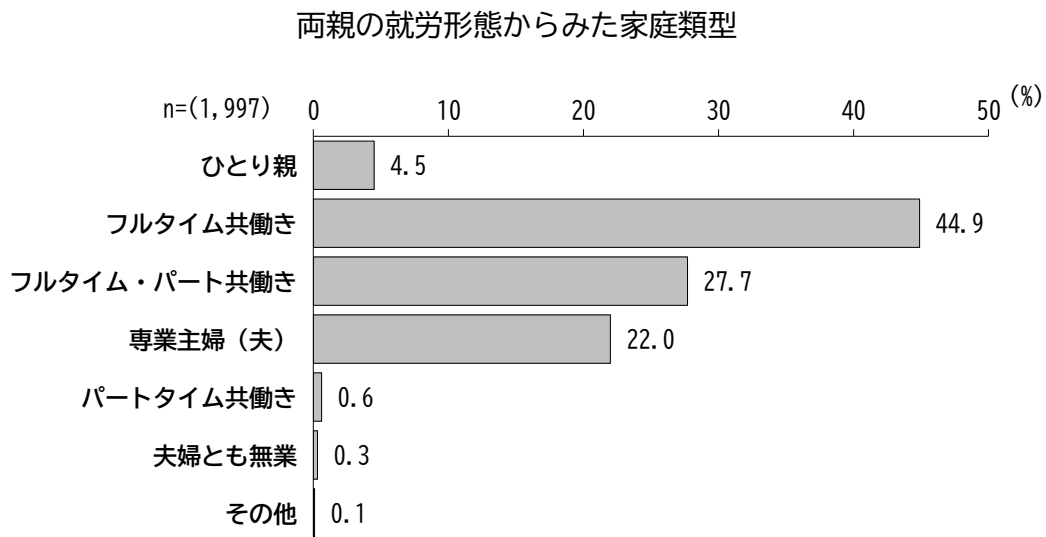
未就労者のうち、就労したいと回答した人が希望する就労形態は、「パート・アルバイト等」が91.5%、「フルタイム」が8.5%となっている。
パート・アルバイト等を希望する人の1週あたりの就労希望日数は、平均3.4日であり、1日あたりの就労希望時間は平均4.8時間となっている。



(11) 両親の就労形態からみた家庭類型

両親の就労形態からみた家庭類型は、「フルタイム共働き」が44.9%と最も多く、次いで「フルタイム・パート共働き」が27.7%、「専業主婦（夫）」が22.0%となっている。

子どもの学年別にみると、「フルタイム共働き」がいずれの学年においても最も多くなっており、特に小学1年生から小学3年生では5割程度となっている。



両親の就労形態からみた家庭類型

(単位:%)

		回答者数(人)	ひとり親	フルタイム共働き	パートタイム共働き・フルタイム共働き	専業主婦(夫)	パートタイム共働き	夫婦とも無業	その他
全 体		1,997	4.5	44.9	27.7	22.0	0.6	0.3	0.1
子 ど も の 学 年 別	小学1年生	382	3.7	49.5	20.7	26.2	-	-	-
	小学2年生	371	3.8	49.9	25.1	20.2	0.8	0.3	-
	小学3年生	329	4.9	49.5	22.8	22.2	0.3	0.3	-
	小学4年生	324	4.0	40.4	35.5	19.1	0.6	0.3	-
	小学5年生	303	5.3	36.0	34.3	22.8	0.7	0.7	0.3
	小学6年生	288	5.9	41.7	30.2	20.8	1.4	-	-

※両親の就労形態からみた家族類型：各家庭における父母の有無および就労状況別に類型化したもの
 (例：父がフルタイム就労、母がパートタイム就労の場合、フルタイム・パートタイム共働き)

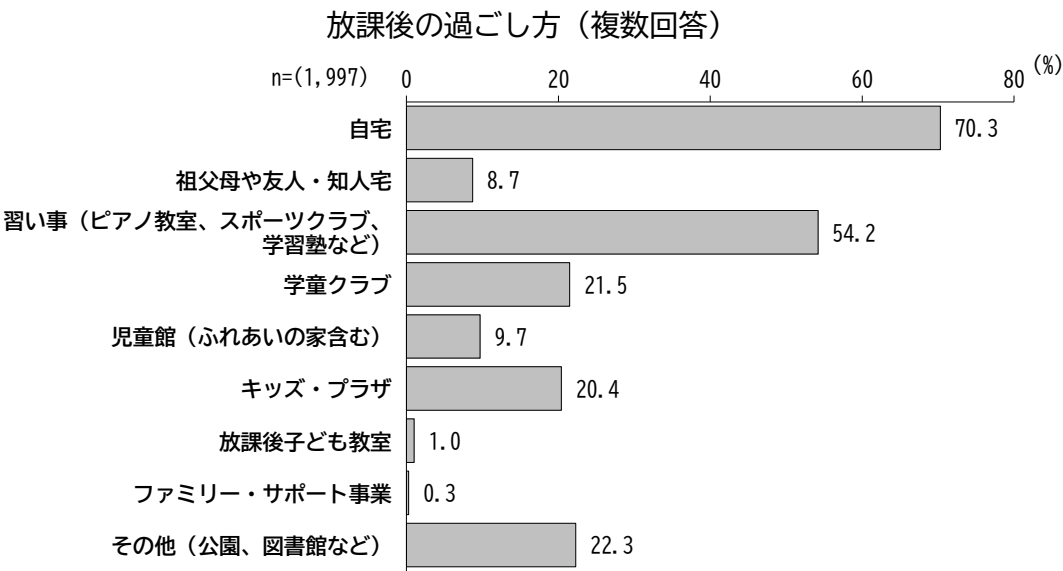
3. 放課後の過ごし方

(1) 子どもの放課後の過ごし方

問7 あて名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどこで過ごしていますか。（あてはまる選択肢すべてに回答）
該当する場所がある場合、週あたりの利用日数を記入してください。

放課後の過ごし方は、「自宅」が70.3%と最も多く、次いで「習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）」が54.2%、「その他（公園、図書館など）」が22.3%となっている。

学童クラブを利用している人の1週あたりの利用日数は、「5日」が65.1%、「3～4日」が29.1%、「1～2日」が4.2%となっており、平均4.5日となっている。



過ごし方別の1週あたりの日数

	回答者数 (人)	1～2日	3～4日	5日	6日以上	平均日数 (日)
自宅	1,404	33.1	29.4	23.6	13.8	3.6
祖父母や友人・知人宅	173	74.6	16.2	6.4	2.9	2.0
習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など）	1,082	39.8	45.4	11.2	3.6	3.0
学童クラブ	430	4.2	29.1	65.1	1.6	4.5
児童館（ふれあいの家含む）	193	74.1	18.7	6.2	1.0	1.9
キッズ・プラザ	408	64.0	19.6	16.2	0.2	2.3
放課後子ども教室	20	70.0	30.0	-	-	2.0
ファミリー・サポート事業	6	66.7	33.3	-	-	1.8
その他（公園、図書館など）	445	74.4	18.4	6.1	1.1	2.0

子どもの学年別にみると、「学童クラブ」が小学1、2年生では4割以上となっているが、「小学3年生」で21.6%、小学4年生以上では1～2%程度となっている。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「学童クラブ」は「フルタイム共働き」で37.7%、「ひとり親」で27.8%となっている。

放課後の過ごし方

(単位:%)

		回答者数(人)	自宅	祖父母や友人・知人宅	習い事(ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など)	学童クラブ	児童館(ふれあいの家含む)	キッズ・プラザ	放課後子ども教室	ファミリー・サポート事業	その他(公園、図書館など)
全 体		1,997	70.3	8.7	54.2	21.5	9.7	20.4	1.0	0.3	22.3
子どもの学年別	小学1年生	382	49.0	6.0	40.1	48.2	8.6	27.5	1.0	0.3	11.0
	小学2年生	371	53.1	5.4	42.6	43.9	7.3	29.1	0.5	0.3	14.3
	小学3年生	329	65.7	9.4	51.7	21.6	9.7	26.7	1.2	0.6	21.6
	小学4年生	324	88.3	15.1	67.3	1.9	12.0	18.2	0.6	0.6	32.1
	小学5年生	303	88.1	10.6	64.4	0.7	10.6	9.9	1.3	-	27.7
	小学6年生	288	87.2	6.3	65.3	1.4	10.4	6.3	1.4	-	31.6
就労形態による家庭類型別	ひとり親	90	64.4	12.2	40.0	27.8	13.3	20.0	1.1	1.1	28.9
	フルタイム共働き	897	55.3	7.0	48.0	37.7	7.1	17.8	0.4	0.1	14.5
	フルタイム・パート共働き	553	79.0	10.8	57.7	10.3	11.8	22.1	1.1	0.5	27.7
	専業主婦(夫)	439	91.1	8.9	65.6	2.1	11.4	23.5	1.8	0.2	29.4
	パートタイム共働き	12	66.7	-	50.0	8.3	8.3	41.7	-	-	50.0
	夫婦とも無業	5	80.0	-	20.0	-	-	-	-	-	20.0
	その他	1	100.0	-	100.0	-	100.0	-	100.0	-	-

(2) 学童クラブの利用状況

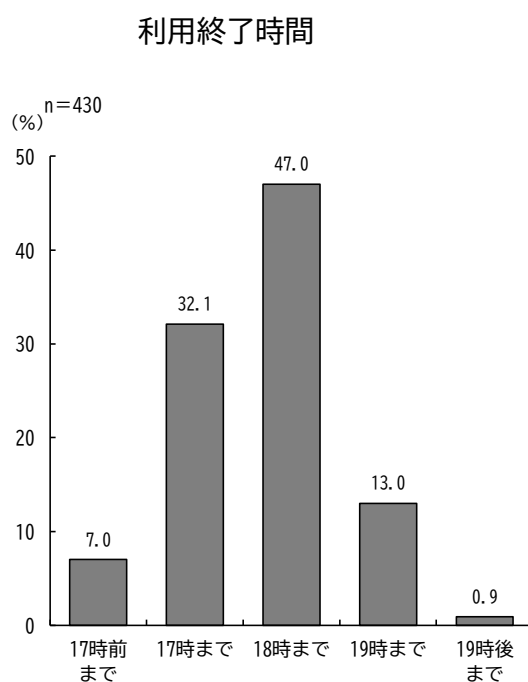
問7の放課後で過ごしている場所で「学童クラブ」と回答した方に伺います。

問7-1 ①放課後（平日の小学校終了後）、②土曜日の利用状況をお答えください。

※時間は18時のように、24時間制で記入してください。

①放課後（平日の小学校終了後）

学童クラブを利用している人の放課後の利用終了時間は、「18時まで」が47.0%と最も多く、次いで「17時まで」が32.1%、「19時まで」が13.0%となっている。

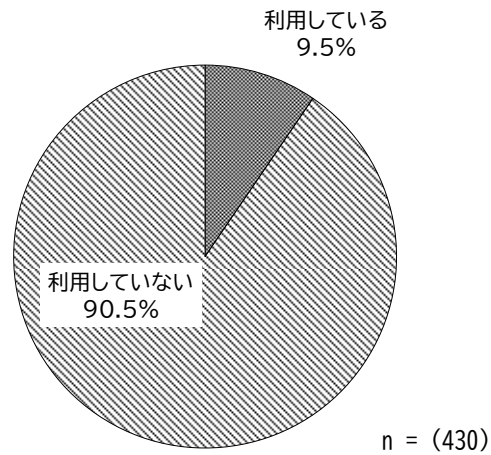


②土曜日

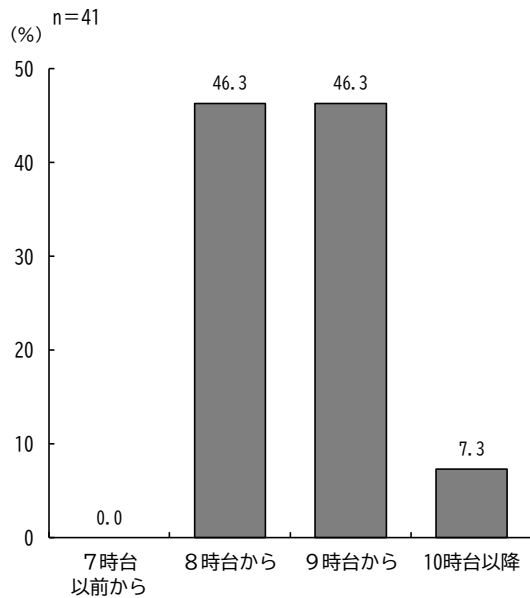
土曜日の利用状況は、「利用していない」が90.5%、「利用している」が9.5%となっている。

利用開始時間は、「8時台から」および「9時台から」が46.3%と多く、次いで「10時台以降」が7.3%となっている。利用終了時間は、「18時まで」が41.5%と最も多く、次いで「17時前まで」が24.4%、「17時まで」および「19時まで」が17.1%となっている。

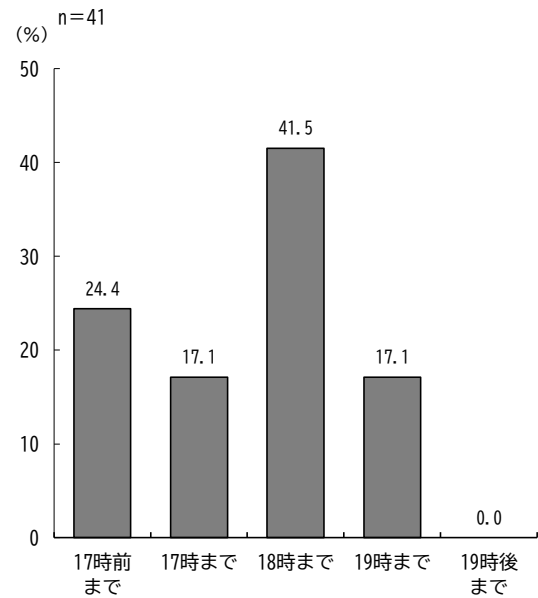
利用状況



利用開始時間



利用終了時間



(3) 学童クラブの利用希望

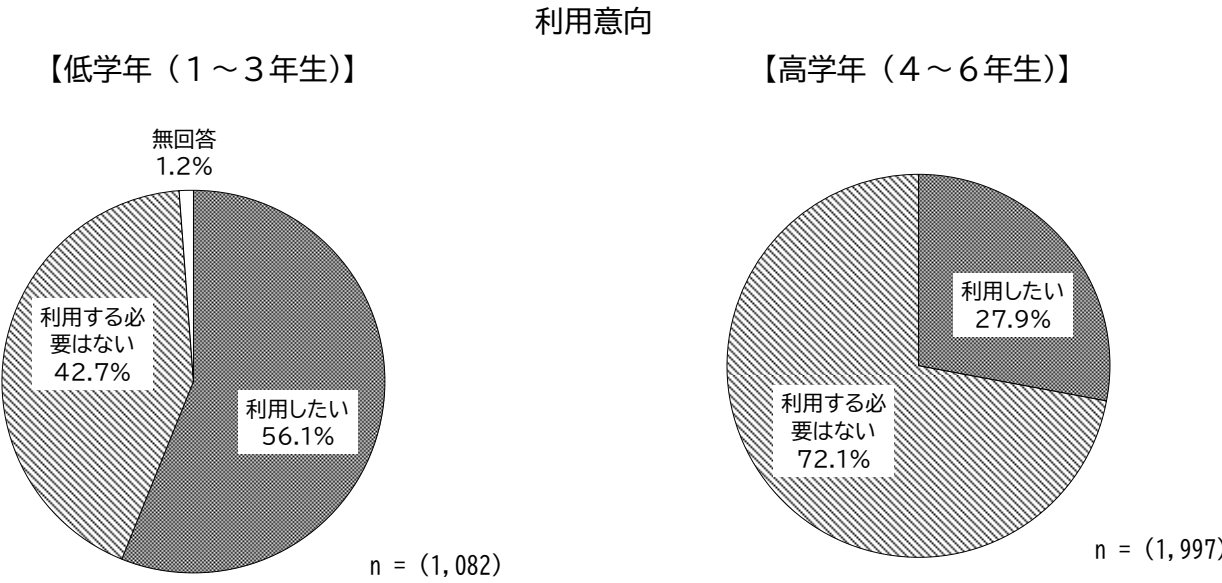
問8 あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、学童クラブの利用を希望しますか。(①放課後、②土曜日それぞれにつき回答は1つ)
希望する場合は、利用したい日数・時間帯を記入してください。
※時間は18時のように、24時間制で記入してください。

①放課後の学童クラブ

平日の放課後の学童クラブの利用意向をみると、低学年（1～3年生）では、「利用したい」が56.1%、「利用する必要はない」が42.7%となっている。高学年（4～6年生）では、「利用する必要はない」が72.1%、「利用したい」が27.9%となっている。

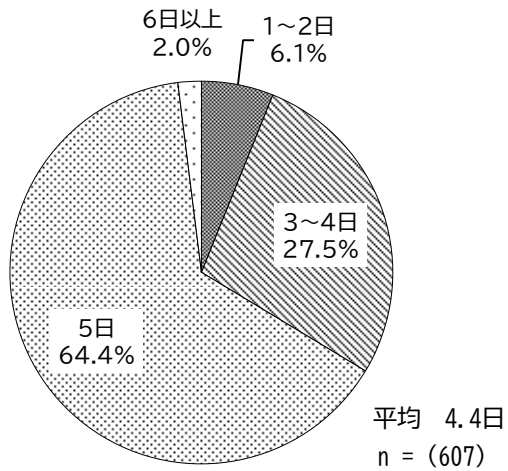
利用希望日数の平均は、低学年（1～3年生）では4.4日、高学年（4～6年生）では3.9日となっている。

希望終了時間は、低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）ともに「18時まで」が最も多く、低学年（1～3年生）では45.6%、高学年（4～6年生）では46.2%となっている。

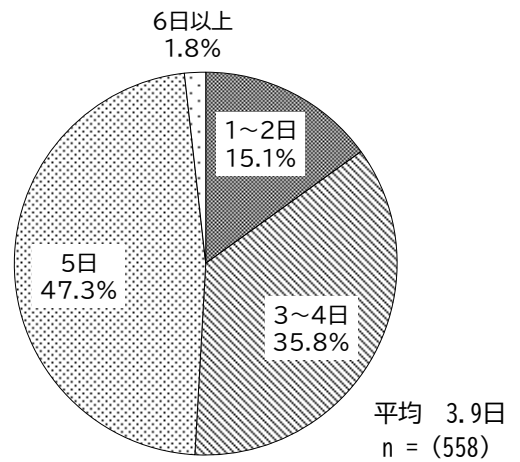


利用希望日数

【低学年（1～3年生）】

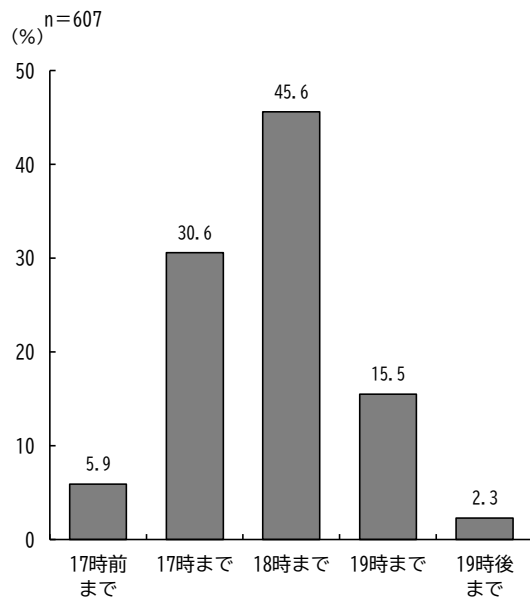


【高学年（4～6年生）】

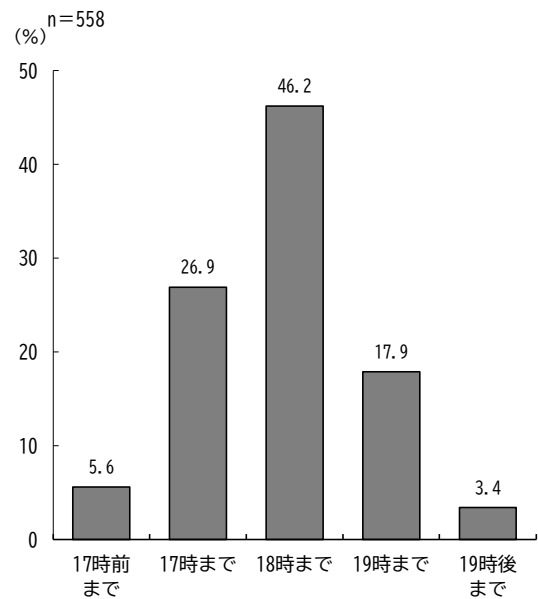


希望終了時間

【低学年（1～3年生）】



【高学年（4～6年生）】



第4章 就学児童調査の結果

低学年（１～３年生）時の利用意向を子どもの学年別にみると、「利用したい」は「小学１年生」と「小学２年生」では６割以上となっているが、「小学３年生」では４１.３％となっている。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」は「フルタイム共働き」で７６.５％、「ひとり親」で５６.８％と５割以上となっている。

高学年（４～６年生）時の利用意向を子どもの学年別にみると、「利用したい」は「小学１年生」で４４.８％、「小学生２年生」で４２.９％と４割台となっているが、低学年（１～３年生）時と比べると、およそ２割減となっている。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」は低学年（１～３年生）時と同様に「ひとり親」および「フルタイム共働き」で多くなっており、「フルタイム共働き」で４０.０％、「ひとり親」で２８.９％となっている。

利用意向

（単位：％）

		低学年				高学年になったら		
		回答者数（人）	利用したい	利用する必要はない	無回答	回答者数（人）	利用したい	利用する必要はない
全 体		1,082	56.1	42.7	1.2	1,997	27.9	72.1
子どもの学年別	小学１年生	382	63.6	36.1	0.3	382	44.8	55.2
	小学２年生	371	61.5	38.3	0.3	371	42.9	57.1
	小学３年生	329	41.3	55.3	3.3	329	33.4	66.6
	小学４年生					324	19.8	80.2
	小学５年生					303	8.3	91.7
	小学６年生					288	10.1	89.9
就労家庭形態による	ひとり親	44	56.8	43.2	-	90	28.9	71.1
	フルタイム共働き	537	76.5	22.0	1.5	897	40.0	60.0
	フルタイム・パート共働き	247	44.9	53.8	1.2	553	17.9	82.1
	専業主婦（夫）	248	22.6	76.6	0.8	439	15.3	84.7
	パートタイム共働き	4	50.0	50.0	-	12	25.0	75.0
	夫婦とも無業	2	100.0	-	-	5	80.0	20.0
	その他	-	-	-	-	1	-	100.0

②土曜日の学童クラブ

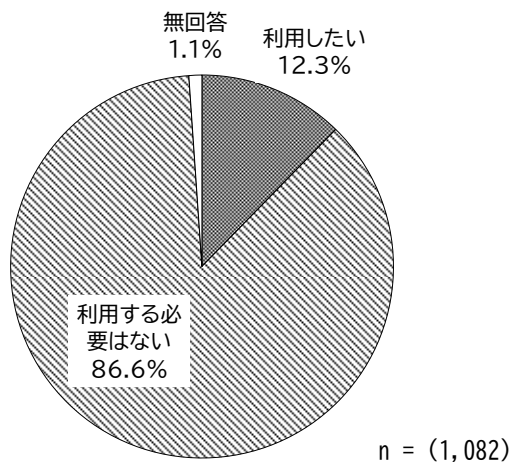
土曜日の学童クラブの利用意向をみると、低学年（１～３年生）では、「利用したい」が12.3%、高学年（４～６年生）では、「利用したい」が7.1%となっている。

希望開始時間は、低学年（１～３年生）では、「８時台から」、「９時台から」が36.1%、高学年（４～６年生）では、「８時台から」が34.8%と最も多くなっている。

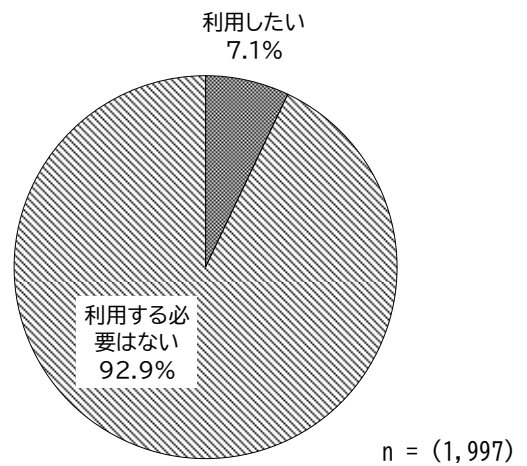
希望終了時間は、低学年（１～３年生）、高学年（４～６年生）ともに「18時まで」が38.3%で最も多くなっている。

利用意向

【低学年（１～３年生）】

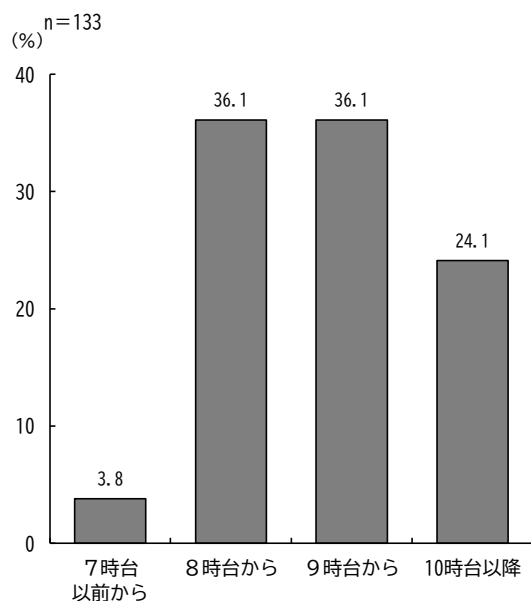


【高学年（４～６年生）】

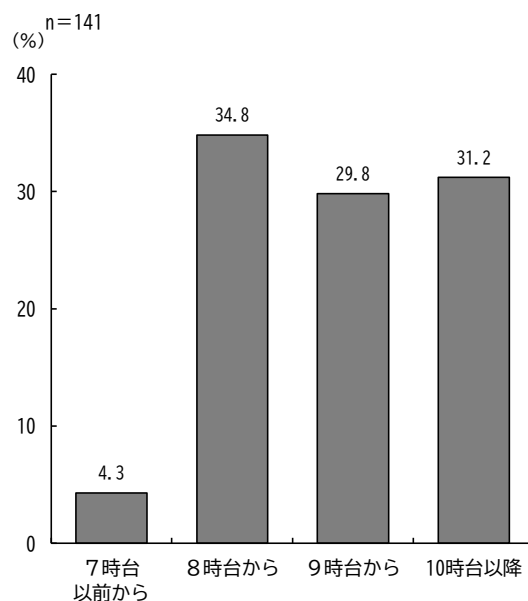


希望開始時間

【低学年（1～3年生）】

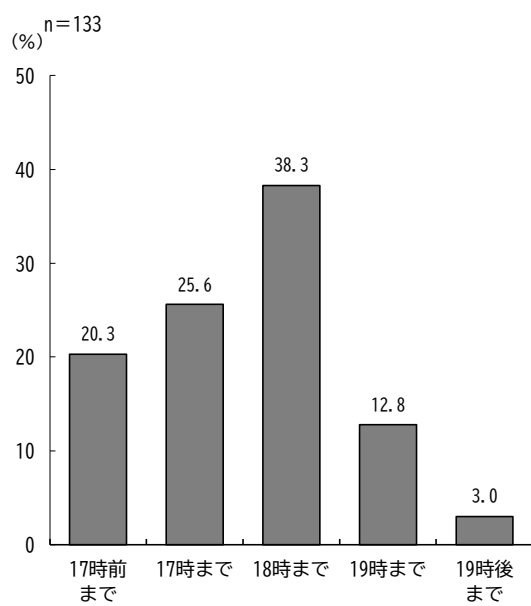


【高学年（4～6年生）】

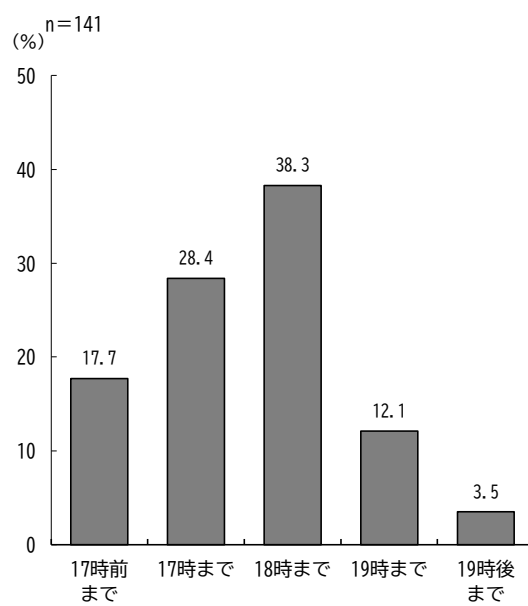


希望終了時間

【低学年（1～3年生）】



【高学年（4～6年生）】



低学年（１～３年生）時の利用意向を子どもの学年別にみると、「利用したい」は小学１、２年生では、１割以上となっているが「小学３年生」では１割未満となっている。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」は「ひとり親」が20.5%、「フルタイム共働き」が13.6%、「フルタイム・パート共働き」が12.1%となっている。

高学年（４～６年生）時の利用意向を子どもの学年別にみると、「利用したい」は「小学２年生」が12.1%で最も多くなっているが、学年が上がるにつれてその割合は減少している。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」は「ひとり親」が10.0%、「フルタイム共働き」が8.0%となっている。

利用意向

(単位:%)

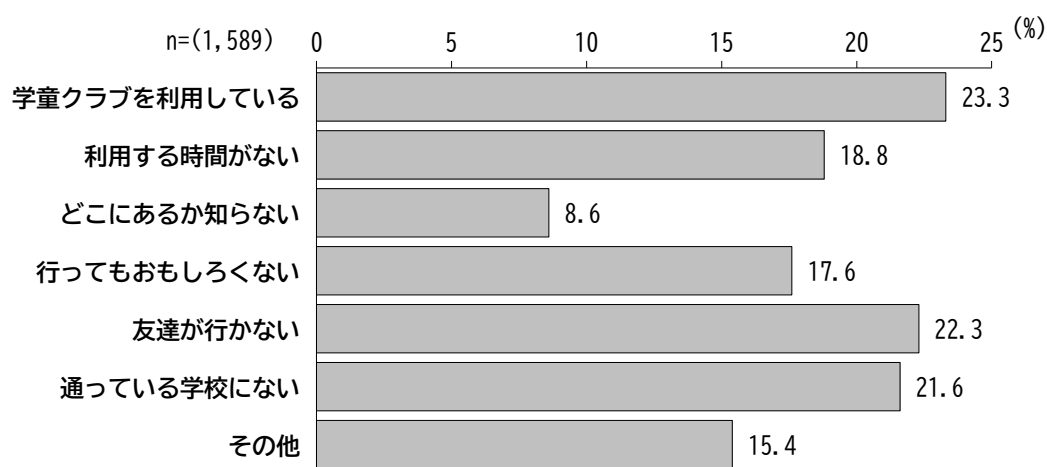
		低学年				高学年になったら		
		回答者数 (人)	利用 したい	利用 する必要 はない	無 回答	回答者数 (人)	利用 したい	利用 する必要 はない
全 体		1,082	12.3	86.6	1.1	1,997	7.1	92.9
子 ど も の 学 年 別	小学１年生	382	14.1	85.6	0.3	382	9.4	90.6
	小学２年生	371	15.1	84.6	0.3	371	12.1	87.9
	小学３年生	329	7.0	90.0	3.0	329	6.4	93.6
	小学４年生					324	5.6	94.4
	小学５年生					303	4.3	95.7
	小学６年生					288	2.8	97.2
就 労 形 態 に よ る	ひとり親	44	20.5	79.5	-	90	10.0	90.0
	フルタイム共働き	537	13.6	85.3	1.1	897	8.0	92.0
	フルタイム・パート共働き	247	12.1	86.6	1.2	553	7.1	92.9
	専業主婦（夫）	248	8.1	90.7	1.2	439	4.3	95.7
	パートタイム共働き	4	25.0	75.0	-	12	16.7	83.3
	夫婦とも無業	2	-	100.0	-	5	-	100.0
	その他	-	-	-	-	1	-	100.0

(4) キッズ・プラザを利用していない理由

問7の放課後で過ごしている場所で「キッズ・プラザ」と回答しなかった方に伺います。
問9 キッズ・プラザを利用していない理由は何ですか。(あてはまる選択肢すべてに回答)

キッズ・プラザを「利用していない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「学童クラブを利用している」が23.3%と最も多く、次いで「友達が行かない」が22.3%、「通っている学校にない」が21.6%となっている。

キッズ・プラザを利用していない理由（複数回答）



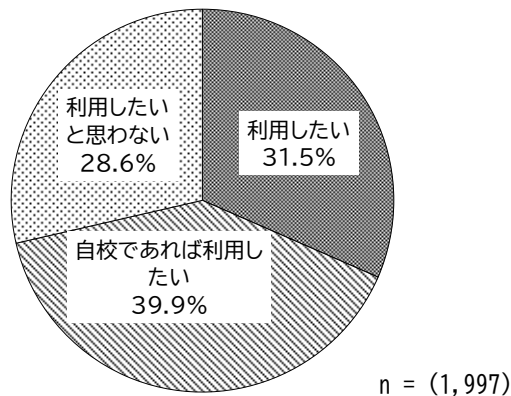
(5) キッズ・プラザの利用意向、利用希望日数

問10 あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、キッズ・プラザの利用を希望しますか。(回答は1つ)

キッズ・プラザの利用意向をみると、「自校であれば利用したい」が39.9%、「利用したい」が31.5%となっている。

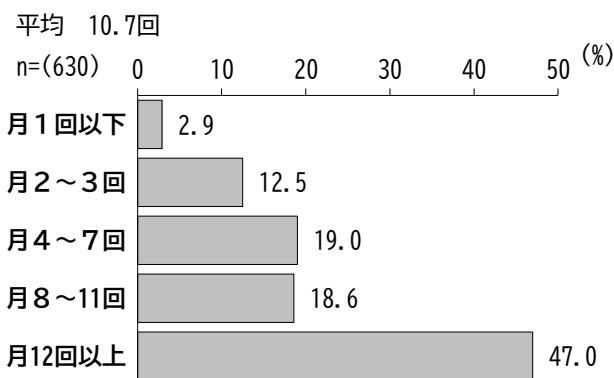
「利用したい」では、「月12回以上」が47.0%と最も多く、平均は10.7回となっている。「自校であれば利用したい」では、「月12回以上」が47.9%と最も多く、平均は10.8回となっている。

①利用意向

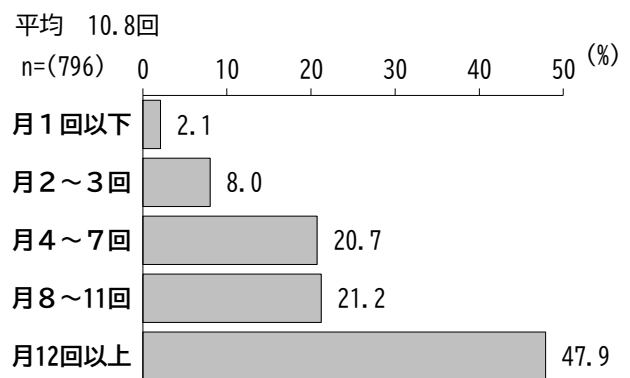


②利用希望日数

【利用したい】



【自校であれば利用したい】



第4章 就学児童調査の結果

子どもの学年別にみると、「利用したい」は「小学1年生」が45.3%で最も多くなっているが、学年が上がるにつれて減少していき、「小学6年生」で16.7%となっている。また、「自校であれば利用したい」は小学4年生までは4割台、小学5年生と6年生では2割半ばから3割程度となっている。

居住地域別にみると、「利用したい」は「南部すこやか福祉センター」が34.4%で最も多く、次いで「北部すこやか福祉センター」が33.9%、「中部すこやか福祉センター」が33.5%、「鷺宮すこやか福祉センター」が25.1%となっている。また、「自校であれば利用したい」は「鷺宮すこやか福祉センター」が47.1%で最も多く、次いで「北部すこやか福祉センター」が42.0%、「中部すこやか福祉センター」が35.6%、「南部すこやか福祉センター」が33.6%となっている。

①利用意向

(単位:%)

		回答者数(人)	利用したい	自校であれば利用したい	利用したいと思わない
全 体		1,997	31.5	39.9	28.6
子 ど も の 学 年 別	小学1年生	382	45.3	47.6	7.1
	小学2年生	371	39.6	47.2	13.2
	小学3年生	329	38.0	40.4	21.6
	小学4年生	324	25.6	43.5	30.9
	小学5年生	303	17.8	29.0	53.1
	小学6年生	288	16.7	26.7	56.6
居 住 地 域 別	南部すこやか福祉センター	390	34.4	33.6	32.1
	中部すこやか福祉センター	571	33.5	35.6	31.0
	北部すこやか福祉センター	510	33.9	42.0	24.1
	鷺宮すこやか福祉センター	526	25.1	47.1	27.8

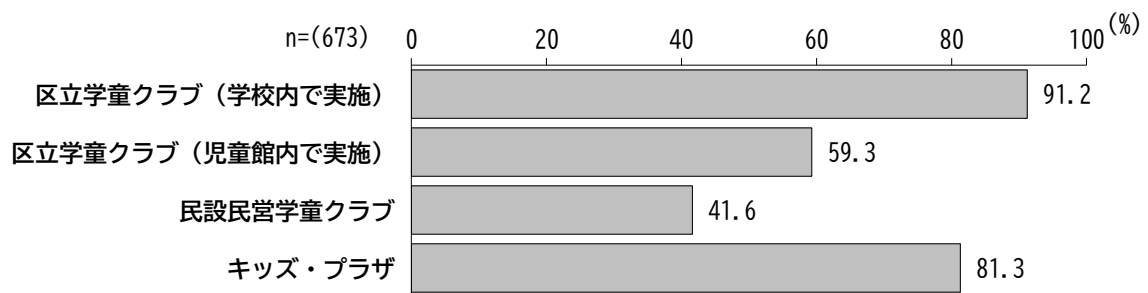
(6) 希望する子どもの放課後の過ごし方

問8①放課後に学童クラブを利用したい、(かつ)問10でキッズ・プラザを利用したいと回答した方に伺います。

問11 現在の利用状況にかかわらず、お子さんが過ごす場所として希望する居場所を希望する順に記入してください。(第3希望まで選べます)

放課後の過ごし方で「学童クラブ」と「キッズ・プラザ」の両方を利用したいと選んだ方が希望する居場所は、「区立学童クラブ(学校内で実施)」が91.2%と最も多く、次いで「キッズ・プラザ」が81.3%、「区立学童クラブ(児童館内で実施)」が59.3%となっている。

希望する子どもの放課後の過ごし方(複数回答)



第4章 就学児童調査の結果

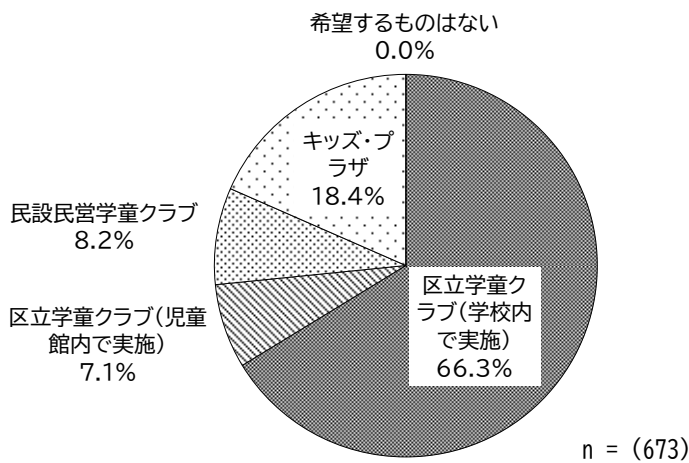
希望する居場所の希望順位は、第一希望では「区立学童クラブ（学校内で実施）」が66.3%、「キッズ・プラザ」が18.4%、「民設民営学童クラブ」が8.2%となっている。

第二希望では「キッズ・プラザ」が31.4%、「区立学童クラブ（児童館内で実施）」が29.7%、「区立学童クラブ（学校内で実施）」が21.4%となっている。

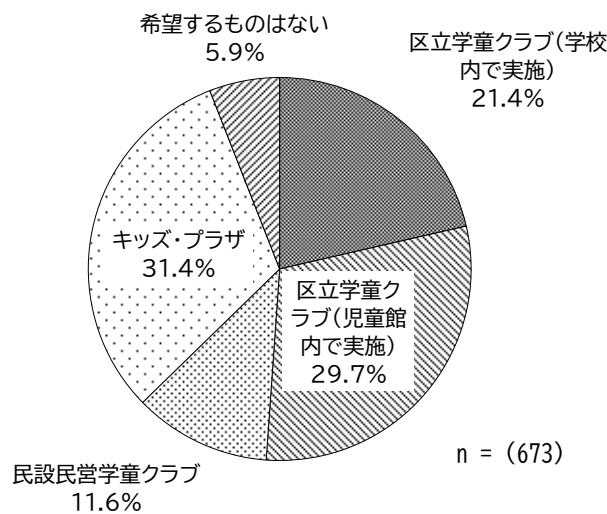
第三希望では「キッズ・プラザ」が31.5%、「区立学童クラブ（児童館内で実施）」が22.4%、「民設民営学童クラブ」が21.8%となっている。

希望する子どもの放課後の過ごし方

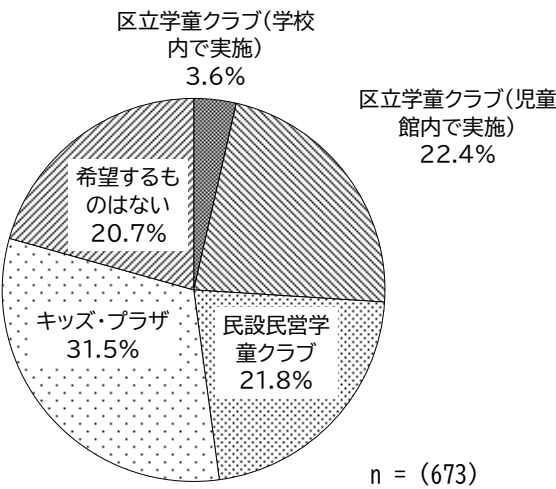
第一希望



第二希望



第三希望

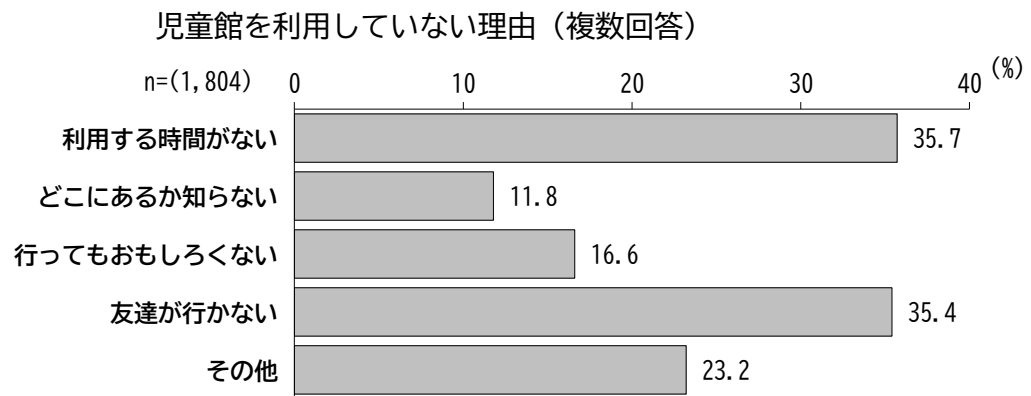


(7) 児童館を利用していない理由

問7の放課後に過ごしている場所で「児童館（ふれあいの家含む）」を選択しなかった方に伺います。

問12 児童館を利用していない理由は何ですか。（あてはまる選択肢すべてに回答）

児童館（ふれあいの家含む）を選択しなかった人にその理由をたずねたところ、「利用する時間がない」が35.7%と最も多く、次いで「友達が行かない」が35.4%、「行ってもおもしろくない」が16.6%となっている。



(8) 児童館の利用意向、利用希望日数

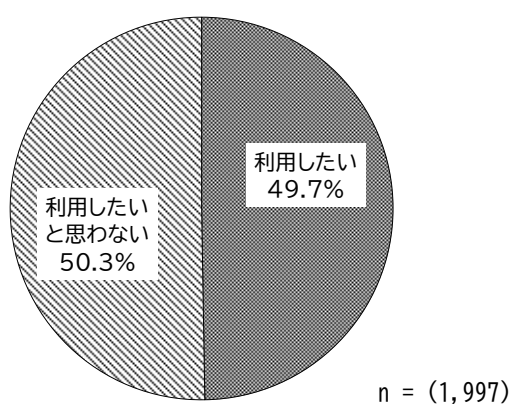
問13 あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、児童館の利用を希望しますか。(回答は1つ)

希望する場合は、利用したい日数を記入してください。

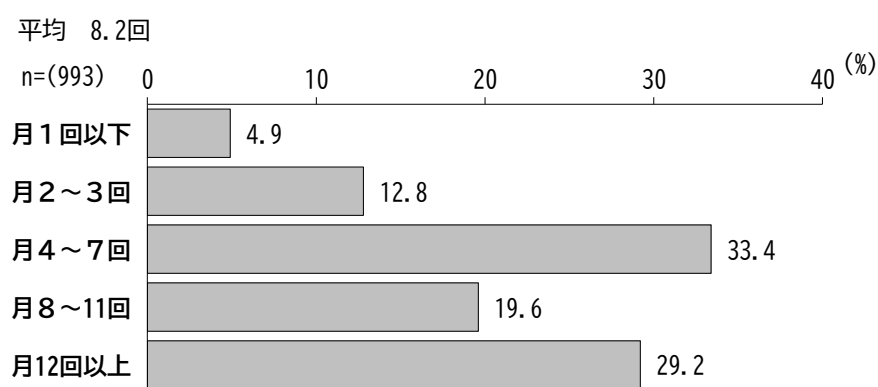
児童館の利用意向をみると、「利用したい」が49.7%となっている。

月あたりの利用希望日数は、「月4～7回」が33.4%と最も多く、次いで「月12回以上」が29.2%、「月8～11回」が19.6%となっており、平均は8.2回となっている。

①利用意向



②利用希望日数



子どもの学年別にみると、「利用したい」は「小学1年生」では60.7%と最も多く、「小学2年生」、「小学3年生」、「小学4年生」で5割程度、「小学5年生」、「小学6年生」で3割台となっている。

居住地域別にみると、「利用したい」は「鷺宮すこやか福祉センター」で最も多く55.1%、次いで「南部すこやか福祉センター」で53.6%、「北部すこやか福祉センター」で46.9%、「中部すこやか福祉センター」で44.7%となっている。

①利用意向

(単位:%)

		回答者数(人)	利用したい	利用したいと思わない
全 体		1,997	49.7	50.3
子 ど も の 学 年 別	小学1年生	382	60.7	39.3
	小学2年生	371	52.6	47.4
	小学3年生	329	54.7	45.3
	小学4年生	324	49.7	50.3
	小学5年生	303	38.6	61.4
	小学6年生	288	37.5	62.5
居 住 地 域 別	南部すこやか福祉センター	390	53.6	46.4
	中部すこやか福祉センター	571	44.7	55.3
	北部すこやか福祉センター	510	46.9	53.1
	鷺宮すこやか福祉センター	526	55.1	44.9

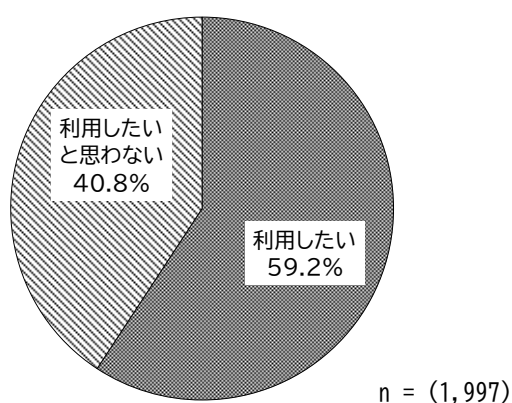
4. 子育て支援事業の利用状況

(1) 子どもが病気の場合に預かる事業の利用意向

問14 あて名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならない時に、預けることができる事業があったら利用したいと思いますか。(回答は1つ)

子どもが病気の場合に預かる事業の利用意向をみると、「利用したい」が59.2%、「利用したいと思わない」が40.8%となっている。

子どもが病気の場合に預かる事業の利用意向



子どもの学年別にみると、「利用したい」は「小学1年生」で68.1%と最も多くなっている。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」は「ひとり親」、「フルタイム共働き」で6割台となっている。

子どもが病気の場合に預かる事業の利用意向

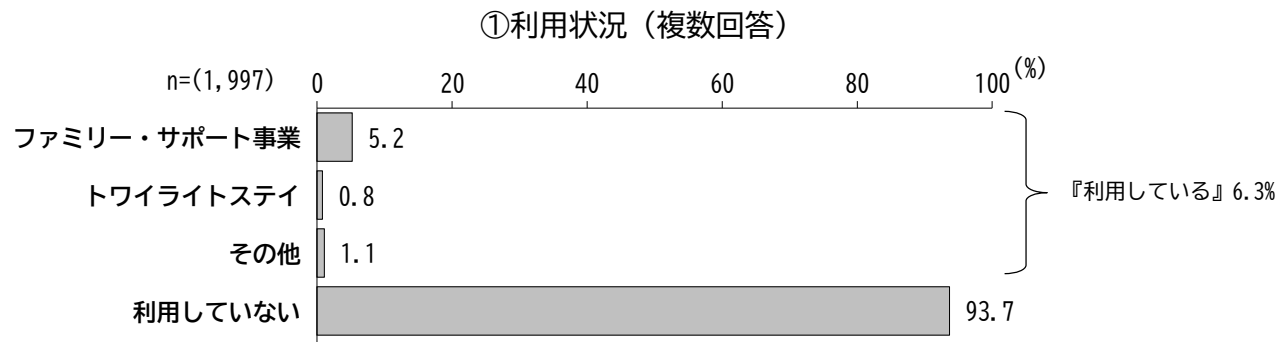
(単位:%)

		回答者数 (人)	利用したい	利用したいと思わない
全 体		1,997	59.2	40.8
子どもの学年別	小学1年生	382	68.1	31.9
	小学2年生	371	63.3	36.7
	小学3年生	329	59.9	40.1
	小学4年生	324	59.3	40.7
	小学5年生	303	48.5	51.5
	小学6年生	288	52.8	47.2
就労家庭形態による	ひとり親	90	68.9	31.1
	フルタイム共働き	897	66.8	33.2
	フルタイム・パート共働き	553	56.2	43.8
	専業主婦(夫)	439	45.8	54.2
	パートタイム共働き	12	66.7	33.3
	夫婦とも無業	5	40.0	60.0
	その他	1	-	100.0

(2) 不定期に利用している事業（一時預かり等）の利用状況と利用日数

問15 あて名のお子さんについて、私用、冠婚葬祭、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（あてはまる選択肢すべてに回答）
利用している場合、1年間の利用日数（おおよそ）を記入してください。

一時預かり事業の利用状況は、「利用していない」が93.7%であり、『利用している』が6.3%となっている。『利用している』を具体的にみると「ファミリー・サポート事業」が5.2%と最も多く、次いで「トワイライトステイ」が0.8%となっている。利用日数（年間）の平均をみると、「ファミリー・サポート事業」が8.7日、「トワイライトステイ」が5.1日となっている。



②利用日数

(単位: %)

	回答者数 (人)	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	10 ～ 19 日	20 ～ 29 日	30 日 以上	平均 日数 (日)
ファミリー・サポート事業	104	55.8	17.3	18.3	2.9	5.8	8.7
トワイライトステイ	15	53.3	26.7	13.3	6.7	-	5.1
その他	21	19.0	14.3	38.1	14.3	14.3	21.2

子どもの学年別にみると、『利用している』は、「小学2年生」で10.2%が最も多く、次いで「小学1年生」で7.3%、「小学4年生」で6.2%となっている。「小学5年生」、「小学6年生」では5.0%未満となっている。

就労形態からみた家庭類型別にみると、『利用している』は「ひとり親」で8.9%、「フルタイム共働き」で7.9%となっている。

①利用状況

(単位:%)

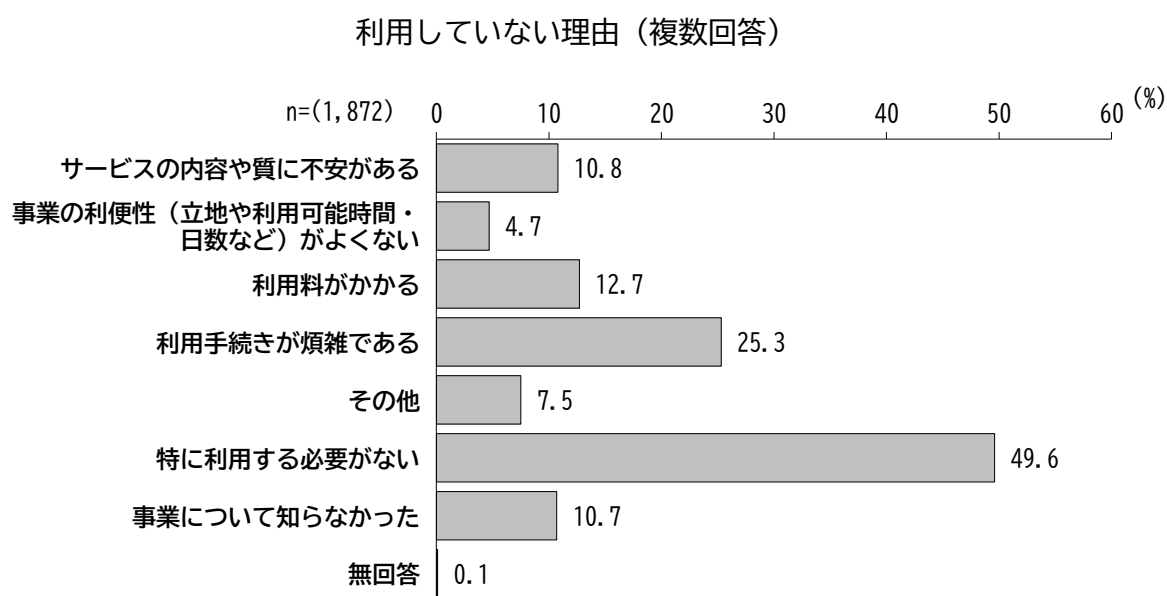
		回答者数(人)	ファミリー・サポート事業	トワイライトステイ	その他	利用していない	利用している
全 体		1,997	5.2	0.8	1.1	93.7	6.3
子どもの学年別	小学1年生	382	6.5	0.8	1.3	92.7	7.3
	小学2年生	371	8.1	1.1	2.2	89.8	10.2
	小学3年生	329	4.9	0.9	0.6	93.9	6.1
	小学4年生	324	4.9	0.9	1.5	93.8	6.2
	小学5年生	303	1.3	0.7	0.3	98.0	2.0
	小学6年生	288	4.5	-	-	95.5	4.5
就労形態による家庭類型別	ひとり親	90	5.6	3.3	3.3	91.1	8.9
	フルタイム共働き	897	7.0	0.7	0.9	92.1	7.9
	フルタイム・パート共働き	553	3.4	1.1	1.3	95.3	4.7
	専業主婦(夫)	439	3.4	-	0.7	95.9	4.1
	パートタイム共働き	12	16.7	-	-	83.3	16.7
	夫婦とも無業	5	-	-	-	100.0	-
	その他	1	-	-	-	100.0	-

(3) 利用していない理由

問15で「利用していない」と回答した方に伺います。

問15-1 利用していない理由は何ですか。(あてはまる選択肢すべてに回答)

一時預かり事業を「利用していない」と回答した人にその理由をたずねたところ、「特に利用する必要がない」が49.6%と最も多く、次いで「利用手続きが煩雑である」が25.3%、「利用料がかかる」が12.7%となっている。



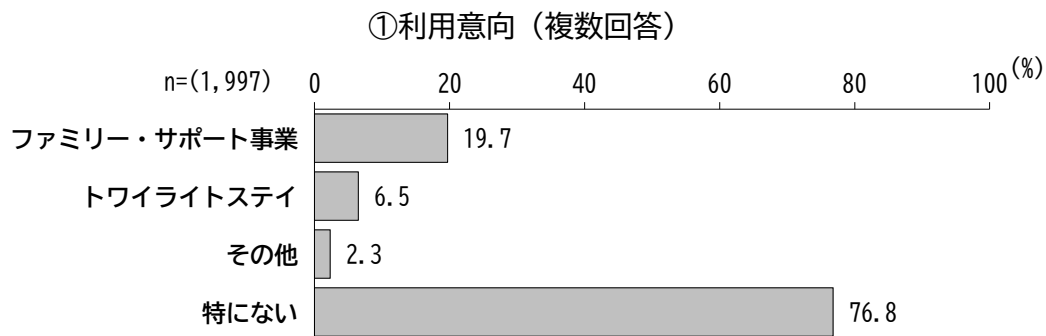
(4) 一時預かり事業等の利用意向、利用希望日数

問16 あて名のお子さんについて、私用、冠婚葬祭、不定期の就労等の目的で今後、不定期に利用したい事業はありますか。(あてはまる選択肢すべてに回答)

利用したい場合、1年間の希望日数(おおよそ)を記入してください。

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

一時預かり事業の利用意向をみると、「特にない」が76.8%であり、利用意向のある事業を具体的にみると「ファミリー・サポート事業」が19.7%と最も多く、次いで「トワイライトステイ」が6.5%となっている。利用希望日数(年間)の平均をみると、「ファミリー・サポート事業」が12.7日、「トワイライトステイ」が8.3日となっている。



②利用希望日数

(単位:%)

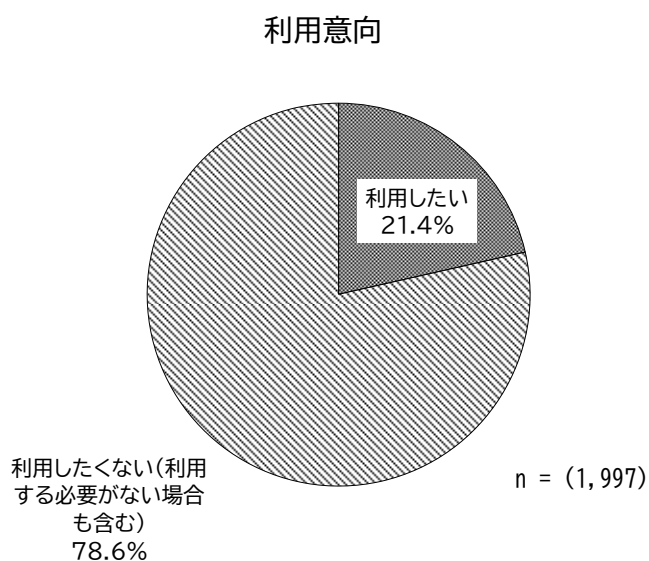
	回答者数(人)	1 ～ 4 日	5 ～ 9 日	10 ～ 19 日	20 ～ 29 日	30 日 以上	平均 日数 (日)
ファミリー・サポート事業	394	34.0	25.4	26.4	4.6	9.6	12.7
トワイライトステイ	130	46.2	28.5	16.9	5.4	3.1	8.3
その他	45	31.1	26.7	31.1	-	11.1	23.5

(5) ショートステイの利用希望

問17 あて名のお子さんについて、保護者の用事（出張、保護者・家族の病気、育児疲れや育児不安など）により、泊りがけで家族以外に預ける必要がある場合、ショートステイを利用したいと思いますか。（回答は1つ）

※事業の利用には、一定の利用料がかかります。

ショートステイの利用意向をみると、「利用したい」が21.4%、「利用したくない（利用する必要がある場合も含む）」が78.6%となっている。



子どもの学年別にみると、「利用したい」は「小学2年生」で26.1%と最も多くなっている。

就労形態からみた家庭類型別にみると、「利用したい」は「ひとり親」で32.2%と最も多くなっている。

利用意向

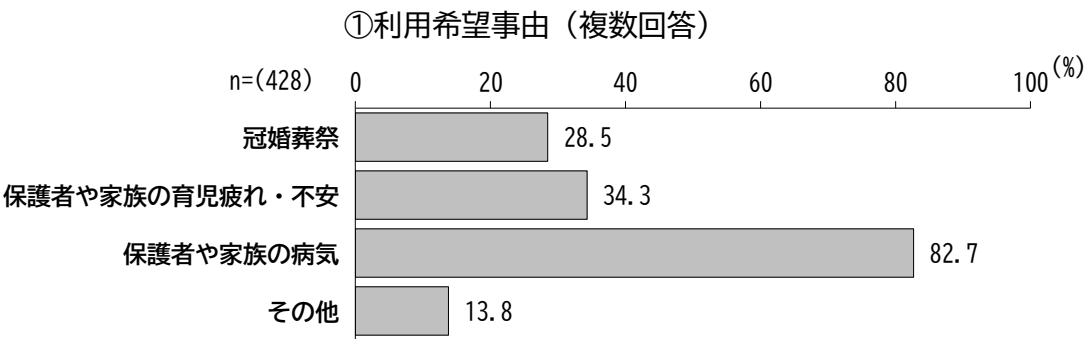
(単位:%)

		回答者数 (人)	利用したい	が利用したくない (場合も含む) (利用する必要)
全 体		1,997	21.4	78.6
子 ど も の 学 年 別	小学1年生	382	22.8	77.2
	小学2年生	371	26.1	73.9
	小学3年生	329	19.1	80.9
	小学4年生	324	19.4	80.6
	小学5年生	303	18.8	81.2
	小学6年生	288	21.2	78.8
就 家 庭 形 態 に 別 よ る	ひとり親	90	32.2	67.8
	フルタイム共働き	897	22.0	78.0
	フルタイム・パート共働き	553	21.0	79.0
	専業主婦(夫)	439	18.9	81.1
	パートタイム共働き	12	25.0	75.0
	夫婦とも無業	5	-	100.0
	その他	1	-	100.0

(6) ショートステイの利用希望事由と必要泊数

問17で「利用したい」と回答した方に伺います。
問17-1 どのような時にショートステイを利用したいと思いますか。
(あてはまる選択肢すべてに回答)
利用したい場合、1年間で必要な泊数(おおよそ)を記入してください。(数字を記入)

ショートステイの利用希望事由をみると、「保護者や家族の病気」が82.7%と最も多く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」が34.3%、「冠婚葬祭」が28.5%となっている。
必要泊数(年間)の平均をみると、「保護者や家族の病気」が4.6日、「保護者や家族の育児疲れ・不安」が4.4日、「冠婚葬祭」が2.0日となっている。



②必要泊数

(単位: %)

	回答者数 (人)	1 ~ 2 日	3 ~ 4 日	5 ~ 9 日	10 ~ 19 日	20 日 以上	平均 日数 (日)
冠婚葬祭	122	82.8	7.4	7.4	2.5	-	2.0
保護者や家族の育児疲れ・不安	147	53.1	14.3	17.0	12.9	2.7	4.4
保護者や家族の病気	354	38.1	22.6	28.2	8.5	2.5	4.6
その他	59	35.6	28.8	20.3	10.2	5.1	5.4

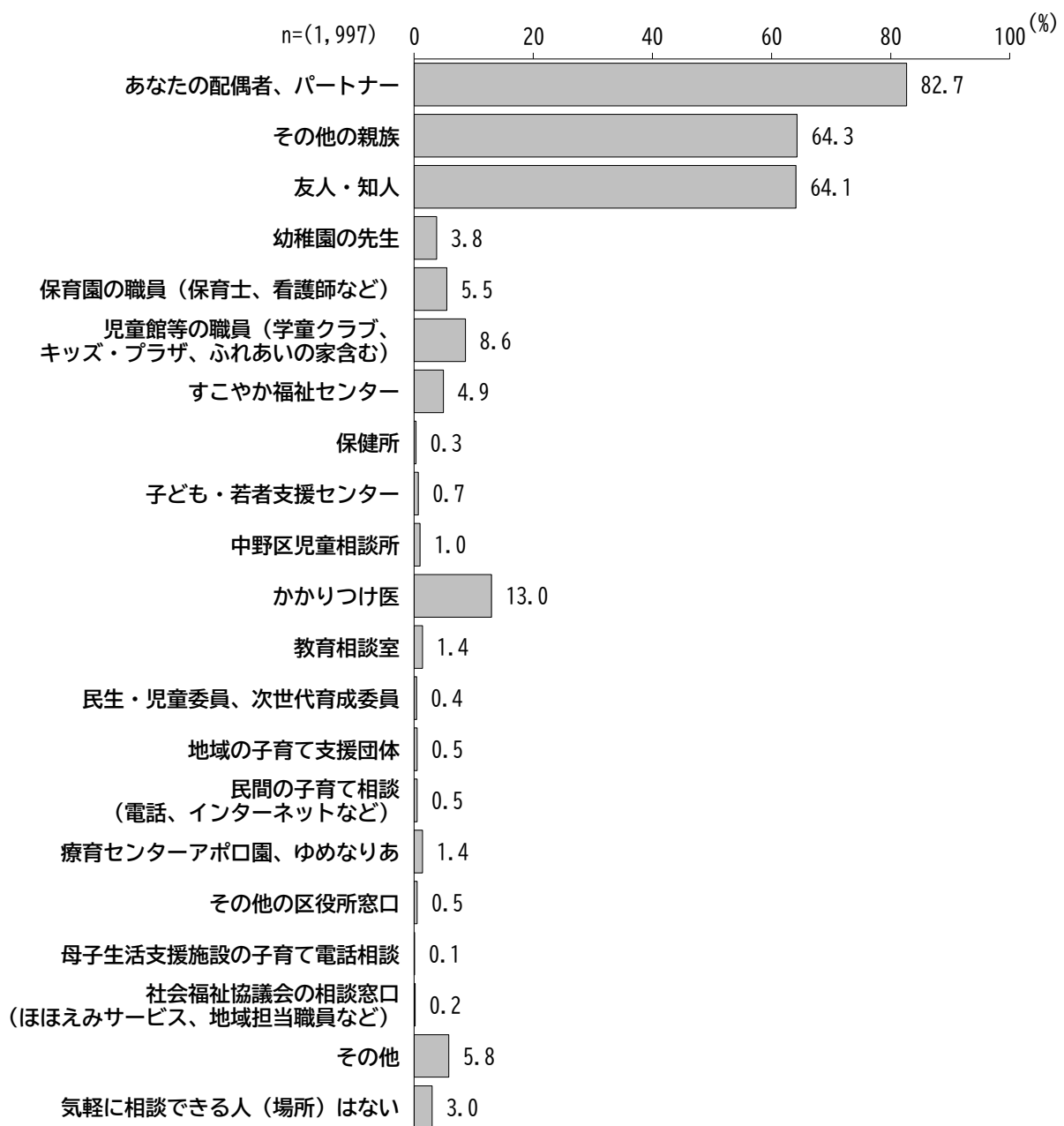
5. 子育て支援事業全般

(1) 子育てについて気軽に相談できる人、相談先の有無

問18 あて名のお子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所がありますか。
(あてはまる選択肢すべてに回答)

子育てや教育に関して気軽に相談できる人や場所は、「あなたの配偶者、パートナー」が82.7%と最も多く、次いで「その他の親族」が64.3%、「友人・知人」が64.1%となっている。

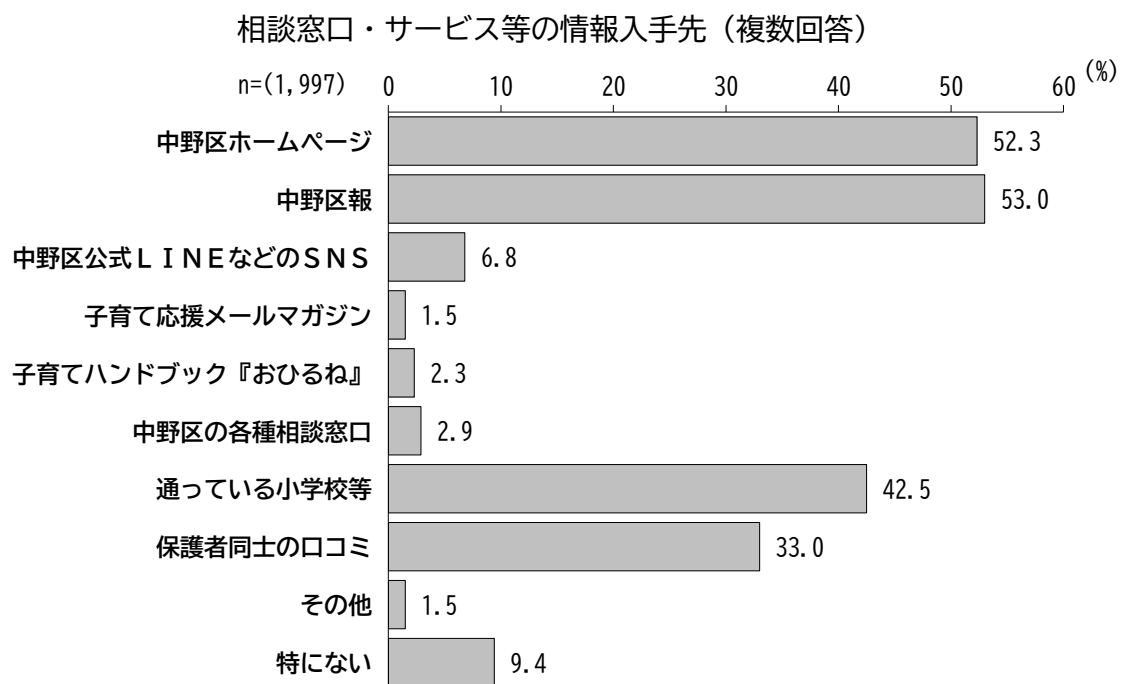
子育てについて気軽に相談できる人、相談先の有無（複数回答）



(2) 相談窓口・サービス等の情報入手先

問19 区内の相談窓口・サービス等に関する情報は、どのような方法で入手していますか。
(あてはまる選択肢すべてに回答)

情報の入手方法をみると、「中野区報」が53.0%と最も多く、次いで「中野区ホームページ」が52.3%、「通っている小学校等」が42.5%となっている。

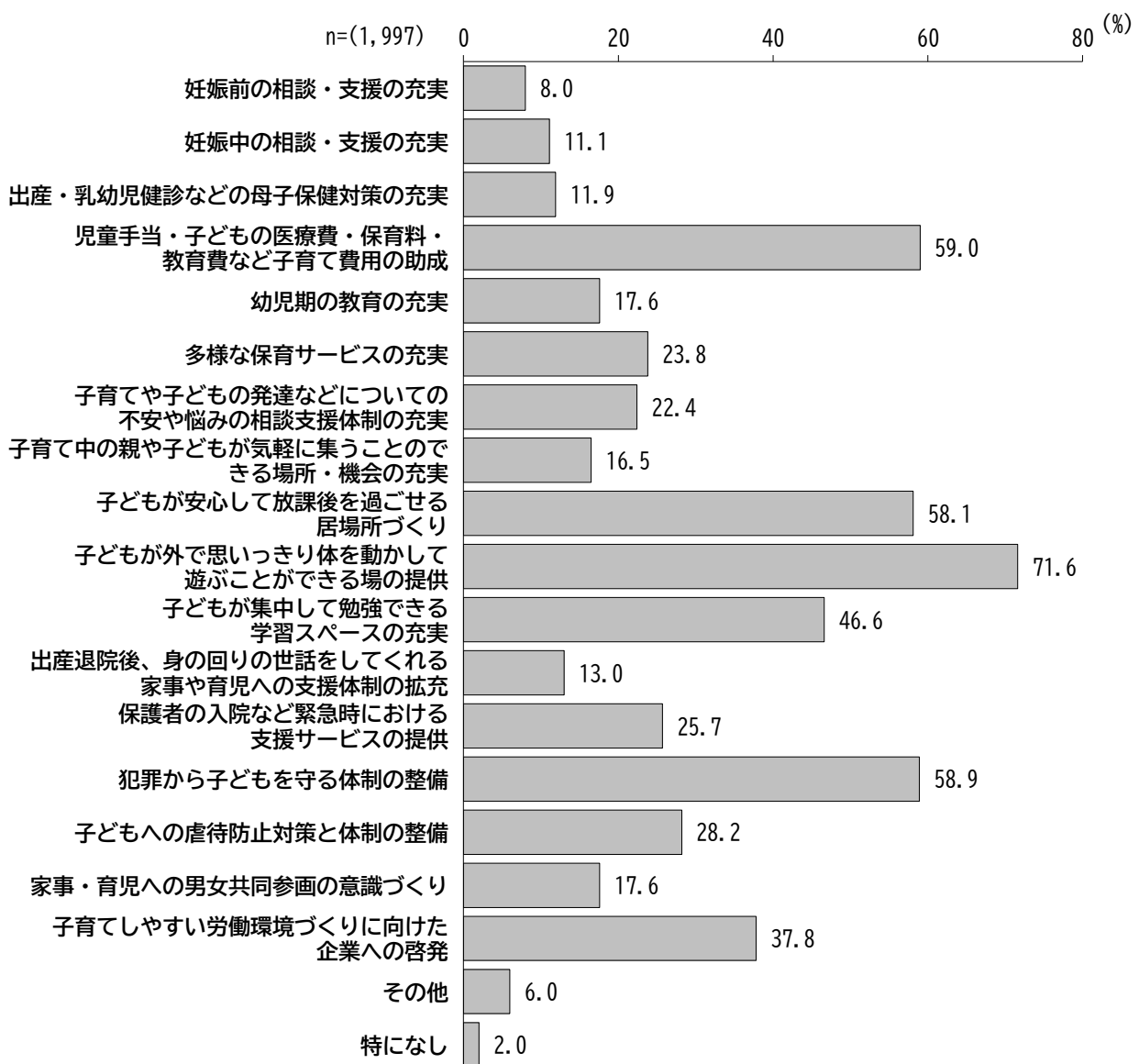


(3) 子育て支援策として望むこと

問20 今後、子育て支援策として、どのようなことを望みますか。
(あてはまる選択肢すべてに回答)

子育て支援策として望むことをみると、「子どもが外で思いっきり体を動かして遊ぶことができる場の提供」が71.6%と最も多く、次いで「児童手当・子どもの医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成」が59.0%、「犯罪から子どもを守る体制の整備」が58.9%、「子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり」が58.1%となっている。

子育て支援策として望むこと（複数回答）



(4) 子育て支援施策に関するご意見・ご要望について

問21 区の子育て支援施策に関するご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

(662人、延べ926件のご意見について分類・要約して記載)

1) 学童クラブについて 63件

- 学童クラブを増やしてほしい。
- 学童クラブを高学年まで利用できるようにしてほしい。
- 学童クラブにはもっと子育て経験者を入れて運営してもらいたい。
- 学童クラブが保育園のように20時まで預かり可能だと負担が減る。

2) 保育・教育・子育て支援サービスについて 127件

- ショートステイはすぐに対応してもらえず、使いづらい。
- ファミリー・サポート事業は登録者が少なく、地域によってはほとんど機能していないと思われる。代わりとなる実効性のある事業をすぐに始めてほしい。
- 病児・病後児保育が未就学児までではなく、せめて小学校低学年まで受け入れ可能だとい我想います。
- リフレッシュしたい時、20時か21時くらいまで預かってもらえる所やショートステイ、トワイライトステイの充実等をしてほしい。

3) 放課後の居場所・遊び場について 233件

- 児童館を子どもの居場所として残してほしい。地域の子どもが安心して、楽しく過ごせる場所になれば、もっと子どもが集まると思う。子どもにとって行きたいと思える場所となりうるように、工夫と環境整備が必要だと思う。
- 公園の規制が昔に比べて厳しくなっておりボールを使えない公園が多い。子どもたちがもっとのびのび遊べる場所を作ってもらいたい。
- 雨天時、猛暑時、土日祝日、子どもが身体を動かしてのびのび遊べる施設を作してほしい。
- 学年が上がると校内の学童クラブが利用できないが、小学生に長時間の留守番をさせるのは不安がある。共働きがスタンダードになった昨今、小学生の放課後の居場所の確保を考えてほしい。
- 子ども食堂の夜の見守り事業に助けられている。夫婦共に残業で遅くなる際に、軽食を出してくれて子どもが楽しめるワークショップをやってくれてかつ、無料で利用できる居場所があるととても助かる。
- 遊具が楽しい公園が増えたり、子ども同士の宿題、勉強スペースがある施設があったりしたら嬉しい。

4) 子育て環境について 107件

- 近くの公園で傷害事件があったり、不審者情報が毎週届くような状況のため、子どもを1人で遊びに行かせることに不安があります。子どもに対する防犯対策を強化していただければうれしいです。
- 健全なまちづくりのためのルールづくりと運用や助け合いなどが進み、もっと住みやすい町にしたい。
- 路上喫煙が最近明らかに増えているので、取り締まっていただきたい。喫煙をするために公園に来る方もいる。対策をしていただけると大変ありがたい。
- 通学路等にガードレールなどを設置してほしいです。歩道が狭いうえに、バスも通り交通量が多く、朝スピードを出している車も多いです。
- 地域住民への啓発もお願いします。必ずしも昔の経験や常識が今の子育て事情に合わないこともあり、近所の方のアドバイスも嫌味に聞こえ、逆に分断や孤立を深めているケースがありました。

5) 経済的負担の軽減・助成について 165件

- インフルエンザワクチンの助成金額を上げてほしい。
- 乳幼児、児童期だけでなく、中学高校期における助成金などの支援をしてほしい。
- 子どもが3人以上の多子世帯への支援を充実させてほしいです。
- 学校の教材費や給食費などの補助もあると大変助かります。
- ベビーシッター利用時の助成など子育て世帯への金銭的な補助は非常に助かります。

6) 小学校及び教育環境について 75件

- 現在の住所の小学校・中学校の学区の分け方に疑問があります。親の就労が当たり前になる中で子ども達の安全を第一に考えてほしい。
- 子どもが不登校の回復過程にあります。区の教育相談も利用していますが、そこに辿りつくまで、自分で情報を取りに行かなくてはならず、大変苦労いたしました。不登校の子ども、不登校の子を持つ親の相談先を教師やスクールカウンセラー、親にも周知できるような施策を望みます。
- 中野区は小学校の統廃合を進め過ぎたと思う。児童数と先生の割合はあっているのか。学習のサポートが適切に出来ているのか、虐待などの兆候に気付いているのか不安に思う子どもは多いと思う。
- 小学校より早く出勤する家庭としては30分くらい早く開校してくれると子どもに家の前で30分ほど待たせて出発させなくてよくなるので、早目に開校して子どもの安全を確保してほしい。
- 小1の壁だけでなく小4の壁問題の解消も急務だと考えています。

7) 小児医療体制の充実および障害児に対する支援について 34件

- 特別支援学校に通う児童も、地域のイベントの情報がほしい。
- 発達障害の有無に関係なく、一人ひとりに合わせた学習ができるように支援してほしい。
- 障害児と健常児が共生できる環境と社会意識の醸成が今後必要不可欠だと思います。そのために小・中学校から通常学校と支援学級、支援学校の壁を無くし、一緒に生活できる学校環境整備と積極的な交流機会を増やすような方針を区に考えてほしい。
- 発達障害のグレーゾーンの子ども達が増えています、その子ども達の通いやすい学校を考えてほしい。
- 働いていると子どもを予防接種に連れて行くことも難しく、輪番で夜間に接種できる病院を開けてもらえると嬉しいです。

8) 区の子育て支援策について 104件

- 土日の子ども向けイベントがあるとありがたいです。(料金が高いイベントや定員人数が少ないイベントだと申し込みしづらいです。)
- 子どもの権利条例の周知と条例を活かした子ども目線の支援をよろしくお願いします。
- 色々子育てサービスがあるそうですが、具体的に何があるか分かりません。妊娠のときに案内がありましたが、情報が多くて定期的に案内があればいいと思います。
- リタイアした世代をうまく活用して、子どもたちの安全確保(通学路での見守り)や学習サポートなども行っていただけるとよいのではと思います。
- 申請方法をオンライン化してほしい。すべての手続きの簡素化を願います。
- 父親の意識改革、男性(中高生も)への教育をしてほしい。妊娠期から、妊娠がどれだけ大変なことなのか、どれだけ女性の身体を削っているのか、ちゃんとした教育が大切です。
- 子育て支援に限りませんが、中野区のホームページをもっと見やすくしてほしいです。こういう内容はこの窓口で相談できる、というのをもっと具体的にわかりやすく記載してほしい。
- 日々、育児ストレスや、育児の悩みやちょっとした疑問、誰かに聞いてみたいことがたくさんある。すこやか福祉センターなど、相談窓口があることは知っているが、何となく電話しづらい。もっと気軽に相談やアドバイスを受けられる場があったらと思う。

9) その他 18件

- いくつかの選択肢で、親目線ではなく子どもの側からの意見次第なのではないかと違和感を覚えたものがありました。子どもの権利条例も制定されているので、大切にしてほしいと思います。
- 今回のアンケートの結果とこれを踏まえてどのような対策をとる予定なのか、フィードバックをお願いします。

第5章 資料（調査票）

1. 乳幼児調査

問番号	タイトル	設問文	選択肢
1. 基本属性			
問1	調査票の回答者	この調査にご回答いただく方は、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。（回答は1つ）	1. 父親 2. 母親 3. その他（ ）
問2	居住地区	お住まいの地域をお答えください。（回答は1つ、空欄内は数字を記入）	1. 南台（ ）丁目 2. 弥生町（ ）丁目 3. 本町（ ）丁目 4. 中央（ ）丁目 5. 東中野（ ）丁目 6. 中野（ ）丁目 7. 上高田（ ）丁目 8. 新井（ ）丁目 9. 沼袋（ ）丁目 10. 松が丘（ ）丁目 11. 江原町（ ）丁目 12. 江古田（ ）丁目 13. 丸山（ ）丁目 14. 野方（ ）丁目 15. 大和町（ ）丁目 16. 若宮（ ）丁目 17. 白鷺（ ）丁目 18. 鷺宮（ ）丁目 19. 上鷺宮（ ）丁目
問3	子どもの年齢	あて名のお子さんの生まれた年と月を記入してください。（数字を記入）	西暦（ ）年（ ）月生まれ
問4	子どもの主たる養育者	あて名のお子さんの子育てや教育を主に行っているのは、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。（回答は1つ）	1. 父母ともに 2. 主に父親 3. 主に母親 4. 主に祖父母 5. その他（ ）
2. 保護者の就労状況			
問5	父親の就労状況	あて名のお子さんの父親について、現在の就労状況をお答えください。（回答は1つ） ※フルタイム：1週5日以上・1日8時間程度の就労 パート・アルバイト等：フルタイム以外 ※育児・介護のために時短勤務をされている方は「1」をお選びください。	1. フルタイムで就労しており、育児・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しており、育児・介護休業中 3. パート・アルバイト等で就労しており、育児・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で就労しており、育児・介護休業中 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない 7. 父親はいない
問5-1	父親の就労日数・就労時間・前年度の年収	【問5で「1」～「4」（就労している）と回答した方に伺います。】 右記についてお答えください。 ※育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。 ※時間は、18時のように、24時間制で記入してください。 ※数字は半角数字で入力	①就労日数・就労時間 1週あたり（ ）日・1日あたり（ ）時間 ②前年度の年収（回答は1つ） 1. 200万円未満 2. 200万円以上400万円未満 3. 400万円以上600万円未満 4. 600万円以上800万円未満 5. 800万円以上1,000万円未満 6. 1,000万円以上
問5-2	パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望	【問5で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）と回答した方に伺います。】 フルタイム（1週5日以上・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（回答は1つ）	1. 転換希望があり、実現できる見込みがある 2. 転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等で働き続けたい 4. 仕事をやめて子育てや家事に専念したい
問5-3	未就労者の就労希望	【問5で「5」または「6」（就労していない）と回答した方に伺います。】 就労したいという希望はありますか。（回答は1つ、空欄内は数字を記入） ※数字は半角数字で入力	1. 子育てや家事などに専念したい（就労希望はない） 2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
問5-4	1年以内に就労意向のある未就労者の希望就労形態・就労日数・就労時間	【問5-3で「2」または「3」と回答した方に伺います。】 希望する就労形態をお答えください。「2」の場合は、希望する就労日数・就労時間をお答えください。（回答は1つ、空欄内は数字を記入）	1. フルタイム 2. パート・アルバイト等⇒1週あたり（ ）日・1日あたり（ ）時間
問6	母親の就労状況	あて名のお子さんの母親について、現在の就労状況をお答えください。（回答は1つ）	1. フルタイムで就労しており、産休・育児・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しており、産休・育児・介護休業中 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育児・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育児・介護休業中 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない 7. 母親はいない
問6-1	母親の就労日数・就労時間・前年度の年収	【問6で「1」～「4」（就労している）と回答した方に伺います。】 右記についてお答えください。 ※産休・育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。 ※時間は、18時のように、24時間制で記入してください。 ※数字は半角数字で入力	①就労日数・就労時間 1週あたり（ ）日・1日あたり（ ）時間 ②前年度の年収（回答は1つ） 1. 200万円未満 2. 200万円以上400万円未満 3. 400万円以上600万円未満 4. 600万円以上800万円未満 5. 800万円以上1,000万円未満 6. 1,000万円以上
問6-2	パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望	【問6で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）と回答した方に伺います。】 フルタイム（1週5日以上・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（回答は1つ）	1. 転換希望があり、実現できる見込みがある 2. 転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等で働き続けたい 4. 仕事をやめて子育てや家事に専念したい
問6-3	未就労者の就労希望	【問6で「5」または「6」（就労していない）と回答した方に伺います。】 就労したいという希望はありますか。（回答は1つ、空欄内は数字を記入）	1. 子育てや家事などに専念したい（就労希望はない） 2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
問6-4	1年以内に就労意向のある未就労者の希望就労形態・就労日数・就労時間	【問6-3で「2」または「3」と回答した方に伺います。】 希望する就労形態をお答えください。「2」の場合は、希望する就労日数・就労時間をお答えください。（回答は1つ、空欄内は数字を記入）	1. フルタイム 2. パート・アルバイト等⇒1週あたり（ ）日・1日あたり（ ）時間

第5章 資料（調査票）

問番号	タイトル	設問文	選択肢
3. 平日の定期的な保育サービスの利用状況			
問7	定期的に利用している教育・保育事業の利用の有無	※「定期的な」とは、月単位で定期的に利用していることを指します。具体的には、幼稚園や保育園など、表に示した事業が含まれます。 あて名のお子さんは現在、平日に幼稚園や保育施設等を定期的に利用していますか。（回答は1つ）	1. 利用している 2. 利用していない
問8	定期的に利用している教育・保育事業	【問7で「1」と回答した方に伺います。】 平日にどのような幼稚園や保育施設等を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（主に利用しているもの1つに回答） ※各事業の詳細は「中野区で実施している主な子ども・子育て支援事業」をご覧ください。	1. 幼稚園（通常の時間のみ） 2. 幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用） 3. 認可保育所（区立・私立保育園） 4. 認証保育所 5. 小規模保育事業 6. 家庭的保育事業 7. 認定こども園（幼稚園枠・短時間利用） 8. 認定こども園（保育園枠・長時間利用） 9. 勤務先の保育施設 10. ベビーシッター 11. ベビーホテルなど 12. その他（ ）
問9	教育・保育事業の利用頻度と利用希望頻度	【問7で「1」と回答した方に伺います。】 1週あたりの利用日数・1日の利用時間帯をお答えください。（数字を記入） ※時間は、18時のように、24時間制で記入してください。 ※数字は半角数字で入力	①現在 1週あたり（ ）日・1日のうち（ ）時～（ ）時まで ②希望 1週あたり（ ）日・1日のうち（ ）時～（ ）時まで
問10	病気等で教育・保育事業を利用できなかった経験	この1年間に、あて名のお子さんの病気やけがにより、定期的に利用している幼稚園や保育施設等が利用できなかったことはありますか。（回答は1つ）	1. あった 2. なかった
問10-1	利用できなかった場合の対処と日数	【問10で「1」（あった）と回答した方に伺います。】 この1年間に行った対処方法をお答えください。また、その日数（おおよそ）を記入してください。あてはまる選択肢すべてに回答、数字を記入 ※半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。 ※数字は半角数字で入力	1. 父親が仕事を休んだ 年間（ ）日 2. 母親が仕事を休んだ 年間（ ）日 3. 親族・知人に子どもをみてもらった 年間（ ）日 4. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた 年間（ ）日 5. 病児・病後児保育を利用した 年間（ ）日 6. ベビーシッターを利用した 年間（ ）日 7. ファミリー・サポート事業を利用した 年間（ ）日 8. 子連れで仕事をした（在宅勤務等を含む） 年間（ ）日 9. その他（ ） 年間（ ）日
問10-2	病児・病後児保育施設の利用意向、利用希望日数	【問10-1で「5」（病児・病後児保育を利用した）以外を回答した方に伺います。】 「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」と思いますが。1つに回答をし、希望する場合は利用したい日数を記入してください。 ※事業の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要です。 ※実施日時等は「中野区で実施している主な子ども・子育て支援事業」をご覧ください。 ※数字は半角数字で入力	1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい⇒年間（ ）日 2. 利用したいと思わない
問10-3	病児・病後児保育施設の利用を希望しない理由	【問10-2で「2」（利用したいと思わない）と回答した方に伺います。】 利用したいと思わない理由は何ですか。（あてはまる選択肢すべてに回答）	1. 親が仕事を休んで対応したい 2. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安 3. サービスの内容・質に不安がある 4. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない 具体的⇒（ ） 5. 利用料が高い 6. 利用手続きが煩雑である 7. その他（ ）
4. 定期的な保育サービスの利用希望			
問11	定期的に利用したいと考える教育・保育事業	あて名のお子さんの平日の幼稚園や保育施設等として、現在の利用状況にかかわらず、利用したい事業をお答えください。（あてはまる選択肢すべてに回答） ※各事業の詳細は「中野区で実施している主な子ども・子育て支援事業」をご覧ください。	1. 幼稚園（通常の時間のみ） 2. 幼稚園（幼稚園の預かり保育も利用） 3. 認可保育所（区立・私立保育園） 4. 認証保育所 5. 小規模保育事業 6. 家庭的保育事業 7. 認定こども園（幼稚園枠・短時間利用） 8. 認定こども園（保育園枠・長時間利用） 9. 勤務先の保育施設 10. その他（ ）
問12	日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用意向、利用希望時間帯	あて名のお子さんについて、日曜日・祝日に、定期的に幼稚園や保育施設等の利用を希望しますか（一時的な利用は除きます）。（回答は1つ） 希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。 ※事業の利用には、一定の利用料がかかります。 ※時間は、18時のように、24時間制で記入してください。 ※数字は半角数字で入力	1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎週利用したい 利用したい時間帯：（ ）時～（ ）時まで 3. 月に1～2回利用したい 利用したい時間帯：（ ）時～（ ）時まで
問13	幼稚園の長期休暇中の教育・保育事業の利用意向、利用希望時間帯	【問11で平日に利用を希望する幼稚園や保育施設等として、「1」（幼稚園（通常の時間のみ））と回答した方に伺います。】 あて名のお子さんについて、夏休み・冬休み等に、幼稚園の利用を希望しますか。（回答は1つ） 希望する場合は、利用したい時間帯を記入してください。 ※時間は、18時のように、24時間制で記入してください。 ※数字は半角数字で入力	1. 利用する必要はない 2. ほぼ毎日利用したい 利用したい時間帯：（ ）時～（ ）時まで 3. 週に数日利用したい 利用したい時間帯：（ ）時～（ ）時まで
問14	未就園児の定期預かり事業の利用希望	【問7で「2」（平日に幼稚園や保育施設等を定期的に利用していない）と回答した方に伺います。】 就労条件を問わず、未就園のお子さんを週1～2回保育園に預けられる制度ができた場合、その制度を利用したいと思いますか。（回答は1つ）	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない

問番号	タイトル	設問文	選択肢
5. 不定期な保育サービス			
問15	不定期に利用している事業（一時預かり等）の利用状況と利用日数	あて名のお子さんについて、私用、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（あてはまる選択肢すべてに回答） また、不定期に利用している事業の1年間の利用日数（おおよそ）を記入してください。 ※数字は半角数字で入力	1. 保育園の一時保育（月曜日から土曜日の利用） 年間（ ）日 2. 児童館における一時預かり 年間（ ）日 3. 保育園の短期特例保育 年間（ ）日 4. 幼稚園の預かり保育（定期利用を除いたスポット利用のみ） 年間（ ）日 5. ファミリー・サポート事業 年間（ ）日 6. トワイライトステイ 年間（ ）日 7. ベビーシッター 年間（ ）日 8. その他（ ） 年間（ ）日 9. 利用していない
問16	一時預かり事業等の利用希望事由	どのような時に、お子さんを一時的に預かる事業（問15の1～7の事業）を利用したいと思いませんか。（あてはまる選択肢すべてに回答）	1. 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的 2. 冠婚葬祭、学校行事、家族の通院等 3. 不特定の就労 4. 保護者の入院や病気 5. その他（ ） 6. 利用したいと思わない
問17	利用していない理由	【問16で「6」（利用したいと思わない）と回答した方に伺います。】 利用したいと思わない理由は何ですか。（あてはまる選択肢すべてに回答）	1. サービスの内容・質に不安がある 2. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない 具体的に⇒（ ） 3. 利用料が高い 4. 利用手続きが煩雑である 5. その他（ ） 6. 特に利用する必要がない 7. 事業について知らなかった
問17-1	一時預かり事業等の利用希望日数	【問16で「6」（利用したいと思わない）と回答した方以外に伺います。】 利用したいと考える事業と必要な日数（おおよそ）を記入してください。（第3希望まで選べます） ※事業の利用には、一定の利用料がかかります。	①第1希望 年間（ ）日 ②第2希望 年間（ ）日 ③第3希望 年間（ ）日 1. 保育園の一時保育 年間（ ）日 2. 児童館における一時預かり 年間（ ）日 3. 短期特例保育 年間（ ）日 4. 幼稚園の預かり保育 年間（ ）日 5. ファミリー・サポート事業 年間（ ）日 6. トワイライトステイ 年間（ ）日 7. ベビーシッター 年間（ ）日 8. その他（ ） 年間（ ）日 9. 希望するものはない ※第2希望、第3希望のみ表示
問18	ベビーシッターの利用希望	区では、一時的に保育が必要となった保護者等に対し、ベビーシッター利用料の一部を補助しています。現在、保育施設や幼稚園に通っていない方のみが対象ですが、補助があった場合、あなたはベビーシッターを利用したいですか。（回答は1つ）	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
問19	ショートステイの利用希望	あて名のお子さんについて、保護者の用事（出張、保護者・家族の病気、育児疲れや育児不安など）により、泊りがけで家族以外に預ける必要がある場合、ショートステイを利用したいと思いませんか。（回答は1つ） ※事業の利用には、一定の利用料がかかります。 ※実施日時等は「中野区で実施している主な子ども・子育て支援事業」をご覧ください。	1. 利用したい 2. 利用したくない（利用する必要がない場合も含む）
問19-1	ショートステイの利用希望事由と必要泊数	【問19で「1」（利用したい）と回答した方に伺います。】 どのような時にショートステイを利用したいと思いませんか。（あてはまる選択肢すべてに回答） 利用したい場合、1年間で必要な泊数（おおよそ）を記入してください。（数字を記入） ※数字は半角数字で入力	1. 冠婚葬祭 （ ）泊 2. 保護者や家族の育児疲れ・不安 （ ）泊 3. 保護者や家族の病気 （ ）泊 4. その他（ ） （ ）泊
6. 子育てひろば			
問20	子育てひろばの利用状況	あて名のお子さんは、現在、子育てひろばを利用していますか。（回答は1つ）	1. 利用している 2. 利用していない
問20-1	子育てひろばの1月あたりの利用回数	【問20で「1」（利用している）と回答した方に伺います。】 子育てひろばの利用頻度はどのくらいですか。おおよその利用回数（頻度）を記入してください。（数字を記入）	1週あたり（ ）回 もしくは 1か月あたり（ ）回程度
問21	子育てひろばを利用していない理由	【問20で「2」（利用していない）と回答した方に伺います。】 利用していない理由を教えてください。（あてはまる選択肢すべてに回答）	1. 幼稚園や保育施設等に通っており、時間がない 2. 通いやすい場所がない 3. 子育てひろばについて知らなかった 4. その他（ ）
問22	子育てひろばの利用意向、1月あたりの利用希望回数	子育てひろばについて、今後の利用意向を伺います。（回答は1つ） 希望する場合は、おおよその利用回数（頻度）を記入してください。	1. 今の利用でちょうど良い 2. 現在は利用していないが、今後利用したい 1週あたり（ ）回 もしくは 1か月あたり（ ）回程度 3. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい 1週あたり（ ）回 もしくは 1か月あたり（ ）回程度 4. 利用したいとは思わない

第5章 資料（調査票）

問番号	タイトル	設問文	選択肢
7. 学童クラブ（5歳のみ）			
問23	小学校の子どもの放課後の過ごし方の希望、1週あたりの希望日数	【宛名のお子さんが現在5歳児クラス（年長クラス）に在籍している方のみ回答してください※お子さんが5歳児クラス以外の人は回答せずに次へボタンを押してください。】 あて名のお子さんについて、小学校になったら、放課後をどこで過ごさせたいと思いますか。あてはまる選択肢すべてに回答をし、希望する日数を記入してください。「4. 学童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も、18時のように24時間制で記入してください。 ※学童クラブ、ファミリー・サポート事業の利用には、一定の利用料がかかります。	①低学年（1～3年生） ②高学年（4～6年生） 1. 自宅 週（ ）日 2. 祖父母宅や友人・知人宅 週（ ）日 3. 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など） 週（ ）日 4. 学童クラブ 週（ ）日、 下校時から（ ）時まで 5. 児童館（ふれあいの家含む） 週（ ）日 6. キッズ・プラザ 週（ ）日 （学童クラブとは異なる学校内の放課後の児童の居場所です。放課後から午後6時まで。 おやつは出ません。） 7. 放課後子ども教室 週（ ）日 8. ファミリー・サポート事業 週（ ）日 9. その他（公園、図書館など） 週（ ）日 10. 特になし
問24	希望する子どもの放課後の過ごし方	【問23で「4」（学童クラブ）と「6」（キッズ・プラザ）の両方を選んだ方に伺います。】 お子さんが過ごす場所として希望する居場所を希望する順に記入してください。（第3希望まで選べます）	①第1希望 ②第2希望 ③第3希望 1. 区立学童クラブ（学校内で実施） 2. 区立学童クラブ（児童館内で実施） 3. 民設民営学童クラブ 4. キッズ・プラザ 5. 希望するものはない ※第2希望、第3希望のみ表示
8. 育児休業等、職場の両立支援の状況			
問25	育児休業の取得の有無と取得しなかった場合の理由	あて名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。①父親、②母親それぞれ1つに回答をしてください。取得していない方はその理由を回答してください。（あてはまる選択肢すべてに回答）	■育児休業の取得の有無 ①父親 ②母親 1. 働いていなかった 2. 取得した 3. 取得中である 4. 取得しなかった ■育児休業を取得しなかった理由（あてはまる選択肢すべてに回答） ①父親 ②母親 1. 配偶者が育児休業制度を利用した 2. 職場に育児休業制度がなかった（就業規則に定めがなかった） 3. 職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった 4. 育児休業を取得できることを知らなかった 5. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず退職した 6. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 7. 育児休業をすると保育園等に預けるのが難しかった 8. 仕事が忙しかった 9. 仕事に早く復帰したかった 10. 休むと仕事に戻るのが難しそうだった 11. 昇給・昇格などが遅れそうだった 12. 収入が減り、経済的に苦しくなる 13. 保育園などに預けることができた 14. 配偶者が就労していない、祖父母等の親族にみてもらえるなど必要がなかった 15. 子育てや家事に専念するため退職した 16. その他（ ）
問26	必ず希望の施設に入れる場合の3歳までの育児休業取得意向	【問25で「取得した」または「取得中」と回答した方へ伺います。】 仕事に復帰した際に、必ず希望の保育施設等に入れるとしたら、いつまで育児休業を取得したい（または取得したかった）ですか。（回答は1つ、希望の復帰時期をお答えください。）	①父親 ②母親 1. 子どもが1歳になるまで 2. 子どもが2歳になるまで 3. 子どもが3歳になるまで 4. その他（ ）
9. 子育て全般			
問27	平日に子どもと接する現状・理想の時間	平日にあて名のお子さんと接する時間は、どのくらいありますか。また、その時間はどのくらいが理想だと思っていますか。①父親、②母親それぞれ1つに回答をしてください。 ※接する時間とはお子さんが起きている時間を指します。	■現状 ①父親 ②母親 1. ほとんどない 2. 30分くらい 3. 1時間くらい 4. 2時間くらい 5. 3時間くらい 6. 4時間以上 ■理想 ①父親 ②母親 1. 30分くらい 2. 1時間くらい 3. 2時間くらい 4. 3時間くらい 5. 4時間以上

問番号	タイトル	設問文	選択肢
9. 子育て全般			
問28	子育てについて気軽に相談できる人の有無、子育てに関する相談先	あて名のお子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所がありますか。（あてはまる選択肢すべてに回答）	1. あなたの配偶者、パートナー 2. その他の親族 3. 友人・知人 4. 幼稚園の先生 5. 保育園の職員（保育士、看護師など） 6. 児童館等の職員（学童クラブ、キッズ・プラザ、ふれあいの家含む） 7. すこやか福祉センター 8. 保健所 9. 子ども・若者支援センター 10. 中野区児童相談所 11. かかりつけ医 12. 教育相談室 13. 民生・児童委員、次世代育成委員 14. 地域の子育て支援団体 15. 民間の子育て相談（電話、インターネットなど） 16. 療育センターアポロ園、ゆめなりあ 17. その他の区役所窓口 18. 母子生活支援施設の子育て電話相談 19. 社会福祉協議会の相談窓口（ほほえみサービス、地域担当職員など） 20. その他（ ） 21. 気軽に相談できる人（場所）はない
問29	相談窓口・サービス等の情報入手先	区内の相談窓口・サービス等に関する情報は、どのような方法で入手していますか。（あてはまる選択肢すべてに回答）	1. 中野区ホームページ 2. 中野区報 3. 中野区公式LINEなどのSNS 4. 子育て応援メールマガジン 5. 子育てハンドブック『おひるね』 6. 中野区の各種相談窓口 7. 通っている幼稚園・保育施設等 8. 保護者同士の口コミ 9. その他（ ） 10. 特になし
問30	子育て支援策として望むこと	今後、子育て支援策として、どのようなことを望みますか。（あてはまる選択肢すべてに回答）	1. 妊娠前の相談・支援の充実 2. 妊娠中の相談・支援の充実 3. 出産・乳幼児健診などの母子保健対策の充実 4. 児童手当・子どもの医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成 5. 幼児期の教育の充実 6. 多様な保育サービスの充実 7. 子育てや子どもの発達などについての不安や悩みの相談支援体制の充実 8. 子育て中の親や子どもが気軽に集うことのできる場所・機会の充実 9. 子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり 10. 子どもが外で思いっきり体を動かして遊ぶことができる場の提供 11. 子どもが集中して勉強できる学習スペースの充実 12. 出産退院後、身の回りの世話をしてくれる家事や育児への支援体制の拡充 13. 保護者の入院など緊急時における支援サービスの提供 14. 犯罪から子どもを守る体制の整備 15. 子どもへの虐待防止対策と体制の整備 16. 家事・育児への男女共同参画の意識づくり 17. 子育てしやすい労働環境づくりに向けた企業への啓発 18. その他（ ） 19. 特になし
問31	子育て支援施策に関するご意見・ご要望について（自由記入）	区の子育て支援策に関するご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。	

2. 就学児童調査

問番号	タイトル	設問文	選択肢
1. 基本属性			
問1	調査票の回答者	この調査にご回答いただく方は、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。（回答は1つ）	1. 父親 2. 母親 3. その他（ ）
問2	居住地区	お住まいの地域をお答えください。（回答は1つ、空欄は数字を記入） ※数字は半角数字で入力	1. 南台（ 丁目） 8. 新井（ 丁目） 14. 野方（ 丁目） 2. 弥生町（ 丁目） 9. 沼袋（ 丁目） 15. 大和町（ 丁目） 3. 本町（ 丁目） 10. 松が丘（ 丁目） 16. 若宮（ 丁目） 4. 中央（ 丁目） 11. 江原町（ 丁目） 17. 白鷺（ 丁目） 5. 東中野（ 丁目） 12. 江古田（ 丁目） 18. 鷺宮（ 丁目） 6. 中野（ 丁目） 13. 丸山（ 丁目） 19. 上鷺宮（ 丁目） 7. 上高田（ 丁目）
問3	子どもの学年	あて名のお子さんの生まれた年と月を記入してください。（数字を記入） ※数字は半角数字で入力	西暦（ ）年（ ）月生まれ
問4	子どもの主たる養育者	あて名のお子さんの子育てや教育を主にしているのは、あて名のお子さんからみた続柄でどなたですか。（回答は1つ）	1. 父母ともに 2. 主に父親 3. 主に母親 4. 主に祖父母 5. その他（ ）
2. 保護者の就労状況			
問5	父親の就労状況	あて名のお子さんの父親について、現在の就労状況をお答えください。（回答は1つ） ※フルタイム：1週5日以上・1日8時間程度の就労 パート・アルバイト等：フルタイム以外 ※育児・介護のために時短勤務をされている方は「1」をお選びください	1. フルタイムで就労しており、育児・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しており、育児・介護休業中 3. パート・アルバイト等で就労しており、育児・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で就労しており、育児・介護休業中 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない 7. 父親はいない
問5-1	父親の就労日数・就労時間・前年度の年収	【問5で「1」～「4」（就労している）と回答した方に伺います。】 右記についてお答えください。 ※育児・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。 ※時間は、18時のように、24時間制で記入してください。 ※数字は半角数字で入力	①就労日数・就労時間 1週あたり（ ）日・1日あたり（ ）時間 ②前年度の年収（回答は1つ） 1. 200万円未満 3. 400万円以上600万円未満 5. 800万円以上1,000万円未満 2. 200万円以上400万円未満 4. 600万円以上800万円未満 6. 1,000万円以上
問5-2	パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望	【問5で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）と回答した方に伺います。】 フルタイム（1週5日以上・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（回答は1つ）	1. 転換希望があり、実現できる見込みがある 2. 転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等で働き続けたい 4. 仕事をやめて子育てや家事に専念したい
問5-3	未就労者の就労希望	【問5で「5」または「6」（就労していない）と回答した方に伺います。】 就労したいという希望はありますか。（回答は1つ、空欄内は数字を記入） ※数字は半角数字で入力	1. 子育てや家事などに専念したい（就労希望はない） 2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
問5-4	1年以内に就労意向のある未就労者の希望就労形態・就労日数・就労時間	【問5-3で「2」または「3」と回答した方に伺います。】 希望する就労形態をお答えください。「2」の場合は、希望する就労日数・就労時間をお答えください。（回答は1つ、空欄内は数字を記入）	1. フルタイム 2. パート・アルバイト等⇒1週あたり（ ）日・1日あたり（ ）時間
問6	母親の就労状況	あて名のお子さんの母親について、現在の就労状況をお答えください。（回答は1つ）	1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中 3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない 7. 母親はいない
問6-1	母親の就労日数・就労時間・前年度の年収	【問6で「1」～「4」（就労している）と回答した方に伺います。】 右記についてお答えください。 ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。 ※時間は、18時のように、24時間制で記入してください。 ※数字は半角数字で入力	①就労日数・就労時間 1週あたり（ ）日・1日あたり（ ）時間 ②前年度の年収（回答は1つ） 1. 200万円未満 3. 400万円以上600万円未満 5. 800万円以上1,000万円未満 2. 200万円以上400万円未満 4. 600万円以上800万円未満 6. 1,000万円以上
問6-2	パートタイム就労者のフルタイムへの転換希望	【問6で「3」または「4」（パート・アルバイト等で就労している）と回答した方に伺います。】 フルタイム（1週5日以上・1日8時間程度の就労）への転換希望はありますか。（回答は1つ）	1. 転換希望があり、実現できる見込みがある 2. 転換希望はあるが、実現できる見込みはない 3. パート・アルバイト等で働き続けたい 4. 仕事をやめて子育てや家事に専念したい
問6-3	未就労者の就労希望	【問6で「5」または「6」（就労していない）と回答した方に伺います。】 就労したいという希望はありますか。（回答は1つ、空欄内は数字を記入）	1. 子育てや家事などに専念したい（就労希望はない） 2. 1年より先、一番下の子どもが（ ）歳になった頃就労したい 3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
問6-4	1年以内に就労意向のある未就労者の希望就労形態・就労日数・就労時間	【問6-3で「2」または「3」と回答した方に伺います。】 希望する就労形態をお答えください。「2」の場合は、希望する就労日数・就労時間をお答えください。（回答は1つ、空欄内は数字を記入）	1. フルタイム 2. パート・アルバイト等⇒1週あたり（ ）日・1日あたり（ ）時間

問番号	タイトル	設問文	選択肢
3. 放課後の過ごし方			
問7	子どもの放課後の過ごし方、日数	あて名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどこで過ごしていますか。（あてはまる選択肢すべてに回答） また、週あたりの利用日数を記入してください。 ※数字は半角数字で入力	1. 自宅 週（ ）日 2. 祖父母や友人・知人宅 週（ ）日 3. 習い事（ピアノ教室、スポーツクラブ、学習塾など） 週（ ）日 4. 学童クラブ 週（ ）日 5. 児童館（ふれあいの家含む） 週（ ）日 6. キッズ・プラザ 週（ ）日 7. 放課後子ども教室 週（ ）日 8. ファミリー・サポート事業 週（ ）日 9. その他（公園、図書館など） 週（ ）日
問7-1	学童クラブの利用状況	【問7の放課後で過ごしている場所で「4」（学童クラブ）に回答をした方に伺います。】 ①放課後（平日の小学校終了後）、②土曜日の利用状況をお答えください。 ※時間は18時のように、24時間制で記入してください。 ※数字は半角数字で入力	①放課後（平日の小学校終了後） 下校から（ ）時まで ②土曜日 1. 利用している（ ）時～（ ）時 2. 利用していない
問8	学童クラブの利用希望	あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、学童クラブの利用を希望しますか。（①放課後、②土曜日それぞれにつき回答は1つ） 希望する場合は、利用したい日数・時間帯を記入してください。 ※時間は、18時のように、24時間制で記入してください。 ※数字は半角数字で入力	①放課後 ②土曜日 ○低学年（1～3年生） ○高学年（4～6年生） 1. 利用したい 1週あたり（ ）日、（ ）時まで 2. 利用する必要はない 3. 現在高学年のため該当しない ※低学年のみ表示
問9	キッズ・プラザを利用していない理由	【問7の放課後に過ごしている場所で「6」（キッズ・プラザ）と回答しなかった方に伺います。】 キッズ・プラザを利用していない理由は何ですか。（あてはまる選択肢すべてに回答）	1. 学童クラブを利用している 5. 友達が行かない 2. 利用する時間がない 6. 通っている学校にない 3. どこにあるか知らない 7. その他（ ） 4. 行ってもおもしろくない
問10	キッズ・プラザの利用意向、利用希望日数	あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、キッズ・プラザの利用を希望しますか。（回答は1つ） 希望する場合は、利用したい日数を記入してください。	1. 利用したい 1週あたり（ ）日 もしくは1か月あたり（ ）日 2. 自校であれば利用したい 1週あたり（ ）日 もしくは1か月あたり（ ）日 3. 利用したいと思わない
問11	希望する子どもの放課後の過ごし方	【問8①放課後に学童クラブを利用したい、問10でキッズプラザを利用したい（「1」または「2」）と回答した方に伺います。】 現在の利用状況にかかわらず、お子さんが過ごす場所として希望する居場所を希望する順に記入してください。（第3希望まで選べます）	①第1希望 ②第2希望 ③第3希望 1. 区立学童クラブ（学校内で実施） 2. 区立学童クラブ（児童館内で実施） 3. 民設民営学童クラブ 4. キッズ・プラザ 5. 希望するものはない ※第2希望、第3希望のみ表示
問12	児童館を利用していない	【問7の放課後に過ごしている場所で「5」（児童館）を選択しなかった方に伺います。】 児童館を利用していない理由は何ですか。（あてはまる選択肢すべてに回答）	1. 利用する時間がない 4. 友達が行かない 2. どこにあるか知らない 5. その他（ ） 3. 行ってもおもしろくない
問13	児童館の利用意向、利用希望日数	あて名のお子さんについて、現在の利用状況にかかわらず、今後、児童館の利用を希望しますか。（回答は1つ）希望する場合は、利用したい日数を記入してください。 ※数字は半角数字で入力	1. 利用したい 1週あたり（ ）日 もしくは 1か月あたり（ ）日 2. 利用したいと思わない（理由 ）
4. 子育て支援事業の利用状況			
問14	子どもが病気の場合に預かる事業の利用意向	あて名のお子さんが病気やけがで学校を休まなければならない時に、預けることができる事業があったら利用したいと思いますか。（回答は1つ）	1. 利用したい 2. 利用したいと思わない
問15	不定期に利用している事業（一時預かり等）の利用状況と利用日数	あて名のお子さんについて、私用、冠婚葬祭、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（あてはまる選択肢すべてに回答） また、1年間の利用日数（おおよそ）を記入してください。	1. ファミリー・サポート事業 年間（ ）日 2. トワイライトステイ 年間（ ）日 3. その他（ ） 年間（ ）日 4. 利用していない
問15-1	利用していない理由	【問15で「4」（利用していない）と回答した方に伺います。】 利用していない理由は何ですか。（あてはまる選択肢すべてに回答）	1. サービスの内容や質に不安がある 2. 事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない ⇒具体的に（ ） 3. 利用料がかかる 4. 利用手続きが煩雑である 5. その他（ ） 6. 特に利用する必要がない 7. 事業について知らなかった
問16	一時預かり事業等の利用意向、利用希望日数	あて名のお子さんについて、私用、冠婚葬祭、不定期の就労等の目的で今後、不定期に利用したい事業はありますか。（あてはまる選択肢すべてに回答） 利用したい場合、1年間の希望日数（おおよそ）を記入してください。 ※事業の利用には、一定の利用料がかかります。 ※数字は半角数字で入力	1. ファミリー・サポート事業 年間（ ）日 2. トワイライトステイ 年間（ ）日 3. その他（ ） 年間（ ）日 4. 特にない

第5章 資料（調査票）

問番号	タイトル	設問文	選択肢
3. 放課後の過ごし方			
問17	ショートステイの利用希望	あて名のお子さんについて、保護者の用事（出張、保護者・家族の病気、育児疲れや育児不安など）により、泊りがけで家族以外に預ける必要がある場合、ショートステイを利用したいと思いますか。（回答は1つ） ※事業の利用には、一定の利用料がかかります。 ※実施日時等は「中野区で実施している主な子ども・子育て支援事業」をご覧ください。	1. 利用したい 2. 利用したくない（利用する必要がある場合も含む）
問17-1	ショートステイの利用希望事由と必要泊数	【問17で「1」（利用したい）と回答した方に伺います。】 どのような時にショートステイを利用したいと思いますか。（あてはまる選択肢すべてに回答） また、1年間で必要な泊数（おおよそ）を記入してください。（数字を記入） ※数字は半角数字で入力	1 冠婚葬祭 () 泊 2 保護者や家族の育児疲れ・不安 () 泊 3 保護者や家族の病気 () 泊 4 その他 () 泊
5. 子育て支援事業全般			
問18	子育てについて気軽に相談できる人、相談先の有無	あて名のお子さんの子育てや教育に関して、気軽に相談できる人や場所がありますか。（あてはまる選択肢すべてに回答）	1. あなたの配偶者、パートナー 2. その他の親族 3. 友人・知人 4. 幼稚園の先生 5. 保育園の職員（保育士、看護師など） 6. 児童館等の職員（学童クラブ、キッズ・プラザ、ふれあいの家含む） 7. すこやか福祉センター 8. 保健所 9. 子ども・若者支援センター 10. 中野区児童相談所 11. かかりつけ医 12. 教育相談室 13. 民生・児童委員、次世代育成委員 14. 地域の子育て支援団体 15. 民間の子育て相談（電話、インターネットなど） 16. 療育センターアポロ園、ゆめなりあ 17. その他の区役所窓口 18. 母子生活支援施設の子育て電話相談 19. 社会福祉協議会の相談窓口（ほほえみサービス、地域担当職員など） 20. その他 () 21. 気軽に相談できる人（場所）はない
問19	相談窓口・サービス等の情報入手先	区内の相談窓口・サービス等に関する情報は、どのような方法で入手していますか。（あてはまる選択肢すべてに回答）	1. 中野区ホームページ 2. 中野区報 3. 中野区公式LINEなどのSNS 4. 子育て応援メールマガジン 5. 子育てハンドブック『おひるね』 6. 中野区の各種相談窓口 7. 通っている小学校等 8. 保護者同士の口コミ 9. その他 () 10. 特になし
問20	子育て支援策として望むこと	今後、子育て支援策として、どのようなことを望みますか。（あてはまる選択肢すべてに回答）	1. 妊娠前の相談・支援の充実 2. 妊娠中の相談・支援の充実 3. 出産・乳幼児健診などの母子保健対策の充実 4. 児童手当・子どもの医療費・保育料・教育費など子育て費用の助成 5. 幼児期の教育の充実 6. 多様な保育サービスの充実 7. 子育てや子どもの発達などについての不安や悩みの相談支援体制の充実 8. 子育て中の親や子どもが気軽に集うことのできる場所・機会の充実 9. 子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり 10. 子どもが外で思いっきり体を動かして遊ぶことができる場の提供 11. 子どもが集中して勉強できる学習スペースの充実 12. 出産退院後、身の回りの世話をしてくれる家事や育児への支援体制の拡充 13. 保護者の入院など緊急時における支援サービスの提供 14. 犯罪から子どもを守る体制の整備 15. 子どもへの虐待防止対策と体制の整備 16. 家事・育児への男女共同参画の意識づくり 17. 子育てしやすい労働環境づくりに向けた企業への啓発 18. その他 () 19. 特になし
問21	子育て支援施策に関するご意見・ご要望について（自由記入）	区の子育て支援施策に関するご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。	

印刷物登録番号 5中子政第1313号

中野区子ども・子育てアンケート調査結果報告書

令和6（2024）年3月発行

発行 中野区子ども教育部 子ども・教育政策課
〒164-8501 中野区中野4-8-1
TEL 03（3228）5605

集計・分析 株式会社サーベイリサーチセンター
〒103-0027 東京都中央区日本橋3-13-5
KDX日本橋313ビル 5階
TEL 03（6826）4666